[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細 別	a	b	С	d		(快旦/联員) e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや	不備である	施工管理が不備である
		<ul><li>土木工事標準仕様書(その 照査等の結果をその不都合</li><li>土木工事標準仕様書(その)</li></ul>	に関わらず、書面で監督員に提出し確	役計図書の照査等が実施されている。ま 認を求めている。(文書で整理されている 事測量が実施されている。また、設計図	5.)	より手直し ・ 契約図書	と適合しない箇所があり、文書に 指示を行った。 こ基づき施工上の義務につき、 より指示を行った。
		<ul><li>施工計画書に所定の項目か</li><li>設計図書の条件明示を確実</li><li>施工計画が現場状況(地形</li><li>安全対策が具体的、的確に</li></ul>	され、その記載内容と現場施工方法が- 記載され、 <mark>契約後、 概</mark> ね1ヶ月以内に に反映した施工計画書になっている。 、地質、 周辺環境、 交通量等)を反映し 記載され、実施されている。 場合、 当該工事の着手前に変更計画書	<b>是出されている。</b> た具体的な内容となっている。			該当事項があればd 
		<ul> <li>現場代理人、作業主任者等の作</li> <li>・ KY日誌で現場代理人の常</li> <li>・ 施工計画書の現場組織表で</li> <li>・ 施工計画書の安全管理組織</li> </ul>					
		<ul> <li>施工体制台帳及び施工体系</li> <li>施工体制台帳の記載事項信</li> <li>施工体系図は、工事関係者</li> <li>下請負人が再下請を行う場</li> <li>施工体制台帳及び施工体系</li> <li>下請に対する引き取り(完成</li> </ul>	行われ、施工されていることが確認できる 民図が作成され、工事現場に備えるととは 遺画にに記入されており、添付が必要な が見やすい場所及び公衆が見やすい。 合に再下請通知書を元請負人に提出で 民図に変更が生じた場合、その都度、監 ご)検査を実施していることが確認できる。 更契約が適切になされていることが確認	をして、監督員に提出されている。 書類も全て提出されている。 場所に掲示されている。 ける旨の掲示を行っている。 で替員に提出されている。			
		立会確認の手続きが事前になされ     立会確認が適切に実施され     段階確認について、土木、発定時期等)が書面で監督員     段階確認が適切に実施され     臨時検査が適切に実施され	たことが書面で確認できる。 韭築工事監督要綱及び土木工事監督打 に提出されている。 、工程表と整合する。	支術基準により、事前に段階確認願(種兄	训、細別、施工予		
		出来形に評価される品質の			底、事後の対応		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	細 別	a	d	(快 <u></u> 具椒貝)																											
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である																									
		やすく整備されて、その整備 ・ 工事書類簡素化の趣旨に具 ・ 法的な手続き等が必要なも 保安本部への提出書類など ・ キャリブレーションの必要なり ・ 計算式等で算出根拠を説明 (例:薬注の注入量 該当が ・ 写真帳の撮影箇所に略図等 (電子納品の場合は、写真帳 )況が明確に確認出来ること。	場で使用したものそのままを提示すれた 請資料全体がわかるように、総括表でまと り、必要とされる書類が簡潔にまとめら、 のに提出の漏れがない。(休日・祝日作 の整備資料でチェックする。) 機器は、その成績結果表が添付されてい。 引するものがある場合、図表等を利用した ない場合は項目削除) 診が添付され、把握しやすく見やすく整理 長の添付図または写真内の黒板等の略	れている。 業、道路使用、港湾区域の使用、労働基いる。 つかりやすく整理されている。	<b>志</b> 準監督署、海上																										
			<ul><li>再生資源利用計画書及び車</li><li>建設副産物の最終処分地区</li></ul>	所要の数量と整合する。 目計画書及び再生資源利用促進計画書 再生資源利用促進計画(実施書)が添付 なは中間処理地が当初から計画されてい 、委託が収集運搬業許可及び処分業記	けされており、数量が確認できる。 いる。																										
																													<ul><li>建退共制度等に加入してい</li><li>建設業退職金共済証紙購力</li></ul>	管理されている。(中小企業退職金共済 る。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	v>3.
		<ul><li>・ 社内管理基準(目標)を設定な対処方法など)を定められ</li><li>・ その管理基準により、社内核</li></ul>	って、独自の管理基準を設定し管理していまするとともに、その運用方法(目標をオ	ーバーした場合の検討体制や検討プロ 面で確認できる。	セス等の具体的																										

### 別紙-3①

### 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

老杏項日	細切	а	h	C	Ь	(火旦収兵)
	I . 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
考査項目 1. 施工状況 I	A	「評価対象項目」 ・ 品質証明体制が確立され、品質さる。(3億円以上の工事及び課長・ 品質証明員届が提出されて・ 品質証明員の資格は、一総・ 品質証明員の現場経験が1・ 適切な時期に現場の施工事 検査前に工事関係書類等の・ 品質証明書の書式が指定さいます。	正明員による関係書類、出来形、品質等等が必要と認める工事) いる。 た土木施工管理技士又は技術士である。 の年以上である。 と態の確認を実施している。 か事前確認を実施している。 なれたもので、証明者の押印及び受注者 ことが確認できる。 適切に整理されている。 は、JISマーク表示状態が確認できる。 無いよう保管している。 と解いが事前に提出されている。 と解いが事前に提出されている。 と明いが事前に提出されている。  当項目数( )/評価対象項目数( )/ )/評価対象項目数( )/ )/ )/ )/ )/ )/ )/ )/ )/ )/ )/ )/ )/	の確認を工事全般にわたって行ってい での社印がある。 での社のがある。 での対象項目も同様に削除する。 マーク数がチェック項目総数の2/3		е

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

(検査職員)

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
3.出来形及び 出来ばえ	I.出来形	・ 出来形の測定が、必要な利定項目について所定の測定基準に基づき行われ値を消耗を値が規格を含め、規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。	・ 出来形の測定が、必 要な制定測定を ・ 大変に ・ 大変に 、 大変に 、 大変に 、 大変に 、 大変に 、 、 大変に 、	・ 出来形の測定が、必 要な測定項目につい て所定の測定基準に 基づき行われて指り 測定値が規格値をきが 規格値でではらのきが 規格値ので、下記の「記の「記の」 定対象項目」の3項 目以上が該当する。	・出来形の測定が、必 要な利定項目目について所定を測定度を基準的 測定を可能を指すり 測定をが規格をつきが規格をつきが 規格で、下記の「辞 以内な象で、のと は大が表現といる。	<ul> <li>出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づきで利力れており測定値が規格値を満足しa~b'に該当しない。</li> </ul>		刺定基準及び規格値を満足 ものがあり、ばらつきが大
		<ul><li>測定表に出来形</li><li>管理表による傾向</li><li>出来形測定においてス</li><li>不可視部分の出</li><li>完成写真等に、ス</li></ul>	来形管理表に創意工夫があ 寸法を測定した箇所の略図 可、課題等が一目で判断でき 「可視部分が写真で的確に 来形寸法が確認できる写真 「可視部分の参考写真が派 「事内容が分かりにくい場合	・ 出来形の測定方法 または測定値が不 適切であったため 検査職員が文書で 改善者記を行い改善 善された。	・ 出来形の測定方法 または測定値が不 適切であったため 検査職員が直し)指 示を行った。			
		・ 社内管理基準( ・ 処方法など)を定 ・ その管理基準に、 ・ その管理基準に、 ・ 写真撮影要領の撮影・ ・ 管理基準がない、 が補足されている。 ・ 写真管理基準の ・ 工事写真帳は写	工種について、独自の管理 目標)を設定するとともに、そ め、管理されている。 より、社内検査(書類検査)だ より、社内検査(現場検査)だ 頁目、時期、頻度を満足して 工種は、社内管理の撮影工	種、項目、頻度、箇所などに 撮影していることが確認でき れている。	上記該当あれば d	上記該当あればe		
ni ės	(1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	評価方法】 評価方法】 「ばらつきが規格値の概ね 概ねとは、打点数の90%以、 バラツキの判断は、原則とし 全てを総合的に評価できるも 出来形とは、設計図書に示さ 出来形管理とは、「土木工事 」出来形管理項目を設定して	( )%以内で、「評価対象」 上とする。 てサンプル数が10個以上に 。のとする。また、必要以上に なれた工事目的物の形状寸: 施工管理基準」の測定項目	頁目」の()項目以上が該当 ついて行うものとするが、サン ご測定基準を超えてサンプル 法である。 、測定基準及び規格値に基	当。⇒( )評価 /プル数が10個未満において 数を10個以上としたものは評	でも、出来形管理項目 で個しない。		

別記

[記入方法] 工事成績採点表内の「所見欄」に記入する場合本欄を使用すること。 所見は、特筆すべきことがあった場合に記載する。

(検査職員)

所 見

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目 3. 出来形	Ⅰ 工種							
3 出本形		a	a	b	b´	C	d d	e
及び 出来ばえ	コンクリート 構造物工事	(関連基準、土木工 ※ばらつきの判断基		項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた 満足する。		5準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
		塩化物総量等)が確認 ・ コンクリート打込み時の (JIS A-5308以外の ・ 施工条件及び気象条 (寒中及び暑中コンク ・ 型枠、支保工の組立が ・ コンクリートの打ち直し	が適正で、コンクリート打設後 や補修の痕跡がない。	、適切に行っている。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため検査職員が修補(手直し)指示を行った。		
		<ul> <li>コンクリートの現場養生</li> <li>コンクリート打込み前い</li> <li>型枠の目違いがなく、</li> <li>目地に挟む目地材や</li> <li>コンクリート及びセメン(高炉B種・C種のセメ)</li> <li>コンクリート打込み前い</li> </ul>	*****	1019号)	上記該当あればd	上記該当あればe		
		<ul><li>鉄筋の組立・加工が適</li><li>スペーサーを適切に</li><li>鉄筋圧接作業にあたり</li><li>鉄筋の規格・引張強度</li><li>重要構造物に係る主動</li></ul>	での鉄筋の保管管理が適正での鉄筋の保管管理が適正で 通切であることが確認できる。 記置し、鉄筋のかぶりを確保 り、作業員の技量確認を行っ ま・曲げ強度の試験値をミル・ 鉄筋について、引張試験曲に が、設計図書どおりであること	している。 ている。 シート等で確認できる。 げ試験を行っている。 (平成1	9年6月12日付技第1007号	·)		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

(檢查職員)

	アエツク項目・1に〇マ		,	1	1.7		1	(検査職員)
考査項目	工種	a	a´	b	b'	С	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	コンクリート 構造物工事	(関連基準、土木工 ※ばらつきの判断基	事施工管理基準、その他	項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた記 満足する。		<b>基準参照&gt;</b>		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		① 「評価対象 ② 評価対象タ ③ 評価値( ④ なお、削除 評価値 60%以上 60%以上	項目」のうち、評価対象外の ト項目の削除後は、削除後の %)=該当項目数( )。 後の評価対象項目数が3項 (ばらつきが小さい ばらつし 50%以下 80% 以上 a a 90%未満 a' は 75%未満 b b	項目は削除する。 D評価項目数を母数として計 /評価対象項目数( ) 目以下の場合はc評価とする  で判断可能 いている はならつきが大きい 以下 80%超え ' b b b' b'	lo.			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

	フェック項目・「ICO N	1	<del>,</del>	1	1 ,	1	1	(
考査項目	工種	a a see a se	a a	b	b b	C	ロ の は の 計略 仕用 ど	日野朋友の計解が出来
3. 出来形 及び 出来ばえ	コンクリート 二次製品構造物 工事		事施工管理基準、その他 基準は別紙-4参照	象項目の履行状況(評価付 也設計図書に定められた記 満足する。		· 基準参照 >	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
		<ul><li>基礎地盤の整形、清掃</li><li>二次製品の保管、吊り</li><li>土留め、ウェルポイント</li><li>二次製品の受け取りを</li><li>施工基面は、平滑で、</li></ul>	事が整備されている。 、仕様書の規定する規格、 は、湧水処理等が適切に実施 込み、据え付け等に十分注等の仮設が設計図書に基っ 現場代理人などの責任ある 所定の強度が確保されてい マーク表示が写真で確認で	されている。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため検査職員が修補(手直し)指示を行った。		
		<ul><li>基礎コンクリート及び天</li><li>材料の連結、またはか</li><li>端部における地山との</li></ul>	がの充填が十分で空隙が生 端等の調整コンクリートにク み合わせが適切である。 すりつけが適切である。 けるなど、法勾配、裏込めも		上記該当あれば d	上記該当あればe		
		<ul> <li>不等沈下防止に配慮し</li> <li>呑口、吐口、集水桝等</li> <li>施設の流末は浸食、溝</li> <li>不等沈下の発生がなく</li> <li>縦目地の目地モルタル</li> <li>製品周辺の盛土、埋房</li> </ul>	て、基礎地盤の締め固めがの取り付けコンクリートにクラ お留等が生じないよう処理され、基礎コンクリートの亀裂や が適切に施工されている。 三土の施工にあたり、巻出し、 引、ズレがなく、適切に施工さ	れている。 縦目地からの漏水も見られた 、転圧が適切に施工されてい	¢/ /°			
		<ul><li>管の両端が均等に埋め</li></ul>	指管路も含む) にり締め固めが実施されてい り戻されている事が確認でき が生じていないことが確認	: 5.				

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

# <del>**</del> ** **			7	1	1.7	T	,	(検査職員)
考査項目	工種	a	a	b	b´	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	コンクリート二次製品構造物工事	(関連基準、土木三 ※ ばらつきの判断	「果のばらつきと、評価対象 二事施工管理基準、その代 基準は別紙-4参照 、試験基準及び規格値を	也設計図書に定められた		基準参照>	規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		<ul> <li>コンクリート構造物に</li> <li>合流、分流の接合部</li> <li>水路の流れに支障な</li> <li>打ち継ぎ目の処理が</li> <li>設置後の製品に有害</li> <li>① 「評価対象</li> <li>③ 評価値(</li> <li>④ なお、削り</li> <li>毎0%以</li> <li>60%以</li> <li>60%以</li> </ul>	きめ細やかな施工がうかがえでは、適切な施工が実施されく、平坦、勾配に細心の配慮仕様書通りに適正に実施されなクラックや損傷がない。  東項目」のうち、評価対象外の外項目の削除後は、削除後の。 (はらつき) (はらいま) (はら	る。 . ている。 . がなされている。 . でいる。 か 項目は削除する。 か 評価項目数を母数として計 . 評価対象項目数( ) 項目以下の場合はc評価とする で判断可能 いている ばらつきが大きい ら以下 80%超え a' b b b' b' b' b' c c c c c c	5.			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a,	b	b'	С	d	(快宜城貝) e
3. 出来形 及び 出来ばえ	土工事(切土、盛土、築堤等工事)	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断:	果のばらつきと、評価対象 事施工管理基準、その値				規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が
Ⅱ.品質	<ul> <li>【共通】</li> <li>・ 雨水による崩壊が起きないように、排水対策を実施している。</li> <li>・ 筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。</li> <li>・ 法面に有害なクラックや損傷がない。</li> <li>・ 建設発生土が適切に管理されている。</li> <li>・ 施工基面が平滑で、所定の強度が得られるように仕上げられている。</li> <li>・ 建設発生土の再利用が積極的に図られ、現場での放置がなく、時間管理の上で適切に管理されている。</li> <li>・ 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li>【切土・掘削】</li> <li>・ 置き換えのための掘削を行うにあたり掘削面以下を乱さないように、かつ不陸が生じないように施工している。</li> <li>・ 余堀などによる地盤の強度低下を招かないように施工している。</li> <li>・ 切取法面において落石等の危険がないようにゆるんが転石、岩塊等が除去されている。</li> </ul>						・ 品質の測定方法ま たは測定値が不適 切であったため監 督職員が文書で指 示を行い改善され た。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため検査職員が修補(手直し)指示を行った。
		・ 置き換えのための据肖 ・ 余堀などによる地盤の ・ 切取法面において落こ 【盛土・築堤等】 ・ 品質管理の基準、その ・ 良好な施工により盛土 ・ 段切り等が施工前に通 ・ 構造物周辺の締固め ・ 締固めを適切な条件の ・ 締め固め試験により管 ・ CBR試験等を行ってい	強度低下を招かないように見 石等の危険がないようにゆる かための施工方法が明確にな 材の品質が設計図書に基っ 適切に行われている。 等の処理を適正に行っている の基で施工している。(巻き出 理され適正な品質となってい いる。 定が適正に実施されている。	施工している。 らんだ転石、岩塊等が除去されなっている。 づくものになっている。 る。 出し厚が均一で、均等な転圧;	ている。		上記該当あれば d	上記該当あればe
		・ 盛土仕上がりの状態が ・ 補強材の施工にずれ、 ・ 盛土の締固を適切なダ ・ プレキャスト製品・材料 ・ 現場条件に応じた排力 ・ 盛土の締固め管理(密	ゞ変形のない、はらみのない .歪み、はらみ、損傷がない 条件(人力機械別、巻出し厚	ことが確認できる。 「、敷き均し、転圧作業等)で により <mark>適正であることが</mark> 確認で に講じられている。 いることが確認できる。				

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

		クを配入する。						(検査職員)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	土工事 (切土、盛土、築 堤等工事)	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断:	事施工管理基準、その個	象項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた記 満足する。		·基準参照>		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		① 「評価対象 ② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削除	項目」のうち、評価対象外の 小項目の削除後は、削除後 %)=該当項目数( )/ 後の評価対象項目数が3項 ばらつきがかさい ばらつ 50%以下 80% 以上 a 90%未満 a' 75%未満 b b	で判断可能	lo.			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

			,	1	1 ,		1	(
考査項目	工種	a	a	D	b'	C	d DEBE STANKE	e 
3. 出来形及び	護岸·根固· 水制工事			聚項目の腹行状況(評価) 4設計図書に定められた	値)から判断する。 <判断 試験)	· 基準参照 >	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満
出来ばえ	八川工事	※ ばらつきの判断		B以可囚音(C)とのり4いに	140大/		えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
四水は火		☆ 品質が、試験項目、		満足する。			きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	1 W. 2   10 /9   1   E C	1147C 7 30				
1		【共通】						
		<ul><li>施工基面が平滑に仕_</li></ul>	上がり、所定の強度が確保さ	れている。(出来上がりが波	打っていない)		<ul> <li>品質の測定方法ま</li> </ul>	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>
		<ul><li>二次製品の受け取りを</li></ul>	現場代理人などの責任ある	者が、製品を確認し受け取り	)、損傷のないもので施工され	にいる。	たは測定値が不適 切であったため監	たは測定値が不適 切であったため検
			チェックがなされている。(土				督職員が文書で指	査職員が修補(手
			過ぎが無く施工していること		直し)指示を行っ			
		<ul><li>・ 施工にあたって、休雅</li></ul>	箇所の湧水及び滞水等は、		た。	た。		
		【護岸】						
			トが充てんまたは締め固めス					
					。 適切で、裏込材の吸い出しの	恐れがない。		
		・ 護岸工の端部や曲線	部の処理・強度・水密性が適	i切である。			上記該当あれば d	上記該当あればe
		<ul><li>・ 遮水シートが上流側が</li></ul>	上になるように所定の幅で	重ね合わせられ、端部処理が	ぶ適切である。			
		10	<ul><li>、品質、配合、施工後の養</li></ul>	生が適切である。				
		<ul><li>矢板の品質がミルシー</li></ul>						
		/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		れがなく、かみ合わせが適り	りである。			
		<ul> <li>材料の品質規格証明</li> </ul>	青寺が登備されている。 別に行われ、納入月日が確	初づきる				
			のに1740kの形が入り口が確認 ーピンの配置、打ち込みが過					
		<ul><li>ブロックマットは、所定</li></ul>		m 3/10/2/07/07/00				
		<ul> <li>丁張りを2重、3重に設</li> </ul>	けるなど、法勾配、裏込めす	オの厚さの確保のため細心の	注意をはらっている。			
		・ 鉄線蛇篭工の使用で	は、詰め石のために籠が変形	<b>ドしていないことが確認できる</b>	, ) <sub>0</sub>			
		<ul><li>口締めの閉じ、鉄筋は</li></ul>	よくねじれ堅く締められてい	る。				
		<ul><li>有害なクラックがない。</li></ul>						
		[12.57 - 1.73]						
		【かごマット工】	ぶ確保され、護岸の下面に通	新知に 設置されている				
				もめに、必要に応じて対策を とめに、必要に応じて対策を	講じているのが確認できる			
		15507 1 15517 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ごけ空隙を少なく施工されてい	<b>い</b> る。		
					の厚さが50cmの場合は、15c	=		
		網目より大きな天然石	または割ぐり石を使用してい	ることが確認できる。				
		<ul> <li>線材は品質管理試験の確認を行い、網線材の端末は1.5回以上巻き式によって結束し線端末は内面に向け施工されている。</li> <li>最上下流端の仕切網の枠線と底網枠線の結合が枠線全部にコイル掛けを行っていることが確認できる。</li> <li>(コイルを色で識別)(多段積タイプ)</li> </ul>						
		<ul><li>・ 外周部は、接続長の全</li></ul>	全長を連結していることが確認	忍できる。(半張タイプ)				
l	1	l .					l	I.

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

しにハカム」核コック		クを記入する。	,		1.7			( 横
考査項目	工種	a	a a	b	b′	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	護岸·根固· 水制工事	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断:	事施工管理基準、その化	象項目の履行状況(評価付 也設計図書に定められた記 満足する。		基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		☆ 品質が、試験項目、 【根固・水制】 ・ 根固工、水制工、沈床 ・ 設置間隔、高さ等が設 ・ 鉄線等での結束では、 ・ コンクリートブロックの値 ・ 設置されたブロックに ・ 異形ブロックの製作で ・ 異形ブロックの製作で ① 「評価対象 ② 評価値( ④ なお、削除 10%以上 10%以上	試験基準及び規格値を に工、捨石工等で、材料の連 計図書どおりに施工されていること はのるみなく緊張していること に置、仮置に際し、強度確認 被損や補修痕のないことが確 で製作のものは、型枠搬入時 豆板、かけ、型枠の目違いが 項目の削除後は、削除後の %)=該当項目数()/ 後の評価対象項目数が3項 ばらつきがかないはらい ならのきでは、対していること はちつきがかないはあった。 はちつきがかないはあった。 はちつきがかないはあった。 はちつきがいないはあった。 はちつきがいないはあった。 はちつきがいないはあった。 はちつきがいます。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきでがある。 はちつきであいます。 はちつきであいます。 はちつきである。 はちつきであいます。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はちつきである。 はないは、 はちつきである。 はないは、 はちつきである。 はないは、 はないはないは、 はないはないないは、 はないはないないは、 はないはないないないないないないないないないないないないないないないないないな	結又はかみ合わせが適切でいる。 が確認できる。 3を行っている。 建認できる。 時に仮組等を実施し、寸法・3 が規定の範囲であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることが確認であることができませばいる。 「で判断可能」 「で判断可能」 「で判断可能」 「はいる」はなっきが大きいいます。 「はいる」はなっきが大きいいます。 「はいる」はなっきが大きいいます。 「ないる」はなっきが大きいいます。 「ないる」はなっきが大きいいます。 「ないる」はなっきが大きいいます。 「ないる」はなっきで、判断不可能します。 「ないる」はなっきで、対象である。「ないる」はなっきで、対象である。 「ないる」はなっきで、対象である。「ないる」はなっきで、対象である。 「ないる」はなっきで、対象である。「ないる」はなっきで、対象である。「ないる」はなっきで、対象である。 「ないる」 「ないるいる」 「ないるいる」 「ないるいる」 「ないるいる」 「ないるいるいる。「ないるいるいるいる。「ないるいるいるいるいる。「ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	歪み・傷等をチェックしている 認できる。 算した比率(%)計算の値(診		きが大きい。	
			-1-46.7	c	】 近対象項目 (評価値) だけで評	平価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>少</b> 木石口	<b>一</b>	1	,	1	1 ,	T	1	(検査職員)
考査項目	工種	a a seed to constant	a Borra - trans	b Ferrada (Ferrada )	b'	C T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	日 の d 日 の 計画 は の 計画 が 田 が	日所間はの計略分用が
3. 出来形 及び 出来ばえ	鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート構造 物に準ずる)		事施工管理基準、その低 基準は別紙-4参照	象項目の履行状況(評価の 也設計図書に定められた 満足する。		r基準参照 >	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		「評価対象項目」 【工場製作関係】 ・鋼材の員数照合がミル・塗装する面が乾燥状態・素地調整の場合管理が、写・塗料の空缶管理が出荷値切に、等を変素の処理が高切い、仕様書に定められた制・溶接作業にあたり、作・放射性透過試験又はギャンバーが規格どお・溶接施工に係る施工ま・、次略部の発生が見られて、	とが確認できる。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため検査職員が修補(手直し)指示を行った。			
		・ボルトの締付機、測定・支承の据付で、コンク・ボルトの品質がミルシー・架設の結果、塗装面を・現場塗装で塗り残し、・鋼材の保管にあたり変・トルシアボルトの締め付・支承製品の品質が証時・高力ボルトの締め付け・架設にあたって、部材・架設に用いる仮設備が、現場塗装部のケレン及	一ト等で確認できる。 損傷していない。 むら等がない。 形及び塗装面に損傷を与えけけ完了がピンテールの破匿 月書等で確認できる。 を、中心から外側に向かっての応力と変形等を十分検討 なび架設用機材について品 び膜厚管理を適切に行ってい	実施している。 ルタル付着が確認でき、仕上 ないように適切に管理されて 所により、目視によって確認で て行っていることが確認できる。 質、性能が確保できる規模及	ている。 さる。 。 なび強度を有して確認している			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

								(検査職員)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート構造 物に準ずる)	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断		也設計図書に定められた	値)から判断する。 < 判断 試験)	基準参照>	規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		① 「評価対象 ② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削例	2項目」のうち、評価対象外の 外項目の削除後は、削除後 %)=該当項目数( )/ ※後の評価対象項目数が3項 ばらつきがかさいばらつ 50%以下 80% 50%以下 80% 275%未満 b b	可耳目は削除する。     の評価項目数を母数として計     /評価対象項目数( )	・算した比率(%)計算の値(まる。 る。 面対象項目(評価値)だけでま			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

# + + + T		T	,	-		. ,		· ·	(快宜城貝)
考査項目	工種	a	a´	]	b	b´	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	砂防構造物工事 及び地すべり防 止工事	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断	果のばらつきと、評価対 事施工管理基準、その付 基準は別紙-4参照 試験基準及び規格値を	也設計図書に			断基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	1 W. C. 1 / / C / / / / / / / / / / / / / / / /	11-17-27 00					
		【共通】							
		<ul><li>地山との取り合わせが</li></ul>	適切に行われている。					• 品質の測定方法ま	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>
		・ 施工基面が平滑に仕	上げられ、所定の強度が確	呆されている。(	(出来上がりが	波打っていない)		たは測定値が不適 切であったため監	たは測定値が不適 切であったため検
		<ul><li>材料の品質規定証明</li></ul>	書が整備されている。					督職員が文書で指 示を行い改善され	査職員が修補(手 直し)指示を行っ
		【砂防構造物工事に適用】						た。	た。
			クリートの配合試験または話			なコンクリートの規格(強」	度・w/c・最大骨材粒径・		
			恩できる。(JIS-A-5308以外の						
			の必要な供試体を採取し、強	度・スランプ・2	空気量等が確認	忍できる。			
			)生コンを使用する場合) 件に適した運搬時間、打込。	7.吐の机です。	ナーバノブ!	カールトス 毎日 美井士州	上笠 海切に行 - ブハス	上記該当あれば d	上記該当あればe
		・ 施工条件及び気象条 (寒中及び暑中コンケリー		か时の女人向の	e,//1//	メーによる神山、食生力は	5寺、週別に11つている。	上記該ヨの4014・・・・・ ロ	上記該ヨめれはe
			バ適正で、コンクリート打込み	後、取り外し時	芽期がコンクリー	- ト強度等で適正に管理さ	られている。		
		<ul><li>コンクリートの打ち直し</li></ul>	や補修の痕跡がない。						
		<ul><li>コンクリート打込み時り</li></ul>	こ雨水やわき水が適切に処						
		<ul><li>コンクリート打込み前り</li></ul>	こ打継ぎ目処理を適切に行						
		<ul><li>コンクリート及びセメン</li></ul>	トコンクリート製品の使用にる	あたりアルカリ骨	骨材反応抑制效	対策の適合を確認している	5.		
			ントを使用したコンクリートの						
			こ、単位水量試験または水は			、(平成20年3月14日付技	第1037号)		
			での鉄筋の保管管理が適正する	であることが確認	認できる。				
			適切であることが確認できる。 適切に基盤面が仕上げられ	ュー・ファルボル	#⇒刃 マベキフ				
			. 適切に基盤固か11上りりん 潅に施工されていることが確		性能 (さる。				
			膨止材が適切に施工されて 防止材が適切に施工されて		アきろ				
			の取り付け部が適切に施工さ		1 ( C 00				
			工が適切に施工されている。						
		<ul><li>リフトスケジュールが作</li></ul>	F成され、コンクリート打設時	期・養生が適切	『に行われてい	る。			
		<ul><li>有害なクラックがない。</li></ul>							
		Na San India							
		【根留め工】	Eで、変形がなく、垂直に立	ナムボーナいフ					
			正で、変形かなく、垂直に立 いよう交互に積み上げられ		) <sub>o</sub>				
		<ul><li>・ がこは手日地にならる</li><li>・ 層積みの線が中だる</li></ul>		( v 'S)					
			テムへ、小干に整っている。 はよくねじれ堅く締められてい	ス					
			るこれは全く時かられてくく	- 0					
			まめ石が仕様書に定められ <i>が</i>		されている。				

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種		<del>,</del>	l h	h'	0	1 4	(横雀職員)
\$ <del>111</del> / (11		d A DEFERENCE AND THE	a House of the first that	D 名音ロる最初がは(新年)	┃	C 甘海分四、	d 品質関係の試験結果が	e 品質関係の試験結果が
3. 出来形 及び	砂防構造物工事及び地すべり防			象項目の履行状況(評価↑ ≒設計図書に定められた		基华麥煦		規格値、試験基準を満
出来ばえ	此工事	(関連基準、上小工 ※ ばらつきの判断		B 放計凶者に足められに	<b>八次</b>		えるものがあり、ばらつ	
山木はん	11. 上尹	741 1413	T   1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	<b>油口上</b> フ			きが大きい。	之 C / C 間 異 N 2/3 2/3
Ⅱ.品質		☆ 品質が、試験項目、 【集水井工(ライナープレー)		<b>両足りる。</b>				
Ⅱ.吅貝			, -	の言語が動併されていて				
			、掘削中の地盤構造、湧水	の記録が登開されている。 配慮し、施工を行っている。			<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>
			H立にめたり、偏心と歪みに h山との隙間が少なくなるよう				たは測定値が不適	たは測定値が不適
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	21 10 1 1/1/1/1/1 > 0. ( 0. 00 0.)		プレート端に触れることなく、	<b>外古士白尼工作</b> 尼	切であったため監	切であったため検
		施工されていることが確		か八心に旭上され、ノイノー	ノレード病に用気をいることなく、	<u> </u>	督職員が文書で指	査職員が修補(手
				ずつ実施されていることが確	:=刃っつキフ		示を行い改善され た。	直し)指示を行っ た。
					/c <sub>0</sub>	/		
		<ul><li>フィナーノレート等の</li></ul>	接続(ボルトと締付)が仕様書					
		【集水井工(自重沈下工法·	セグメント工法)】					
		<ul><li>地すべり状況を把握し</li></ul>	、掘削中の地盤構造、湧水	の記録が整備されている。				
		<ul> <li>発進工の基本となる井</li> </ul>	筒発進工の底面は、水平か	っつ平坦に仕上げられている			上記該当あれば d	上記該当あればe
			あたり、製品仕様のとおりボル					
		<ul><li>井筒内の掘削作業に</li></ul>	あたり、不当沈下による傾き	を防止するため、掘削は中心	部から外側に掘り進み、掘り	すぎないように注意		
		して施工されている。						
		<ul><li>偏芯に配慮し、水平・針</li></ul>	鉛直に対する施工管理を常	に行っている。				
		<ul><li>沈下作業にあたり、地</li></ul>	山との摩擦力を軽減するため	めの沈下砂利が均一に回るよ	こうに施工されている。			
		<ul><li>縦方向接合鉄筋を挿え</li></ul>	入する際に鉄筋の所定ラッフ	<sup>7</sup> 長が取れているか確認でき	る。			
		· 縦方向接合鉄筋挿入	孔に充填するセメントミルクカ	<b>笹工に際し、所定の規格を満</b>	足しているか確認できる。			
		<ul><li>井筒頭部に施工する</li></ul>	固定コンクリートについて、水	:平かつ平坦に施工されてい	る。			
		【抑止杭工】						
		<ul><li>杭に損傷及び補修痕</li></ul>	がないことを確認できる。					
		<ul> <li>既製杭の打ち止めの管</li> </ul>	管理方法、又は場所打ち杭の	の施工管理方法が整理され、	かつ、記録で確認できる。			
		<ul> <li>杭の偏心管理が確認<sup>2</sup></li> </ul>			. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
		<ul> <li>溶接の品質管理に関し</li> </ul>	 って、仕様書等に定められた	事項が確認できる。				
			いは接続が丁寧に施工され					
		<ul><li>グラウト及び中詰コンク</li></ul>	リートが、丁寧に施工されて	いることが確認できる。				
			おいて、的確に施工されてい					
		【承水路工•排水路工】						
		<ul> <li>施設の出来あがりに凹</li> </ul>	凸がなく、丁寧に仕上げられ	<b>いている。</b>				1
		<ul> <li>既設道路及び水路施設</li> </ul>	設等との取付けがなじみが 🛭	臭く、施工されている。				1
								1
								1
								,
								ĺ

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	砂防構造物工事	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと、評価対象	象項目の履行状況(評価	値)から判断する。 <判断	基準参照>	品質関係の試験結果が	品質関係の試験結果が
及び	及び地すべり防			也設計図書に定められた			規格値、試験基準を超	規格値、試験基準を満
出来ばえ	止工事	※ ばらつきの判断					えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
			試験基準及び規格値を	満足する。			きが大きい。	
Ⅱ.品質		A HINA CHANA	1 10(22   )(0 /)(11   12 2	IN/C / 00				
11.00		【水抜きボーリング工】						
			)、孔口の接続が丁寧に仕上	げられている				
		<ul> <li>保孔管内部の洗浄作</li> </ul>		17.540.64.50				
			ポパー曜記(さる。 加工が適切であることが確記	りでキス				
					う ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ジャンナヤナルス		
			のから、角度、及い <del>を</del> さか設 の立合または、指示により確		型正 (C/よのよ ) 旭 上 上 V ) 町 恵 //	-12G41 ( 1 1/2)°		
			に挿入されていることが確認					
		• 保礼官が掘削主処女	に押入されていることが唯秘	<b>できる。</b>				
		【落石·雪崩防止工】						
		<ul><li>材料の品質規格証明:</li></ul>	まかぶ動 供をね インフ					
		<ul><li>施工基面が乱さないよ</li></ul>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·,				
			可などが適正に施工されてレ	'ప.				
		• 基礎が地山となじみよ		181 (.)				
			理、及び流水の洗堀に処理					
		<ul><li>リイヤ式の防護上の場</li></ul>	合は、張力にゆるみがない	ことか確認できる。				
		0 5-24-115		CT TO A SHARE A STATE OF THE S				
			項目」のうち、評価対象外の	· · · · · · · · ·	##- > 11 -1- /- /> -1 ##- 11 /			
					・算した比率(%)計算の値(評	⊭価値)で評価する。		
			%)=該当項目数( )/					
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	後の評価対象項目数が3項	目以下の場合はc評価とする	5.			
					1			
				で判断可能 ばらつきで				
		\	ばらつきが小さい ばらつ	いている はらつきが大きい 判断不可能				
			50%以下 80%	以下 80%超え				
			以上 a a	ı' b b				
		評 75%以上	90%未満 a'	b b' b'				
		値 60%以上	75%未満 b b	о' с с				
			未満 b'	с с с				
		注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきの	判断が出来ない場合は評価	■対象項目(評価値)だけで評	平価する。		
	1							
	1							
	1							

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種	1	,	l h	h'	0	Ь	(横雀職員)
V === 7 11 1	上性	a 上口所間はの計略分	a 用のばとったり 証何せる	D 第項日の居公出知 / 証知	┃	C 甘淮幺叨丶	u 品質関係の試験結果が	e 品質関係の試験結果が
3. 出来形 及び	<b>翻</b> 表 上 争					'基华麥煦 >	規格値、試験基準を超	規格値、試験基準を満
出来ばえ		<ul><li>( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )</li></ul>		也設計図書に定められた	八次 /		えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
山木はん				进口 <del>ト</del> フ			きが大きい。	/CC/(mg////00
Ⅱ.品質		☆ 品質が、試験項目、	武駛基準及い規格値を	<b>両足りる。</b>				
Ⅱ.如貝		[評価対象項目]						
		【路床・路盤工関係】	ロール がたに てわか 油・	て然って日人ぶぇ みほろい	は、良質の材料と入れ替えるが	わじの	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>
			ローリングを行ってわり、江	下寺の不具合かめつに場合に	1、尺負の材料と八和省える/	£80)	たは測定値が不適	たは測定値が不適
		対策を行っている。	ことって不適合なものに対し	対内等があられている			切であったため監	切であったため検
					51		督職員が文書で指	査職員が修補(手
			伝及い材料の敷均しが適し    理が適切に行われている。	Eな方法で行われ、材料分離	ic (vysv.		示を行い改善され た。	直し) 指示を行っ た。
		<ul><li>・ 材料の品質証明書が</li></ul>					/	/ <u>-</u> 0
			産性されている。 人、均一な路床安定処理工力	ジ字歩されていて				
				が美麗されている。 そ上がっていることが確認でき	. Z			
				マニがっていることが確認 Ce つ品質管理が実施されてい				
			産の厚さ官壁が1747kいが 適正に実施され、ゆるんだと		చి		上記該当あれば d	上記該当あればe
				-こつかなv・。 ・ ・にキャタビラの跡がなく、平5	日に仕 しがっている		工品成当80年10年 は	工品級当めれいな
				たイヤクロクの跡がなく、平 、念な施工が実施されている。				
		113102 11471 1102 11111 11 11	対导で振動さ フ寺によるだ 上試験方法でCBR値を測定					
		・ 取引凶音に足めり400	_武映力伝(CDNIE在例定	していることが推覧できる。				
		【アスファルト舗装関係】						
			・物の配合設計及び試験値	りが行われており、適切な混	<b>全物の相格が確認できる</b>			
			事前審査制度の適用工事		口 1/2 x 2 X/C L I 2 . 地田 II D C C . つ。			
				************************************	1.ている			
				解放時の温度管理を適切に				
				ス上にずらしていることが確 <b>言</b>				
			こ定められたとおりであること		D C 00			
			/	(締め固め等)の配慮が行わ	h.ていろ			
					に細心の注意が払われている	<b>3</b> -		
			いて細かな配慮がなされ、		THE CONTRACTOR OF THE PROPERTY	<b>3</b> 0		
				まがなされ、丁寧に施工され	ている。			
				どの有害物を除去しているこ	0			
		A111-24	の仕様を満足していることが		-CV HEND CC 00			
				実施しており、記録に整理され	1.ていろ			
		7 7 7 7 7 7 1 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 1/01-22 0/ 1 MAIN THE C MOUNT	CALO CHO / HOMO CIE/ECA	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
		【コンクリート舗装関係】						
			クリートの配合試験または記	は験練りが行われており、 適切	]なコンクリートの規格(強度・	w/c·最大骨材粒径·		
			できる。(IISA-5308以外の					
					認できる。(JISA-5308以外の	生コンを使用する場合)		
					ターによる締固、養生方法等			
			バ暑中コンクリート等を含む)			, ~_ /*-		,
		11 2 ( , 20 ( ) ( ) ( ) ( )	, p 1					
	1							

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種			h	L b'		٦	(快旦,概只)
<u> </u>	無 注 注 注 注 注 注	a み り かり は かり と り かり か	a a TEANTE A TEANT	~		T 推	d 品質関係の試験結果が	e 見質関係の試験結果が
3. 出来形 及び	<b> </b>			家頃日の復行状况(評価) 他設計図書に定められた			規格値、試験基準を超	
及い 出来ばえ		(1) 4:	_事施工官珪基準、その11  基準は別紙-4参照	型取訂凶音に比めり4 <i>い</i> に	武顺()			足せず、品質が劣る。
山木はん				井口 ナッ			きが大きい。	AC C / ( mg// // 0)
п 口后		び前負が、武鞅項目、	、試験基準及び規格値を	<b>両足りる。</b>			<del></del>	
Ⅱ.品質		, bil 1 o 70 10 **	/I. III o /II.ah (4. )	1				
			生用の供試体が当該現場の					
				あたりアルカリ骨材反応抑制が				
				場合は評価対象から除外す				
					。(平成26年8月19日付技第1	1019号)		
				保管管理が適正であることが				
					が集まらないようにしている。			
				坦、緻密、堅硬な表面仕上げ	になっている。			
		<ul><li>コンクリート舗装の表示</li></ul>	面仕上げで縦方向に凹凸が	ない。				
		<ul><li>目地の隣り合わせの舗</li></ul>	浦装面に段差がない。					
		<ul><li>舗装工の施工に先だ。</li></ul>	って、上層路盤面の浮き石等	<b>拳の有害物を除去してから施</b>	江していることが確認できる。			
		<ul><li>材料が分離しないよう</li></ul>	コンクリートを敷均しているこ	とが確認できる。				
		【橋面舗装】						
		<ul><li>橋面舗装では、舗装り</li></ul>	こ先駆け行う防水工において	こむらがなく、橋面の防水前、	及び施工後の測定を行ってい	いる。		
		<ul><li>水の浸入を防止する</li></ul>	舗装端部の処理が適正に施	工されている。				
		<ul><li>防水シートは、橋面部</li></ul>	らを洗浄し、水分計等で床版:	が十分に乾燥したことを確認	いた後に付着を適切に行って	<b>ている。</b>		
		<ul><li>舗装コアを採取しない</li></ul>	>場合は、別途適切な方法で	密度管理を行っている。				
		<ul><li>床版工のスペーサー!</li></ul>	は、本体コンクリートと同等の	品質で1m2当たり4個以上の	り設置が確認できる。			
		<ol> <li>① 「評価対象</li> </ol>	・項目」のうち、評価対象外の	項目は削除する。				
		② 評価対象タ	外項目の削除後は、削除後の	の評価項目数を母数として計	十算した比率(%)計算の値(P	平価値)で評価する。		
		③ 評価値(	%)=該当項目数( )/	/評価対象項目数( )				
				頁目以下の場合はc評価とする	న <u>.</u>			
		0 3.44 ( 144)4	- 100 - 101 limited and 201 - 201 - 201	(HO) I - WALL TOO HI IIMO / S	20			
			ばらつき~	で判断可能	1			
				いている ばらつきが大きい 判断不可能				
		`	50%以下 80%	6以下 80%超え				
		90%	_	a' b b	-			
		=∓		b b' b'	-			
		価			4			
					4			
•		l <u>l l</u>		C C C		またートッ		
I		圧 試験結果の	打点数等が少なくはらつきの	)判断が出来ない場合は評価	価対象項目(評価値)だけで評価	半価する。		
		ĺ						
		1						

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	h	h'	С	d	(快宜城貝 <i>)</i> e
3. 出来形 及び 出来ばえ	海岸工事	☆ 品質関係の試験総 (関連基準、土木] ※ ばらつきの判断		象項目の履行状況(評価が 他設計図書に定められた。 満足する。			品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	
Ⅱ.品質		(強度・w/c・最大骨本 ・ コンクリート打込み時 ・ 施工条件及び気象条 (寒中及び暑中コンク ・ 型枠、支保工の組立 ・ コンクリートの打ち直 ・ コンクリート打込み時	才粒径・塩基総量等)が確認での必要な供試体を採取し、強 の必要な供試体を採取し、強 を件に適した運搬時間、打込・ フリート等を含む) が適正で、コンクリート打込み		コンを使用する場合) できる。(JIS-A-5308以外の名 ターによる締固、養生方法等	、適切に行っている。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。	・ 品質の測定方法ま たは測定値が不適 切であったため検 査職員が修補(手 直し)指示を行っ た。
		・ コンクリート打込み前 ・ コンクリート及びセメ、 (高炉B種・C種のセミ ・ コンクリート打込み前 ・ 施工基面が平坦に仕 ・ 材料の規格・品質が ・ 海岸部に保管する型 ・ 濁り防止等環境保全 ・ 有害なクラックがない ・ 工事期間中、1日1回	に打継ぎ目処理を適切に行・ レトコンクリート製品の使用にさ メントを使用したコンクリートの に、単位水量試験または水も こ上げられている。 試験成績表等で確認できる。 はやのセパレート、組立の鉄筋に十分注意して施工している。 には潮位観測を実施して記録	っていることが確認できる。 あたりアルカリ骨材反応抑制が り場合は評価対象から除外す セメント比試験を実施している。 5等は、錆防止対策を行ってい	る) 。(平成26年8月19日付技第) いる。 ブロック製作などの工程を除く	x)	上記該当あれば d	上記該当あれば······e
		<ul><li>コンクリートブロックの</li><li>設置されたブロックに</li><li>砂地や岩盤への根入</li><li>上部構造物の継ぎ目</li><li>異形ブロック等を現場</li><li>異形ブロックの製作で</li></ul>	転置、仮置に際し、強度確認 仮置きで転倒、崩壊等の恐れ 破損や補修痕のないことが確 れが適正で、不等沈下や背 から背後土砂の流出がない。 場で製作のものは、型枠搬入 で豆板、かけ、型枠の目違い。	れがない。 確認できる。 後土砂のパイピング等がない	。 歪み・傷等をチェックしている。 認できる。	o		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	e e
3. 出来形	海岸工事	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと、評価対象	象項目の履行状況(評価	f値)から判断する。<判断	基準参照>		品質関係の試験結果が
及び		(関連基準、土木工	事施工管理基準、その何	也設計図書に定められた	_試験)			規格値、試験基準を満
出来ばえ		※ ばらつきの判断	基準は別紙-4参照				えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格値を	満足する。			きが大きい。	
Ⅱ.品質								
		【突堤工事】						
		<ul><li>・ 捨石基礎の均し面が立</li></ul>	P坦に仕上げられていること	が確認できる。				
		<ul><li>・ 捨石の基盤に敷設する</li></ul>	る帆布は、重ね合わせなどだ	ぶ適切に行われている。				
		<ul><li>方塊ブロックが垂直に</li></ul>	据えられていることが確認て	きる。				
		<ul> <li>捨石基礎は、大小のる</li> </ul>	5でかみ合わせが良く、均し	面にゆるみがないよう施工	されていることが確認できる。			
		<ul> <li>岩着の基礎工は、岩の</li> </ul>	り状態を把握し、表面の藻、	砂などを除去した上で施工	されている。			
		<ul><li>水中コンクリートの品質</li></ul>	質規格が確認できる。					
		<ul><li>水中コンクリートの打記</li></ul>	段に際し、海水混入の防止第	きを実施している。				
		【上部工】						
		<ul><li>施工の打ち継ぎ目で</li></ul>	は、位置が適正で、コンクリー	-ト打設前の清掃等が適切	こ行われている。			
		【中詰、被覆などの基礎工】						
		<ul> <li>中詰めに使用する石の</li> </ul>	の計量が適切であることが確	認できる。				
		<ul> <li>基礎工は、大小の石で</li> </ul>	でかみ合わせ良く、均し面に	ゆるみがないよう施工されて	こいることが確認できる。			
		・ 基礎に敷設する帆布等	等の破れがなく、所定の重ね	が写真記録等により確認で	<b>できる。</b>			
		<ul> <li>捨て石基礎の均し面が</li> </ul>	バ平坦に仕上げられているこ	とが確認できる。				
		<ol> <li>「評価対象</li> </ol>	項目」のうち、評価対象外の	項目は削除する。				
		② 評価対象外	小項目の削除後は、削除後の	の評価項目数を母数として	計算した比率(%)計算の値(記	平価値)で評価する。		
		③ 評価値(	%)=該当項目数( )/	/評価対象項目数( )				
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	後の評価対象項目数が3項	[目以下の場合はc評価とす	<sup>-</sup> వ <sub>ం</sub>			
						_		
				で判断可能	;			
		`	<u> </u>	いている はらつきが大きい 判断不可能				
				6以下 80%超え				
		<u>≅</u> ∓		a' b b				
		価 75%以工		b b' b'				
		値 60%以上		о' с с				
	1		-1-0-7	с с с				
		注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきの	D判断が出来ない場合は評	価対象項目(評価値)だけで言	平価する。		
	<u> </u>							

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種		a'	h	b'	0	ф	(検査職員) e
3. 出来形	法面工事	る 中庭間核の診験体		┃□ 象項目の履行状況(評価f	2	E 推	品質関係の試験結果が	品質関係の試験結果が
3. 四米//> 及び	佐田工事			♥項目の履行状況(計画) れ設計図書に定められた				規格値、試験基準を満
出来ばえ		※ ばらつきの判断		B以可囚官に定めり40/cg	八河大		えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
山水はん		<ul><li>☆ 品質が、試験項目、</li></ul>		滞見する			きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	<b>ド欧本年及りが</b> 作画で	一元 リ つ。				
п.ш д		【共通】						
		<ul><li>施工基面が平滑に仕」</li></ul>	トげられていろ				<ul> <li>品質の測定方法ま</li> </ul>	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>
			にかられている。 ぶ適切で侵食、亀裂等がない	`			たは測定値が不適	たは測定値が不適
				。 いているところがないように施	iTされていろ		切であったため監	切であったため検
				から適正な間隔を保ち固定さ			督職員が文書で指 示を行い改善され	査職員が修補(手 直し)指示を行っ
			へみが適正に施工されている		.40 (1 00		た。	た。
			面への固定方法が適切で					
			余去が確実に実施されている					
				-。 締固めを十分行っていること	が確認できる。			
		【種子吹付工、客土吹付工、	厚層基材吹付工関係】				上記該当あれば d	上記該当あればe
		<ul> <li>土壌試験を実施し、施</li> </ul>	· · · · · · · · · -					
		<ul><li>ネット等の重ね幅が10</li></ul>	cm以上確保されている。					
		<ul> <li>吹付け厚さが均等である。</li> </ul>	る。					
		<ul><li>吹付け厚さによって必</li></ul>	- 要な場合、2層以上の吹き作	けけは、層を分けて施工してい	いることが確認できる。			
		<ul> <li>跳ね返り材料が適切に</li> </ul>	処理されている。					
		・ 厚さによる2層以上の9	欠き付けでは、剥離がないこ	とが確認できる。				
		<ul><li>種子の品質が適正なご</li></ul>	とが書類等で確認できる。					
		・ 施工時期が定められた	条件を満足していることが	<b>雀認できる。</b>				
		【コンクリート又はモルタル吹	付工関係】					
		<ul> <li>使用する材料の種類、</li> </ul>	品質及び配合が、設計図書	きの仕様を満足していることが	確認できる。			
		<ul> <li>金網等の重ね幅が10cm</li> </ul>			, mare 10 00			
				ら施工していることが確認で	きる。			
		<ul> <li>吹付け厚さが均等である。</li> </ul>	る。		-			
		・ 吹付け厚さに応じて2月	-	いることが確認できる。				
		<ul> <li>跳ね返り材料が適切に</li> </ul>	処理されている。					
		<ul><li>法肩の吹付けにあたり</li></ul>	、地山に沿って巻き込んで加	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	),			
		<ul> <li>金網が仕様書の通りに</li> </ul>	施工され、仕上げ面から適	正な間隔を保ち固定されてい	る。			
		<ul><li>金網等の設置にあたり</li></ul>	、法面への固定方法が適切	]である。				
		<ul><li>水抜きパイプが適切に</li></ul>	配置されている。					

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形	法面工事	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと、評価対象	象項目の履行状況(評価(	値)から判断する。 <判断	基準参照>		品質関係の試験結果が
及び		(関連基準、土木工	三事施工管理基準、その個	也設計図書に定められた記	試験)		規格値、試験基準を超	
出来ばえ		※ ばらつきの判断	基準は別紙-4参照				えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格値を	満足する。			きが大きい。	
Ⅱ.品質								
		【現場打ち法枠工関係】						
		<ul> <li>使用する材料の種類、</li> </ul>	品質及び配合が、設計図書	書の仕様を満足していることが	が確認できる。			
		<ul><li>アンカーの施工長さか</li></ul>	確認できる。					
		・ 現場養生が適切に行	われていることが確認できる。					
		<ul><li>枠内に空隙がないこと</li></ul>	が確認できる。					
		<ul><li>層間にはく離がないこ</li></ul>	とが確認できる。					
		<ul> <li>跳ね返り材料が適切し</li> </ul>	こ処理されている。					
		<ul><li>アンカーが確実に固定</li></ul>	言されている。					
		【アンカー工】						
		<ul><li>ボルトの締付確認が実</li></ul>	ぼ施され、適切に管理されている。	いる。				
		<ul><li>ボルトの締め付け機、</li></ul>	測定機器のキャリブレーショ	ンを実施している。				
		<ul><li>アンカー施工までの定</li></ul>	E着具、テンドン等の保管管理	里が適正である。				
		<ul><li>アンカー等の組み立つ</li></ul>	て、加工が適正で損傷、汚れ	がない。				
		<ul><li>グラウト注入のセメント</li></ul>	ミルクの品質、強度および充	道確認が資料等により確認で	できる。			
		<ul><li>削孔の位置、削孔長、</li></ul>	方向について確認できる記	録が管理されている。				
		・ 削孔内の洗浄が適切	に施工され、スライムの除去:	が資料等で確認できる。				
		<ul><li>設計アンカーの耐力研</li></ul>	催保のためにジャッキの試験	成績表に基づき、定着荷重の	の資料が整備されている。			
		<ul><li>材料・製品の品質・規</li></ul>	格等がミルシート等により確認	認できる。				
		<ol> <li>「評価対象</li> </ol>	:項目」のうち、評価対象外の	項目は削除する。				
		② 評価対象	外項目の削除後は、削除後の	の評価項目数を母数として計	算した比率(%)計算の値(評	平価値)で評価する。		
		③ 評価値(	%)=該当項目数( )/	/評価対象項目数( )				
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	:後の評価対象項目数が3項	[目以下の場合はc評価とする	5.			
			ばらつきで	で判断可能	]			
			ばらつきが小さい ばらつ	いている ばらつきが大きい 判断不可能				
			50%以下 80%					
		90%		a' b b	1			
		評 7506以 F		b b' b'	1			
		1 (#)		, c c	1			
		110	1 444	c c c	1			
				<u>○</u> ○判断が出来ない場合は評価	』 所対象項目(評価値)だけで割	平価する。		
		11 11-100/1/10 1/10/	11111/3/2 441.5 4714.5 364	> 1361V H1VV 94 W H1961	#1/1 ≥// 公日 (日1   四  匹/ /C1/) <l< td=""><td>IIIm / o√o</td><td></td><td></td></l<>	IIIm / o√o		
		1						

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

及び (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) 規格値、討	試験基準を超 だあり、ばらつ た	e 品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
及び (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) 規格値、診 ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照 ☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。 さが大きい	試験基準を超 だあり、ばらつ た	規格値、試験基準を満
Ⅲ.品質	′ '0	
<ul> <li>【共通】</li> <li>・ 水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。</li> <li>・ 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重が適切に管理されている。</li> <li>・ ケーシングをはじめ、加工組立した鉄筋等について細心の注意で施工されている。(バランス良い吊り)</li> <li>・ 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。</li> <li>・ 測定機器のキャリブレーションを実施している。</li> <li>・ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。</li> <li>【深礎工】</li> <li>・ ライナープレート等の組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。</li> </ul>	の測定方法ま 測定値が不適 あったため監 員が文書で指 行い改善され	品質の測定方法ま の測定方法は の測定が不め をでした。     はあが修 を直し)     た。     上記該当あれば      と記該当あれば      と記談当あれば      と記談当あれば      と記談当あれば      と記談当あれば      と記談当あれば      と記談当あれば      と記談当まれば      と記述さればいがによります。     と記述さればいがによりますます。     と記述さればいがによりますます。     と記述さればいがによりますますますますますますますますますますますますますますますますますますます

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

		ī					-	(快宜城貝)
考査項目	工種	a	a'	l b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	基礎工工事	(関連基準、土木コ ※ ばらつきの判断		象項目の履行状況(評価付 他設計図書に定められた記 で満足する。		基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		【コンクリートエ(場所打ちが・・設計図書に基づくコン(強度・w/c・最大骨材・コンクリート打込み時・・施工条件及び気象条(寒中及び部品ので性・コンクリート打込みまでで性・コンクリート打込みまで。 鉄筋の組立・加工の道のにまがの規格・引張強に、 鉄筋の関格・引張強に、 鉄筋の重ね合わせせ長・鉄筋の重ね合わせせ長・ 鉄筋の重ね合わせせ長・ 鉄筋の重ね合わせも長・ 鉄筋の重ね合わせも長・ 鉄筋の重ね合わせも長・ 大きない (道) 「評価対象。第一個(道) 「評価値()なお、削りが、 (4) なお、削りが、 (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	での中語め用等)】  クリートの配合試験または計 対位径・塩化物総量等)が確認・塩化物総量等)が確認・に必要な供試体を採取し、残ら性に適した運搬時間、打込り一ト等を含む)。能検査をするものは、製造での鉄筋の保管管理が適正での鉄筋の保管管理が適正での鉄筋の保管管理が適正での鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。配置し、鉄筋のかぶりを確保り、作業員の技量確認を行って、大変を受い、大変を関し、大変を関い、大変を関い、大変を関い、大変を関い、大変を関い、大変を対している。  はいるというであることが、できる。  はいるというであることがであることがであることが、設計図書どおりであることがであることがであることがであることが、はずいであることが、設計図書とおりであることが、設計図書とおりであることが、設計図書とおりであることが、表述を可能がある。  はいるというでは、対象を使い、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない	は験練りが行われており、適切認できる。(JISA-5308以外のは度、スランプ・空気量等が確認み時の投入高さ、バイブレーを 者又は公的機関の証明書が書かたりアルカリ骨材反応抑制な合は評価対象から除外する。 であることが確認できる。 している。 っている。 シート等で確認できる。 とが確認できる。	コンクリートを使用する場合) にできる。(JIS-A-5308以外の:できる。(JIS-A-5308以外の:ターによる根固、養生方法等 を備されている。 対策の適合を確認している。)	、適切に行っている。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>北</b> 市日	<b>丁</b> 锤	ı	,	1	1,	T	1	(快旦報貝)
考査項目 3. 出来形 及び 出来ばえ	工種 地盤改良工事 (サンドマット等 は【盛土・築堤】	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断	事施工管理基準、その 基準は別紙-4参照	■ b 象項目の履行状況(評価 他設計図書に定められた		<u> </u>	d 品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	e 品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
T 口所	で評定)		試験基準及び規格値を	た満足する。			CH-VCA.	
Ⅱ.品質		<ul><li>施工ポイントにロッドの</li><li>機械の安定を確保し、</li><li>注入量は、流量計をも</li><li>改良地盤にあっては、</li><li>工事着手前に配合試</li></ul>	はじめ、安全性が確認できる シセンターが合っているか、『 垂直精度を確認し、孔曲か 使用し、規定分の注入材を注 改良間が規定通りに改良が 験、一軸圧縮試験等を実施 スラリー噴出量、強度等の作	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。	・ 品質の測定方法ま たは測定値が不適 切であったため検 査職員が修補(手 直し)指示を行っ た。			
		<ul><li>注入順序はステップア</li><li>注入は、突出量を一気</li><li>注入状況を証明する</li><li>注入完了後は、設計</li></ul>	受定されたゲルタイムになる ケップ方式とし正規の間隔で 官に保つように圧力管理が写 記録用紙には、監督員の検 を満足する結果かどうかを透 地下水及び公共用水域等の	上記該当あれば d	上記該当あればe			
		<ul><li>造成の際には、圧力、</li><li>注入材の管理は、常は</li><li>規定の有効径が確保</li><li>六価クロム溶脱に対す</li><li>① 「評価対象</li></ul>	こ練り上がった注入材の比重され、一軸圧縮強度試験にこる確認が実施され、本工事 「項目」のうち、評価対象外の	基づき管理されていることが確 重をマッドバランスで管理し、   より強度管理されている。 ほが実施されている。	日々測定の比重管理が実施			
		<ul><li>④ なお、削防</li><li>評価値</li><li>60%以上</li></ul>	ばらつきが小さい ばらっ 50%以下 809 以上 a 90%未満 a'	夏目以下の場合はc評価とするで判断可能 ばらつきで 判断不可能	5.			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種	a.	a,	h	h'	С	d	(検査職員) ┃ e
3. 出来形	コンクリート橋	ω	3	<u>■                                    </u>		_	品質関係の試験結果が	品質関係の試験結果が
及び	(PC及びRCを対			他設計図書に定められた		安士参照>	規格値、試験基準を超	規格値、試験基準を満
出来ばえ	象)	※ ばらつきの判断			1- V(0/C)		えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
山水はた	<i>3</i> C)	<ul><li>ふ はら うさい 刊 時 は</li><li>☆ 品質が、試験項目、</li></ul>	TT   1000 40 10 1 - 50 11 11	<b>満足する</b>			きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	FMX 基 年 及 し が 旧 恒 と	.1四人 7 ひ。				
11.111月		【共通】						
		I = - =	カリートの配合試験またける	式験練りが行われており、 適切	]かっいカリートの担枚		<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>
				Rできる。(IISA-5308以外の:			たは測定値が不適	たは測定値が不適
				応 くさる。(JISA-5506以外が 低度、スランプ・空気量等が確		コンカゴートな休田士を担合	切であったため監	切であったため検
				は及、ヘノンノ・空気重等が幅 み時の投入高さ、バイブレー			貨職貝が又青し指	査職員が修補(手
		(寒中及び暑中コンク!		か时の女人向さ、ハイフレー	グーによる神団、食生ガ伝寺	、適切に17つている。	示を行い改善された。 た。	直し)指示を行っ た。
				*後、取り外し時期がコンクリー	1 改善体で済工に祭押され	<b>プ</b> 1 \ 7	700	700
			・迪げ強度の試験値をミル		- 下畑及寺で週上に官座され	ている。		
			の鉄筋の保管管理が適正					
			2置し、鉄筋のかぶりを確保				しきまれてもながら	しきまれてももば
			、作業員の技量確認を行っ				上記該当あれば d	上記該当あればe
			i切であることが確認できる。		o Fr o F 4 o F /   ++ /#r 4 o o F F			
		113011101111111111111111111111111111111		げ試験を行っている。(平成1	9年6月12日付拉第1007号)			
			が、設計図書どおりであるこ					
			こ雨水やわき水が適切に処	埋されている。				
		<ul><li>コンクリートの打ち直し</li></ul>		一、フェルドかコニシフ				
			工打継ぎ目処理を適切に行		UM ~ > ^ + ~ + ~ - > - >			
		** *		あたりアルカリ骨材反応抑制				
				場合は評価対象から除外す				
				ヒメント比試験を実施している	0 ( 1 // 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	* *		
			非破壊試験による配筋状態	態及びかぶり測定・ひび割れ	調査を行っている。(半成31年	F2月15日付技第1035号)		
		<ul><li>有害なクラックがない。</li></ul>						
		【製作関係】						
			格の照合がミルシート等(ヨ	見場照合を含む)で確認でき	5.			
			経器)のキャリブレーションが		o o			
		11 212 42 1771 24 12 (12)	適正で、品質が確認できる。	SCHECHOLL DO				
			シで適正に実施されている					
		<ul> <li>緊張及びグラウト管理</li> </ul>		<b>&gt;</b> 0				
		711111111111111111111111111111111111111		宿応力度の1.7倍以上であるこ	とが確認できる。			
					-			
		【架設関係】						
		<ul><li>・ 支承の据付で、コンク</li></ul>	Jート面のチッピング及びモ	ルタルでの付着が確認でき、	仕上げ面に水切り勾配がつい	<b>いている。</b>		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

		クを配入する。						(検査職員)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	コンクリート橋 (PC及びRCを対 象)	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断		也設計図書に定められた	値)から判断する。 < 判断 試験)	基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		① 「評価対象 ② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削例	2項目」のうち、評価対象外の 外項目の削除後は、削除後 %)=該当項目数( )/ 後の評価対象項目数が3項 ばらつきがかさい ばらつ 50%以下 80% 50%以下 80% は50%以下 80% 6以上 a a a a a a a a a a a a a a a a a a a	項目は削除する。       の評価項目数を母数として計 /評価対象項目数( )       国以下の場合はc評価とする       で判断可能 いている ばらつきが大きい 6以下 80%超え       a' b b b' b' b' b' c' c c       c c c c	子算した比率(%)計算の値(まる。			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	l h	h'	С	А	(快宜城貝 <i>)</i> e
3. 出来形 及び 出来ばえ	塗装工事	☆ 品質関係の試験結 (関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断 ☆ 品質が、試験項目、	果のばらつきと、評価対	象項目の履行状況(評価) 他設計図書に定められた で満足する。		_		
Ⅱ.品質		・ ケレンが入念に実施さ ・ 施工時の天候、気温 ・ 塗料を使用前に攪拌 ・ 塗料に有害な付着物 ・ 塗料の空缶管理が、2 ・ 上向きなど塗装しにく ・ 締め付けボルト、橋台 ・ 仮設足場の跡などの資	ン、容器底部に顔料が沈殿 がない。 写真等で確実に確認できる。 いところが入念に施工されて と桁の間、及び隅の所で塗 をり残し、色違いの塗装のな	記録されており、適正な気象タ していないことが確認できる。 。 ている。 り残しがない。 ないことが確認できる。	条件下で塗装をしている。		・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため検査職員が修補(手直し)指示を行った。
		・設計図書に示された数	へこみがないことが確認できな 数量が、使用前後で資料に。 明書、塗料成績表により、製	-	数量が確認できる。		上記該当あれば d	上記該当あればe
		② 評価対象 ③ 評価値(	%)=該当項目数( )/	の評価項目数を母数として計	3,	平価値)で評価する。		
		評 75%以上 価 60%以上	ばらつきが小さい   ばらつ   50%以下   809   50%未満   a	で判断可能 ばらつきが大きい がらつきで 判断不可能 が以下 80%超え a' b b b' b' b' b' c c c c c c				
		注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきの	の判断が出来ない場合は評値	<b>五対象項目(評価値)だけで</b> 語	平価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

+7. → + + + T □	<b>一十1</b> 年	1	,	1	1 2	T	1	(
考査項目	工種	a	a´	<u>b</u>	b´	С	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	トンネル工事	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断	事施工管理基準、その低	也設計図書に定められた	値)から判断する。 < 判断 試験)	基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		[評価対象項目] 【共通】【無筋】 ・ 設計図書に基づくコン(強度・w/c・最大骨材・コンクリート打込み時の・施工条件及び気象条件(寒中及び暑中可力・対しますの、サ筋の規格・引張強度・コンクリート打込み時で・型枠、支保の組立・加工が直・対筋の組立・加工が適切に配り・サ筋の重ね合わせらい。サ筋の重ね合わせが、重要構造物に合わせが、重要構造物に合わせが、カンクリート及びもの重なのでもメントのである。現場でのセメントをがいまからで、現場でのセメントなが、有害なクラックがない。・設計図書に定められた 「掘削】・掘削は、地山を緩ませ	クリートの配合試験または試粒径・塩化物総量等)が確認の必要な供試体を採取し、強件に適した運搬時間、打込。リート等を含む)で、地質の保管管理が適正では、近点で、コンクリート打込みや補修の痕跡がない。これ水やわき水が適切に処理であることが確認できる。とので、設計図であることが確認を行った。とので、設計図を確保について、引張試験曲にが、設計図典とどおりであることが確認を行った。以作業員の技量確認を行った。以前とでは、引張試験曲にが、設計図典とどおりであることがない。これでは、計算を関係した。これで、といて、引張試験曲にないた。といて、引張試験曲にない、といて、対策ぎ目処理を適切に行った。といて、対策では、計算をは、対策では、対策では、対策では、対策では、対策では、対策では、対策では、対策で	は験練りが行われており、適切とできる。 は度、スランプ・空気量等が確み時の投入高さ、バイブレー・ ンート等で確認できる。 あることが確認できる。 が行われていることが確認できる。 が行われていることが確認できる。 でいる。 ている。 ている。 でいる。 とが確認できる。 っていることが確認できる。 ったりアルカリ骨材反応抑制が 場合は評価対象から除外す とメント比試験を実施している 、	認できる。(JISA-5308以外の ターによる締固、養生方法等 きる。 ト強度等で適正に管理され 9年6月12日付技第1007号) 対策の適合を確認している。 る) 。(平成26年8月19日付技第2	、適切に行っている。 ている。	<ul> <li>品質の測定方法は適切で方法は適切ででは、</li> <li>おびで、</li> <li>おびで、</li> <li>おびで、</li> <li>おびで、</li> <li>上記該当あれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>品質の測定方法・ ・ 品質の測定を ・ とはである。</li> <li>・ 品質の測定を ・ である。</li> <li></li></ul>

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種	a a' b b' c	d	(1火且4収兵)
3. 出来形 及び 出来ばえ	トンネル工事	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		品質関係の試験結果が
Ⅱ.品質		【支保工】	できる。	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

(檢查職員)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(検査職員) e	
3. 出来形 及び 出来ばえ	公園·植栽工事	☆ 品質関係の試験結果	事施工管理基準、その他 基準は別紙-4参照	1			•	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。	
Ⅱ.品質		<ul><li>・路床・路盤工のプルー</li><li>・石積み、二次製品側溝</li><li>・雨水等の帯水が生じな</li><li>・盛土材の品質、形状が</li></ul>	***************************************						
		<ul><li>クレー(混合土)表層材</li><li>平板、レンガ、タイル舗</li></ul>	料の混合が入念に行われ、	切な配合規格が確認できる。 、品質が均一であることが書業 仕様書等に定められたとおりい。		ぎきる。	上記該当あれば d	上記該当あればe	
		・活着管理が適正に行れ ・樹木等に損傷、はちく・ ・樹木等の生育に害のある。 ・余剰枝の剪定、整形そ ・肥料が直接樹木に応じて・土壌改良においては、 ・日焼け、病害虫を防止・支柱を、全体的な美観・添木をぐらつきがない。 ・ 現場に搬入された芝は・現場に搬入された芝は	ずれ等がなく保護養生が適 あるものは除去されている。 の他必要な手入れが行われ た触れないよう均一に施肥さ 、余裕のある植穴を堀り植り 設計に基づく改良深さ、改 するため幹捲きなどが適切 を考慮し、緩みなく堅固に言 よう設置していることが確認。	切になされている。 れている。 れている。 た底部を耕していることが確認 良材の添加量が確保され、均に行われている。 <b>受置している。</b> できる。 虫害などないことが確認できる。 死しないように養生されている。	Jーに混合されている。 3。				
		<ul><li>地下埋設物が設計図書</li></ul>		う。 ており、記録により確認できる ふれがないように、堅固に基	-				

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

		クを配入する。						(
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	公園·植栽工事	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断。	事施工管理基準、その他	象項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた記 満足する。		F基準参照 >		
Ⅱ.品質		① 「評価対象 ② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削除 評価値 60%以上 60%以上	項目」のうち、評価対象外の ト項目の削除後は、削除後の %)=該当項目数( )/ 後の評価対象項目数が3項 ばらつきずがかい ばらつ 50%以下 80% 以上 a a 90%未満 a' 75%未満 b b	項目は削除する。 か評価項目数を母数として計算価対象項目数( ) 「目以下の場合はc評価とする で判断可能 いている」はようきが大きい。 以下 80%超え 1	lo.			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

		7	,		- 1		_	(検査職員)
考査項目	工種	a	a′	b	b'	С	d	е
出来ばえ	防護柵(網) 視線誘導標 標識•照明灯 区画線等設置工	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断。	事施工管理基準、その個	也設計図書に定められた	値)から判断する。 < 判断 試験)	F基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質	事	[評価対象項目] 【共通】 ・ ボルトは資材に対し直 ・ シールは位置、高さな ・ 防護柵の設置基準、視 【防護柵】 ・ 製品の損傷、キズ、へ ・ 関語では、一、のでは、一、のでは、一、のでは、一、のでは、一、のでは、一、のでは、一、のでは、一、では、一、	角に通り、緩みなく締め付けどの点で適正に貼られ、しれと線誘導標設置基準、道路標こみなどがないことが確認できるみがない。一プにゆがみがない。一プにゆがみがない。由線部では、支柱がケーブパは、地盤をゆるめないように対性の面において、地山のまた中に設置する場合に取付ける場合、設計図書こみなどかないことが確認できるより確認が出来る。の角度が適切である。沈下するおそれがないよう十九にでは、周囲の締固めが十分規格通りにできあがり、高さ、現格通りにできあがり、高さ、現格通りにできあがり、高さ、	けが十分であることが確認でき のが寄っていない。 環識ハンドブック等の規定を満 きる。 られ、道路の路側構造物との い張力によって傾かないように 主意して施工され、また穴を排 、位置は設計図書に適合する 乱れや不陸が生じないように に定められた所定の張力をよ 、打込みしたコンクリートが記 きる。 りの高さに設置され、道路の にる。	情足していることが確認できる 位置関係が図られている。 に施工されている。 配って立て込む場合は、十分 ることが確認できる。 に施工していることが確認でき 与えているのが確認できる。 設計図書に定められた強度以 路側構造物との位置関係が「	に突き固めて埋め戻しされ る。 以上であることが確認できる。	品質の測定方法までがある。     おはであるが、主には測定値があるが、主にを行い、表示を行い、表示を行い、表示を行い、表示を行い。     上記該当あれば d	<ul> <li>品質の測定方法まででは、</li> <li>おいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は</li></ul>

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

老木百旦	<b>一 子</b> 種	1	,	1	1 ,		1	(快旦報貝)
考査項目	工種	a	a	D	b b	C	Q	e
3. 出来形	防護柵(網)				値)から判断する。<判断	<b>基準</b> 参照>		品質関係の試験結果が
及び	視線誘導標			也設計図書に定められた	試験)		規格値、試験基準を超	
出来ばえ	標識·照明灯	※ ばらつきの判断基	準は別紙-4参照					足せず、品質が劣る。
	区画線等設置工	☆ 品質が、試験項目、記	式験基準及び規格値を	満足する。			きが大きい。	
Ⅱ.品質	事							
п.шд	3.	【区画線】						
		=: ::::=	が何には田士さい。よって	使用量が10%以下である。			<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>
							たは測定値が不適	たは測定値が不適
		<ul><li>・ 塗料の空き缶管理が、2</li></ul>					切であったため監	切であったため検
		<ul><li>施工時の気象条件を考</li></ul>	慮し、施工がなされている	ことが確認できる。			督職員が文書で指	査職員が修補(手
		<ul><li>施工前に路面を清掃し</li></ul>	た上で、乾燥後に施工され	<b>いている。</b>			示を行い改善され	直し)指示を行っ
		・ 溶融式区画線の施工で	は溶融漕を適温に管理し	ている。			た。	た。
		<ul> <li>区画線を消去の場合、</li> </ul>	表示材(塗料)のみの除去	となっており、路面への影響	が最小限となっていることが確	認できる。		
		<ul><li>プライマーの施工にあた。</li></ul>	って、路面に均等に涂布	していることが確認できる。				
		<ul> <li>区画線の材料が、設計</li> </ul>						
		- 区画版切材料//、取引	<b>凶音♥/江水で側だして♥。</b>	ひことが作品で くさる。				
		[ 177 112 Jer ]					しつませんが、1	上記該当あればe
		【照明灯】	- 1 111 1				上記該当あれば d	上記該当めればe
		<ul><li>製品に損傷、キズ、へこ</li></ul>						
		<ul><li>照明灯は、垂直に立ち、</li></ul>	規格とおりの高さに設置さ	され、道路の路側構造物との	位置関係が適正である。			
		・ 設計図書に明示以外は	、照明灯の方向は、道路	<b>去線に直角に対象形になっ</b> つ	ている。			
		・ 構造物強度・地耐力の	<b>雀認が出来る。</b>					
		<ul><li>基礎の周囲の締め固め</li></ul>	が十分に行われている。					
		<ul> <li>支柱を支える基礎は、表</li> </ul>	格どおりにできあがり、高	さ、位置が設計図書により確	認ができる。			
		ス 圧 色 ス / と 切 出			,,eu-14 C O 0			
			5 D . o. 2 L . 5 T / T / J / J / J	- エロハル間へ トマ				
		1 1	[目」のうち、評価対象外σ	/ · · · · · · · · · · · / = 0				
		0 111 111 111			·算した比率(%)計算の値(評	価値)で評価する。		
		③ 評価値(	%)=該当項目数( )/	/評価対象項目数( )				
		④ なお、削除後	後の評価対象項目数が3項	頁目以下の場合はc評価とする	5.			
		<u>'</u>						
			ばらつき	で判断可能	1			
				ルンエルス Wis oaks(まれ) ばらつきで				
		\	50%以下 80%	判断个可能				
		000/15			4			
		90%以		a' b b	4			
		価 73%以工9		b b' b'	_			
		値 60%以上7	5%未満 b	b' c c				
		60%	÷満 b'	с с с	]			
		注 試験結果の打	点数等が少なくばらつきの	D判断が出来ない場合は評価	■ 西対象項目(評価値)だけで評	価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

老木百日			,	l h	l b'	Т .		l a	(横雀職員)	
考査項目	工種 維持修繕工事	る 口所用はの計略分	a 田のばとったし 証何かね	┃	(±).2.2 Vallet -b.z. z.Va	C UNC # 3# 4 DZ \		d 品質関係の試験結果が	e 品質関係の試験結果が	
3. 出来形 及び	維付修繕工事			象項目の履行状況(評価↑ ≒設計図書に定められた					規格値、試験基準を満	
出来ばえ		※ ばらつきの判断		B取計凶者に足のり40/ご	1八岁史/			えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。	
四木はん		<ul><li>ス はらっさの刊める</li><li>☆ 品質が、試験項目、</li></ul>		<b>港</b> 見する				きが大きい。	The control of the co	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	武衆基準及U'祝俗胆を	何た りる。				·		
□.吅貝		【(防雪)柵設置工事(組み立	ア 収納 換土)							
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	適切であり、堅固に固定され	アルス			<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>	<ul><li>品質の測定方法ま</li></ul>	
		2 - 3 - 4		·過切であり、至固に固定され ・  ・  ・  ・  は切い、  ・  はいいることが  ・  はいることが  ・  ・  はいることが  ・  ・  はいることが  ・  ・  はいることが  ・  ・  はいることが  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				たは測定値が不適	たは測定値が不適	
				と施工されていることが確認				切であったため監	切であったため検	
				こ点検し、施工されていること				督職員が文書で指 示を行い改善され	査職員が修補(手 直し)指示を行っ	
				されがないことが確認できる。				た。	した。	
		32 Ha ( 24) [ 1 ] 1 ( 0 ) ( 0 ) ( 1 )	、171、 二八 主級の187	100 -81 CC0 HERD CC 08				, = 9	, = v	
		【舗装道維持修繕工事】								
		E HINDENCE THAT I I I I	物の配合報告書により適切	]な混合物の規格が確認でき	:5.					
				は間などなく、確実な密着がで	- 0					
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	有害物を除去後に舗設した		, L. C. W.			上記該当あれば d	上記該当あればe	
			法により均一に散布又は途							
		<ul><li>打ち換えの舗装補修で</li></ul>	では、路盤の不陸が確実に値	修正され、切削工では切削面	jが平坦にできあがってい	る。				
		【道路維持修繕工事】								
		・ 材料(二次製品)の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。								
		<ul><li>基礎、支柱が沈下しな</li></ul>	いよう、設置孔の基礎部が一	十分締め固められ、堅固に立	て込まれている。					
		<ul> <li>取り替え前に、既存部</li> </ul>	材の形状等がきめ細かに調	整され、支障なく本来の機能	€が確保されている。					
		<ul> <li>蓋掛け前に、施工区間</li> </ul>	内側溝の清掃が実施され、	蓋のガタツキがないことが確	認される。					
		<ul> <li>構造物、道路付属物质</li> </ul>	辺の除草、伐採が実施され	にいる。						
		【河床整形工事】								
		<ul> <li>施工基面が平滑に仕_</li> </ul>	上げられている。							
		<ul><li>土砂等の流出、既存施</li></ul>	i設への影響が生じないよう	適切に施工している。						
		1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1		に従って、対象範囲を確実に	こ処理している。					
		・ 伐採及び撤去物の処理	里が適正に行われていること	:が確認できる。						
				- 16 18 6 - 2			, 12 ~	- A - dulber - Ma	<u> </u>	
		1	のうち、評価対象外の項目			<u> </u>		つきで判断可能	つきで	
				i項目数を母数として計算した	5	_		はらついている。はらつきか大きい	不可能	
			値(評価値)で評価する。				0%以下			
			=該当項目数( )/評価			90%以上	a ,		<u>b</u>	
		<ul><li>④ なお、削除後の</li></ul>	平価対象項目数が3項目以	トの場合はc評価とする。	─────   価	75%以上90%未満	a'	b b' k		
					値   -	60%以上75%未満	b .,		С	
					32 = ABAA	60%未満	b'	C         C           析が出来ない場合は評価対象項目	C (表現 (元 (本) よいよっなまま (元・トッ	
					注 試験	桁未の打 点数寺か少なくはら	っつさの判じ	ボルロ米ない場合は評価対象項目 ┃	(計1回1担/7こけで計1曲する。 ┃	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(快宜喊貝) e
3. 出来形	港湾築造工事	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと、評価対象	象項目の履行状況(評価作		-基準参照>		品質関係の試験結果が
及び	(浚渫・海岸築造	(関連基準、土木工	事施工管理基準、その他	也設計図書に定められた記	试験)			規格値、試験基準を満
出来ばえ	工事を含む)	※ ばらつきの判断	TT 1 1000 1011 -> 1111				えるものがあり、ばらつ きが大きい。	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格値を	さか入さい。				
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
		【共通】					m mm America A	
			二十分注意して施工している	/			<ul><li>品質の測定方法または測定値が不適</li></ul>	<ul> <li>品質の測定方法または測定値が不適</li> </ul>
			ルシート等(現物照合を含む	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			切であったため監	切であったため検
			管理に関して仕様書に定め			/ E   E	督職員が文書で指	査職員が修補(手
			クリートの配合試験または試 る。 (IISA-5308以外のコンク	は験練りが行われており、適切	なコングリートの規格(強度・	w/c•最大宵材粒径•塩化	示を行い改善され た。	直し) 指示を行っ た。
			- 0 10	リートを使用する場合) 、スランプ、空気量等が確認	<b>ガキ</b> ス		/c <sub>0</sub>	/-0
				、ヘノンノ、至メ重寺が確認 み時の投入高さ、バイブレー:		を適切に行っている		
		(寒中及び暑中コンク)		7-64 V21X/X  a  C   7    1 / V				
		(())	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	、取り外し時期がコンクリート	強度等で適正に管理されて	いる。		
		<ul><li>コンクリートの打ち直し</li></ul>		.(1,0,0,0,1,0,1,0,1,0,1,0,1,0,1,0,1,0,1,0	мх (	. 20	上記該当あれば d	上記該当あればe
		<ul><li>コンクリート打設時に雨</li></ul>	可水やわき水が適切に処理さ					
		<ul><li>コンクリート打設前に打</li></ul>	J継ぎ目処理を適切に行って					
		<ul><li>コンクリート及びセメン</li></ul>	トコンクリート製品の使用にあ	らたりアルカリ骨材反応抑制 <b>対</b>	対策の適合を確認している。			
		(高炉B種、C種のセメ	ントを使用したコンクリートの	場合は評価対象から除外す	る)			
		<ul><li>コンクリート打込み前に</li></ul>	こ、単位水量試験または水セ	アメント比試験を実施している。	(平成26年8月19日付技第	1019号)		
		2 - 12 · 11 · 11 · 11 · 11 · 11	ないよう十分検討して施工さ					
				責表等(現物照合を含む)で確	認できる。			
			鉄筋の保管管理が適正であ	らることが確認できる。				
			i切であることが確認できる。					
			2置し、鉄筋のかぶりを確保1 )、作業員の技量確認を行っ					
			、作業員の技重帷部を行つ ぎ、曲げ強度の試験値をミル					
		., .,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	え、曲け短及の武鞅値をミル は潮位観測を実施して記録!					
				ひでいることが確認できる。 の確保及び退避設備の対策	を講じていることが確認できる	3		
		ロかいなこックチャロスは外に	ー ルロノこ く ルビュニョウリ (一及正光世のカナ)	-> PENNA O YEARIN MINOS NI W	C NUT C C V SCCV SERD C C C	ν <sub>0</sub>		
		【浚渫、床掘関係】						
			ついてムラなく設計図書どお	りに施工されていることが記録	录により確認できる。			
		・ 測深資料から施工の通	<b>適正さが確認できる。</b>					

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	l a	a'	l h	h'	С	Д	(快宜城貝) e
3. 出来形 及び 出来ばえ	港湾築造工事 (浚渫・海岸築造 工事を含む)	☆ 品質関係の試験結 (関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断: ☆ 品質が、試験項目、	規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が				
Ⅱ.品質		<ul> <li>浮泥を巻き込まないよ</li> <li>サンド、砕石ドレーン、等により確認できる。</li> <li>ペーパードレーンが計</li> <li>サンドコンパクションバ</li> <li>ロッドコンパクションの</li> <li>深層混合処理の打込</li> </ul>	を適切に行っていることが記 う置換材を投入していること サンドコンパクション及びロー 画深度まで破損なく正常に イルが連続した一様な形状 打込記録から、一様な路数 記録から、仕様書になられ	・ 品質の測定方法ま たは測定値が不適 切であったため監 督職員が文書で指 示を行い改善され た。	・ 品質の測定方法ま たは測定値が不適 切であったため検 査職員が修補(手 直し)指示を行っ た。			
		<ul><li>前記以外の改良工法</li><li>盛上り土の状況確認が</li><li>打ち込み機の施工に</li><li>打ち込み記録が適正</li></ul>	上記該当あれば d	上記該当あればe				
		【マット、捨石及び均し関係】 ・ マットが破損なく所定の幅で積み重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 ・ 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないように堅固に施工され、記録により確認できる。 ・ 裏込めが既設構造物及び砂防目地版の破損に注意して施工され、記録により確認できる。						
		<ul> <li>【本体: 杭及び矢板、控工関係】</li> <li>・ 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されている。</li> <li>・ 杭及び矢板の打止め施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。</li> <li>・ 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。</li> <li>・ 腹起こし材を全延長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させている。</li> <li>・ 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう適切に処理されている。</li> <li>・ 控索材は隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。</li> <li>・ 捨石等の規格、計量が確認できる。</li> </ul>						
		<ul><li>ケーソン仮置に先立ち</li><li>ケーソン据付に先立ち</li><li>ケーソン据付等及び</li><li>コンクリートブロック据</li><li>ブロック据付等につい</li></ul>	曳航及び回航の施工上の泊 仮置場を調査し、仮置作業 気象、海象等を十分調査し 司話においてケーソン及び思 付に先立ち気象、海象等を てブロック及び既設構造物	を意事項(仕様書による)が守いが所定の位置に異常なく行法が所定の位置に異常なく行法、据付作業が所定の精度で を設構造物等の破損がなく施 十分調査し、据付作業が所定等の破損がなく施工されてい く、孤立したブロックがないこと	っれている。 行われている。 エされている。 この精度で行われている。 る。			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 使
3. 出来形 及び 出来ばえ	及び (浚渫・海岸築造 出来ばえ 工事を含む)			象項目の履行状況(評価 他設計図書に定められた が満足する。			品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	
Ⅱ.品質	口具		らで製作のものは型枠搬入 で豆板、かけ、型枠の目違い。					
		【防波堤工事】 ・ 捨石基礎の均し面が ・ 捨石の基盤に敷設す ・ 捨石基礎は、大小の ・ 岩着の基礎工は、岩・ ・ 水中コンクリートの品						
		<ul><li>【上部工】</li><li>施工の打ち継ぎ目で</li><li>有害なクラックがない</li></ul>						
		【中詰、被覆などの基礎工 ・ 中詰めに使用する石 ・ 大小の石でかみ合わ ・ 基礎に敷設する帆布 ・ 捨て石基礎の均し面						
		② 評価対象 ③ 評価値(	%)=該当項目数( )	の評価項目数を母数として計		平価値)で評価する。		
		評 75%以」	ばらつきが小さい ばらつ 50%以下 800 6以上 a =90%未満 a'	で判断可能 ばらつきが大きい があて 80%超え a' b b b' b' b' b' c c c				
		1世 609	6未満 b'	b'         c         c           c         c         c           の判断が出来ない場合は評価         の         の	- 西対象項目(評価値)だけで記	平価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種	a	a'	h	h'	С	А	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	道路工事	☆ 品質関係の試験結 (関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断:	果のばらつきと、評価対象 事施工管理基準、その他 基準は別紙-4参照 試験基準及び規格値を	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。			
Ⅱ.品質		[評価対象項目] 【共通】 ・ できあがりの平坦性が ・ 排水勾配が適正にセッ ・ 乗り入れ箇所などの核 ・ 歩車道境界ブロックな ・ 付属構造物との接合さ ・ 路体盛土の施工前に、 ・ 路体盛土の締め固め ・ 路体盛土の密度管理		・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため検査職員が修補(手直し)指示を行った。			
		・ 材料をおろす位置、大 ・ 構造物周辺の締固め・ ・ 路床・路盤工の密度管・ ・ 材料の品質証明書が・ ・ 路盤材に不適な混合・ ・ 路床・路盤が均一に付・ ・ 軟弱地盤などの地盤に ・ 固化材は、数量はじめ・ ・ 固化材の添加量とCB・ ・ ㎡あたり又は1袋あた・ ・ 処理前の軟弱路床土・ ・ バケットクレーン、ライ・ ・ 散布及び混合に際し・ ・ 所定の深さまで混合技・ ・ グレーダー又はブルト・ ・ 六価クロム溶脱に対す ・ で、)。 ・ 評価対象を ・ と、 に、 は、	・ローリングを行っており、法で 活及び材料の敷均しが適ご 等が適切に行われている。 性理が適切に行われている。 整理されている。 物の混入防止が図られ、混っ 上げられていることが確認できる品質 Rの関係から目標とするCB の固化材の散布量が確認できる品質 は湿地ブルドーザーで所定は ムスプレッダ、人力等で固化 で、大変を性が確認できる。(で、一、大変をできる。(で、一、大変をできる。)(で、大力等で固化 になっていることが確認できる。(で、一、大変をできる。(で、大変をできる。)(で、大変をできる。(で、大変をできる。)(で、大変をできる。(で、大変をできる。)(で、大変をできる。(で、大変をできる。)(で、大変をできる。(で、大変をできる。)(で、大変をできる。(で、大変をできる。)(で、大変をできる。(で、大変をできる。)(で、大変をできな、大変をできな、大変をできない。)(で、大変をできない、ため、大変をできない。)(で、大変をできない、ため、大変をできない。)(で、大変をできない、ため、大変をできない、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、ため、	できる。 正に行われていることが確認 証明が整理されている。 Rに対応する添加量を求めてできる。 の高さに整正している。 材を所定量均一に散布している場合は、防塵型の安定材をフェノール液で確認) っている。 が実施されている。 の項目は削除する。 の評価項目数を母数として計る。	できる。  できる。  いる。  ・ハる。  ・カム。  ・カム。 ・カム。	の対策をとっている。	80%以下 80%超え   判断   80%以下 b b' b' c c c c c	上記該当あればe  上記該当あればe  つきで 不可能  b  つ  C  C

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<u> </u>	T 工作	クを記入する。	,	1	1.7	Ī	1	( 検査職員
考査項目	工種	a	a	b	b´	C	d d	e
3. 出来形	歩道工事				値)から判断する。<判断	-基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満
及び				也設計図書に定められた	試験)			及俗他、武鞅基準を個 足せず、品質が劣る。
出来ばえ		※ ばらつきの判断		W-E 1.4			きが大きい。	足せり、叩貝が为心。
т пее		☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格値を	満足する。			C 7 7 7 C 1 8	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
		【土工】	- N	1 1 18mban			口所の測点十分十	口所の測点十分ナ
			ド以下を乱さないように施工				<ul><li>品質の測定方法または測定値が不適</li></ul>	<ul><li>品質の測定方法または測定値が不適</li></ul>
		<ul><li>・ 締直めを週上な余件(</li></ul>	が施工していることが確認で	ぎる。			切であったため監	切であったため検
		【 口力 自压 《 企业 十一 】					督職員が文書で指	査職員が修補(手
		【路盤・舗装工】 ・ 表面排水が良好である					示を行い改善され た。	直し) 指示を行っ た。
			•	管理が適切に行われている。			/Co	/
			g名及、舗取価及寺の品質 リー対策として舗装の平坦性					
		<ul><li>・ 路盤工の密度管理が通り</li></ul>		こが作品ではしている。				
		<ul><li>・ 材料の品質証明書が</li></ul>						
			E埋されている。 りが適切に実施されている。				   上記該当あれば d	上記該当あればe
		特担物用及の制砂固	717-10 971C天旭C40 CV "J。				7,1010 1074 VIA U	工品版当初代数
		【付属構造物等】						
		<ul><li>コンクリート側溝が平坦</li></ul>						
			規格、品質、性能等が成績					
			がされ、水溜まりが生じてい					
			『などで、舗装面のたわみが	0				
		TAMINE NO. 18 EP	VOC CYMBACHI VICTORY	S. 0				
		<ol> <li>「評価対象</li> </ol>	項目」のうち、評価対象外の	項目は削除する。				
		② 評価対象タ	・項目の削除後は、削除後の	の評価項目数を母数として計	·算した比率(%)計算の値(訂	平価値)で評価する。		
		③ 評価値(	%)=該当項目数( )/	/評価対象項目数( )				
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	後の評価対象項目数が3項	[目以下の場合はc評価とする	5。			
			ばらつきで	で判断可能	]			
			ばらつきが小さい ばらつ	いている ばらつきが大きい 判断不可能				
			50%以下 80%	5以下 80%超え				
		90%	以上 a a	a' b b				
		評 75%以上:	90%未満 a'	b b' b'				
		値 60%以上	75%未満 b k	о' с с				
		60%	未満 b'	с с с				
		注 試験結果の	T点数等が少なくばらつきの	)判断が出来ない場合は評価	西対象項目(評価値)だけで評	平価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種	a	a'	h	b'		С		Ь	е
1	消雪工事	☆ 品質関係の試験結	事施工管理基準、その個	■		る。<判断			品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
H,71410.7.4			試験基準及び規格値を	満足する。					きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]								
		【削井工·取水施設工】								
		・ 材料の品質規格証明	<ul><li>品質の測定方法または測定値が不適</li></ul>	<ul><li>品質の測定方法または測定値が不適</li></ul>						
		B(R) III ( 7 2 3 1 1 1 1	ことおりにストレーナーの位置 入に壁面の崩壊がないこと						切であったため監	切であったため検
		<ul><li>・ 充填材に均一な砂利</li></ul>		0-4年以 (4の。					督職員が文書で指 示を行い改善され	査職員が修補(手 直し)指示を行っ
		<ul> <li>井戸が鉛直であること</li> </ul>							た。	直 し
		<ul><li>揚水試験を適切に行い</li></ul>	、施工に反映している。							
			長により記録が適正に管理さ	れている。						
		<ul><li>ポンプの据え付け位置</li></ul>		1						
			バ正常に稼動することが確認 ₹計図書どおりであることが確						│ │ 上記該当あれば d	上記該当あればe
		17.100 1—11— 17.11—17.12	工配版 3 8 7 6 7 G	工品級当めれば も						
		製造者による試験等が的確に行われ、設計図書に適合する証明書が整備されている。     施工の品質・形状が的確で良好な施工である。								
	・機器の適切性が確認でき、試験運転の記録が確認できる。 ・ 不可視部分が写真等の資料から適切に施工されたことが確認できる。 【散水工】									
		<ul><li>コンクリート二次製品の</li></ul>	り場合は、損傷のないもので	、品質、規格が証明書により	確認できる。					
			よる舗装切断は、慎重な施							
			ように入念に施工され、施工							
			方法が適正に行われたこと が平坦に仕上げられ、孔の							
			が平坦に仕上げられ、れの い、及び曲線部の施工が適							
			・、、及び血縁品の過去が過 )施工が適切に行われている							
		<ul><li>二次製品は、ブロックの</li></ul>	の接合でねじれがなく、滑ら	かで、かつ適切な隙間間隔で	で施工されている	ことが確認っ	できる。			
		・ 現場打ちのノズル位置	が適正に設置されているこ	とが確認できる。						
		<ul><li>二次製品の設置後の</li></ul>	埋め戻しは、締め固めに注意	意が払われ、適切に行われ、	沈下の状況がなぐ	く、隣接ブロ	ックと滑らかであ	る。		
								げた	つきで判断可能	<del></del>
		<ol> <li>(1) 「評価対象</li> </ol>	項目」のうち、評価対象外の	項目は削除する。		\			ばらついている ばらつきがきもい ばら	つきで 不可能
		O H1 IIm/ 3 - 3 -	>(H) 1 - > > (H) (m) (1-3())	の評価項目数を母数として計	・算した			50%以下	80%以下 80%超え	个月能
		比率(%)言	十算の値(評価値)で評価す	る。		===	90%以上	а		b
		0	%)=該当項目数( )/			I (ff) ——	%以上90%未満	a'		b'
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	後の評価対象項目数が3項	[目以下の場合はc評価とする	<b>్.</b>	値 609	%以上75%未満	b	<del> </del>	С
						注 試驗結里	60%未満 Pの打占数等が少かく	b' ばらつきの判じ	【 C 【 C 】 断が出来ない場合は評価対象項目	<ul><li>C (評価値)だけで評価する</li></ul>
						11. 呼吸水柏木	、いつコ ボ奴守が少なく	はり 7077円	91ハー四小メメ゙゙物口は町四月※貸口	(中国地/たけて計画する。

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

		ノゼロハッツ。	,	1	1 2	I	1	(
考査項目	工種	a	a a	<u>b</u>	<u>b</u>	C	d d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事	<ul><li>☆ 品質関係の試験結:</li><li>(関連基準、土木工</li><li>※ ばらつきの判断</li><li>☆ 品質が、試験項目、</li></ul>	事施工管理基準、その低 基準は別紙-4参照	基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。		
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	**					
		【共通】						
		インバートは形状、勾画     防食被覆が入念に実施     マンホールにおいて各     マンホールの足掛金     材料の品質規格証明     出来形管理基準を満足     管渠において漏水個所	をされ、かつ表面が滑らかて 部材にクラック等がなく、漏 の位置、方向、出が適正で		・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。	・ 品質の測定方法または測定値が不適 切であったため検 査職員が修補(手 直し)指示を行った。		
		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	の資料から適正に施工されて ・品質がミルシートで確認で ルシートで確認できる。				上記該当あれば d	上記該当あればe
		【開削工】 ・ 管渠継ぎ手部ボルトの締め付け確認が実施され、適正に記録が管理されている。 ・ 置き換えのための掘削を行うにあたり掘削面以下を乱さないように施工している。 ・ 埋め戻しにおいて締固めが適正な方法で施工されており、工事終了後に沈下がない。 ・ 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・ 管渠の接合状況が良好であることが確認できる。 ・ 管の周辺に空隙、ゆるみがない。						
	<ul> <li>【推進工】</li> <li>・ 防食被覆が入念に施工されていることが確認できる。</li> <li>・ 管底に水がたまった形跡がない。</li> <li>・ 薬液注入工において削孔・注入の状況及び効果が管理資料から確認できる。</li> <li>・ 排水処理工において送排泥管の流量測定記録、逸水の管理が適正に実施されていることが確認できる。</li> <li>・ 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</li> <li>・ 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。</li> <li>・ 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</li> </ul>							
		・ 二次コンクリート打込前	員の技量確認を行っている	- 分な水洗清掃を行っているこ	とが確認できる。			

## 別紙-3 ②

### 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

+7 - <del>1</del>	T-15		,	1	1 2	T		(横雀職員)
考査項目	工種	a	a	b	b´	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事	(関連基準、土木コ ※ ばらつきの判断		也設計図書に定められた	値)から判断する。 < 判断 試験)	基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		シールド推進作業等	ボデータで確認できる。 一タで確認できる。 一タで確認できる。 理状況がデータで確認できる。 理状況がデータで確認できる。 理状況がデータで確認できる。 は項目」のうち、評価対象外の 外項目の削除後は、削除後の %)=該当項目数( )/ 後の評価対象項目数が3項 はらつきがかいはらつき 50%以下 80% 50% 50% 50% 50% 50% 50% 50% 50% 50% 5	で判断可能 いている ばらつきが大きい は	算した比率(%)計算の値(計5。			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(快宜帳貝) e
3. 出来形 及び 出来ばえ	砂防構造工事 本体:ダブル ウォール 前提・側壁:コン	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断 ☆ 品質が、試験項目、		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。			
Ⅱ.品質		・ 材料の品質規定証明:  「砂防構造物工事に適用」 ・ 設計図書に基づくコン塩化物総量等)が確認 ・ コンクリート打込み時の ・ 施工条件及び気象条(寒中及び暑中コンクリート打込み時で、カリート打込み時で、カリートがした。カリートがした。カリートがした。カリートがでです。カンクリートがでです。カンクリートがでである。 ・ コンクリートができない。 「ダブルウォール工」 ・ 矢板、タイロッド等の品・	上げられ、所定の強度が確信書が整備されている。  *クリートの配合試験または診認できる。(JISA-5308以外の)と要な供試体が採取し、強いと要な供試体が採取し、強いとの必要な供試体が採取し、強いとの痕跡がない。 これがない。でする。のでする。では、は、単位水量は、動力に基礎面が仕上げられば、単位水量は、動力にをできる。 は、よじれ、倒れがなく、かったり、地域に対し、地域に対域に対し、地域に対し、地域に対し、地域に対し、地域に対域に対し、地域に対域に対し、地域に対域に対し、地域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域	っていることが確認できる。 めたりアルカリ骨材反応抑制対場合は評価対象から除外す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	別なコンクリートの規格(強度・認できる。(JIS A-5308以外・一による締固、養生方法等、)・一ト強度等で適正に管理され 対策の適合を確認している。 る)。(平成26年8月19日付技第	の生コンを使用する場合) 適切に行っている。 ている。	<ul> <li>品質測定方法法適性</li> <li>過度の測定方法をであるがあるがであるがであるができまされる。</li> <li>上記該当あれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	<ul> <li>品質の測定方法ままたは測定を表すでは、 の測定を持ため、 を変し、 を変し、 を変し、 た。</li> <li>上記該当あれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

		クを配入する。						(検査職員)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	砂防構造工事 本体:ダブル ウォール 前提・側壁:コン	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断	事施工管理基準、その他	也設計図書に定められた	値)から判断する。 < 判断 試験)	·基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質	クリート構造物	① 「評価対象 ② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削防	2項目」のうち、評価対象外の 外項目の削除後は、削除後 %)=該当項目数( )/ 後の評価対象項目数が3項 ばらつきがかさい ばらつ 50%以下 80% 50%以下 80% は50%以下 80% 50%以下 80% 60%以下 80% 60% 60% 60% 60% 60% 60% 60% 6	項目は削除する。         の評価項目数を母数として計 /評価対象項目数( )         (目以下の場合はc評価とする)         で判断可能 いている ばらつきが大きい 6以下 80%超え         a' b b b' b' b' b' c c c         b c' c c         c c c	第した比率(%)計算の値(計 5。  面対象項目(評価値)だけで計			

# 別紙-3 ②

### 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

北木市口	<b>一丁1</b> 手	1	,	1	1 ,		1	(快宜噸貝/
考査項目	工種	a a see a see a	a a	D	b'	C	d R の対象体用が	日所用なの計略は用ぶ
3. 出来形 及び 出来ばえ	その他工事	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断。 ☆ 品質が、試験項目、	事施工管理基準、その化	象項目の履行状況(評価付 也設計図書に定められた。 満足する。		基準 <u>参照</u> >	規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
		<ul><li>・ 考査項目記述(</li><li>・ 考査項目記述(</li><li>・ 考査項目記述(</li><li>・ 考査項目記述(</li><li>・ 考査項目記述(</li></ul>				) ) ) )	・ 品質の測定方法ま たは測定値が不適 切であったため監 督職員が文書で指 示を行い改善され た。	・ 品質の測定方法または測定値が不適切であったため検査職員が修補(手直し)指示を行った。
		② 評価対象外	の考査項目で考査し、最大 ・項目の削除後は、削除後の %)=該当項目数( )/	の評価項目数を母数として計	算した比率(%)計算の値(割	平価値)で評価する。	上記該当あれば d	上記該当あればe
		90%   75%以上   60%以上   60%以上   18   18   18   18   19   10   19   19   19   19   19   19	はらつきが小さい はらつとが小さい はらつとが小さい はらつとがいます。   50%以下 80%以下 80%未満 a' 75%未満 b k k 表満 b'	b b' b'	「対象項目(評価値)だけでご	<b>花価</b> する		
		LL IN MONTH OF THE	7.11.22.47.7.2.41.43.5.2.4.3	131910 EDVC-24 MICHAEL IN		пы / 20		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

及び [管渠補修工事] 出来ばえ ☆	品質関係の試験結り (関連基準、土木工	14 . 15.5 C C H   Ilmi > 1 > 3 +	項目の履行状況(評価値	)から判断する。<判断基	<b>*</b> 準参照>	品質関係の試験結果が	品質関係の試験結果が
- 866	※ばらつきの判断基 品質が、試験項目、		規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満			
[SPR	事前に管渠内を調査し 表面部材(SPRプロファ 充填材(SPRモルタル) 材料の物質、物性、配・ 二次製品の受け取りを 表面部材、金属部材の	マイル)金属部材(スチール)の材質、物性、配合等につ 合等について、材料承認願 現場代理人などの責任ある。 保管場所が屋内である。 そ	フタレイン溶液にて、中性化: 補給材)の構造、寸法、物性; シいて材料検査成績表により いを提出し、承認をうけてい。 3者が、製品を確認し受け取り のなるは紫外の場合は紫外	が材料検査成績書により確認 確認できる。 る。 、損傷のないもので施工され	にいる。	<ul> <li>品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。</li> </ul>	または測定値が不適 切であったため、検
	プロファイルドラムの搬が払われている。 製管距離が長くなる場接続していることが確認 モルタルは水和性を有がとられている。 モルタル注入時に比重 初回時の混練りにおい 裏込め上では、空にができる。 再生管と既設マンホールのではは両側マンホールの住上げ マンホールのの仕上げ部 中心線の通りが良い。 表面部材(3Sセグメント 3S充填材(モルタル)の	合、現場においてプロファイスできる。 するため、保管及び搬送、 測定(1.20以上)を行って て引き抜きフローを実施した た供試体により、圧縮強度 袋で使用数量が確認できる いとの取り合い箇所仕上げ よる縦断勾配の不陸等のり の場合、管内の打音検査などで においては、侵入水、仕上 が材)の構造、寸法、物性が の物質、物性、配合等につい	把握し、適切な荷積、荷降ろ イル同士を熱圧着(小口径)、 搬入時には梱包された状態を いる。 でいる。 試験を実施し注入日ごとに強	または塩ビ溶接(大口径:人間 と維持し、水漏れや結露がな は度を確認している。 はげ材の剥離及びひび割れ等 確認できる。 確認している。また、再生管を ている。 の異常がないことが確認できる。 ごさる。 認できる。	間が入る場合)して さいように適切な処置 等の異常のないことが 径800mm未満の場合	上記該当あればd	上記該当あればe

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(快宜椒貝)
3. 出来形 下 及び [行 出来ばえ	本屋 水道工事 管渠補修工事]	☆ 品質関係の試験結 (関連基準、土木コ ※ばらつきの判断。	:果のばらつきと評価対象 :事施工管理基準、その他 基準は別紙ー4参照 、試験基準及び規格値を		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満		
Ⅱ.品質		・ 3Sセグメントを組み立 ・ 現場に搬入された3S ・ 充填材は水和性を有とられている。 ・ 更正工の直前に写案・ 洗浄後にTVカメラま・ 充填材の配合はバッ・ 充填材の配子のは不りに工はいる。 ・ 再生管の変形、変しれでいる。 ・ 再生管の変形、変にでは、 下水共用下の施工はいる。 ・ 再生管の変も関連をは、 でないのでは、 では、 でないのでは、 でないのでは、 では、 でないのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	でる際に、接合部には水密作セグメントは、傷、亀裂、割れするため、保管及び搬送、搬内の洗浄を十分に行い、土石をは目視にて、管渠内が十分チ毎に1回、充填材25kg当たいで注入日毎に引き抜きフロ水深25cm以下とし、充填材のでは入口の間のでは、大変な施工を行っている。によいでは、大変な施工を行っている。によいにより連続計測し、実注の大な側圧等が作用しないより、大な側圧等が作用しないより、大変を防止するために、充填材が口になりまるために、充填入口の間のででは、大な側に等が作用しないより、最新するために、充填材がでに入りで使用数量の不陸等の外により、というででででは、大きに、がしたのででででででは、大きに、いるのでででででででででは、大きに、いるのでででででででででです。このでは、大きに、いるのでは、大きには適切な内では、大きには適切な内ででは、大きには適切ないように適切ないように適切ないというに、大きに、いるというでは、大きに、は、いるといるに、は、は、いるに、は、いるに、は、いるに、は、いるに、は、は、いるに、は、は、いるに、は、は、は、いるには、は、は、いるには、は、は、は、いるには、は、は、いるには、は、は、いるに、は、いるに、は、は、は、いるに、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	生を確保するためのシール材がなく、表面が平滑であること 入時には梱包された状態を終め、小石、管壁破損等を完全 た洗浄されているかどうかの り、5.30を注水している。 一値測定を実施している。 一値測定を実施している。 の注入に支障となるような多量器し、縦断方向及び延長方向器し、縦断方向及び延長方向 は、過切な処理(練混水のような)に、管径に応じて分割注入のエアー抜き管から流出のエアー抜き管から流出のエアー抜き管から流出のエアー抜き管がら流出が、上とが移り付けている。 、圧縮強度試験を実施し注入 5。 、	とが確認できる。 維持し、水漏れや結露がない に除去している。 確認を行っている。 遣の侵入水がある場合は、仮 している。 同へ隔たりが生じないよう、バー で大きな差異のないことが確言 している。 とでではる。 とを確認している。 ることを確認している。 はことを確認している。 に応じて補修している。 できる。 には取り、損傷のないもので施いように細心の注意が払われ にはいる。 には取り、損傷のないもので施いように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいように細心の注意が払われ にいる。	i止水工を実施して ルブ切り替えや注入 認できる。 。 。 。 。 。 になれている。 れている。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'		b	b'	С	d	е
3. 出来形	下水道工事	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと評価	対象項目の履	行状況(評価値	<ul><li>①から判断する。&lt;判断基</li></ul>	基準参照>	品質関係の試験結果が	
及び	[管渠補修工事]	(関連基準、土木工	事施工管理基準、そ	その他設計図書	書に定められた	試験)		規格値、試験基準を超	
出来ばえ		※ばらつきの判断基	選準は別紙-4参照					えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格	値を満足する。				きが大きい。	
Ⅱ.品質									
		・ 注入時に管内及び管	口に充填材が漏れ出し	ていないことを確	<b>運認している。</b>				
		・ 最終段階の注入が完	了した後、注入口部の	充填を行うため、	立ち上げ管を設け	けて補足注入を行っている。			
		<ul><li>管内注入口は、パテと</li></ul>	****			5.			
		・ 両端部の充填材露出							
		・ 裏込め注入時に採取し			実施している。				
		・ 充填材使用量は、空貌				1	de - III ali - 1		
			ルとの取り合い箇所仕	上け部において	は、侵入水、仕」	上げ材の剥離及びひび割れ等	<b>鼻の異常のないことが確</b>		
		認できる。 ・ 再生管の変形、浮上に	・トフダダビーのエスマでは	たのをひかの田舎	数言によりよい マミ しょり	Thr is スープ・ス・ス・フ			
		<ul><li>・ 再生管の変形、浮上に</li><li>・ 再生管内の打音検査</li></ul>				性能できる。			
		* 丹生官的の打百俠宜	よこで表込の材の元県	小仇を唯祕しく	('る。				
		<ol> <li>(1) 「評価対象</li> </ol>	項目  のうち、評価対象	外の項目は削り	全する。				
					-	・算した比率(%)計算の値(詞	平価値)で評価する。		
		③ 評価値(	%)=該当項目数(	)/評価対象	頁目数( )				
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	後の評価対象項目数7	53項目以下の場	易合はc評価とする	5.			
			ばら	つきで判断可能	183 - 1				
		\	_	ばらついている ばらつき	刊町个미能				
				80%以下 80%	が超え				
		90%			b b				
		価 /5%以工		-	o' b'				
		值 60%以上		b'	с с				
		60%			СС		·		
		注試験結果の	<b></b> 「点数等が少なくばら	つきの判断が出	来ない場合は評価	西対象項目(評価値)だけで記	平価する。		
								1	
								1	
								1	
								1	
								1	
L	<u> </u>								

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'		b	b'	С	d	е
3. 出来形	下水道工事	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと評価	対象項目の履	行状況(評価値	<ul><li>直)から判断する。&lt;判断基</li></ul>	<b>基準参照</b> >	品質関係の試験結果が	
及び	[反応タンク覆蓋	(関連基準、土木コ	[事施工管理基準、	その他設計図	書に定められた	試験)		規格値、試験基準を超	
出来ばえ	設置工事]	※ばらつきの判断	基準は別紙-4参照					えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目	、試験基準及び規格	i値を満足する	0			さか大さい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]							
Ⅱ.品質	以巨工子」	☆ 品質が、試験項目 [評価対象項目] ・ 使用材料(ボルト、塗・FRP材料の物性試験ことが確認できる。・ 積雪深1.00m想定の・ 覆蓋の強度試験にお・ 現場での保管が面が、 は、 防食塗装する面が、 は、 防食塗装の使用量をできる。 防食塗装の使用量を変数の保管を変数の保管を変数の保管を表して、 取付助用車輪は工長の引きが、 下ンカー金具の引きが、 ボルトの締付機、 関・ アンカー金具の引きが、 ボルトの締付機、 測定 「評価価対象」。 評価値(	武験基準及び規格 科等)の品質がミルシー (一曲げ強度、曲げ弾性 2.94KN/m2(300kg/ いて、設計荷重を載荷 这等に影響を受けない 燥状態であることが確認 及び湿度等の条件が整 さで施工されていること が温度等の条件が整 さで施した、むら、はがよ がはでかることがでいること がはますがでいることががない。 変形及び塗装のはがれのが がででいるではない。 変形を実施し、あり、に なき試験を実施し、適切 が確認され、確実に固定 ならにしたがない。 をき試験を実施し、がない を対され、適切に記録がない。 で施され、適切に記録がない。 で施され、適切に記録がない。 で施され、ででいるがない。 は機器のキャリブレーショ で機器の評価対象項目数 (後の評価対象項目数	値を満足する ・性能影響等、 ・、性能影響等、 ・、外では、対したのでは、 ・、のは、できれたのでは、 を中正に、 ・ないたのでは、 を中正に、 ・は、できれた。 ・は、かれいに、 はいれいない。 はいすることでは、 がれたない。 はいずれたがない。 はいずれたで理せ確がる。 できないましてでは、 を与ことがされた。 できないまないまでは、 はいまでは、 はいまでは、 できない。 はいまでは、 にいまでは、 できない。 はいまでは、 にいまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で確認できる。 圧縮強さ、樹脂含 いることが確認で たわみ量が規定し されている。 おり、適正な気象 とが確認できる。 いことが確認できる。 いことが確認できる。 いことが適切に管理 きる。 る。 る。 る。 る。 は、ことが確認できる。 は、ことが適切に管理 きる。 は、ことが適切に管理 は、ことが適切に管理 は、ことが は、	以内に入っており、破壊もしく 条件下で防食塗装をしている る。 里されている。	は著しい変形がない。	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検
			ばらつきが小さい 50%以下	ばらついている ばらつ	ばらつきで 判断不可能 <b>%超え</b>				
		評 75%以上	i以上 a :90%未満 a'		b b'	1			
			:75%未満 b 6未満 b'	b' c	c c	1			
!				_		』 西対象項目(評価値)だけで記	評価する。		
1									

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	Ъ	b'	С	d	(快且報兵) e
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [マンホール 再生工事] (MLR工法)	(関連基準、土木) ※ばらつきの判断。		也設計図書に定められた	1)から判断する。<判断基 試験)	<b>達参照</b> >	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		<ul> <li>事前にマンホール内・必要に応じて不陸調・ MLRモールドG(下」・ MLR注入樹脂乾燥i・ MLRグラウト材のコン・ MLRグラウト材の圧終</li> </ul>	を調査し、人孔内に破損、グ整、中和剤塗布等の下地処理 を、中和剤塗布等の下地処理 他側)にMLR注入樹脂を塗れ 前に珪砂を均等に散布してレ ジステンシー試験として、漏 宿強度試験を実施し、強度管	理を行っていることが確認で 行していることが確認できる。 いることが確認できる。 いることが確認できる。 い硫化時間の測定を実施し で理を行っている。	クリートの老朽化等がある場合 きる。	は高圧洗浄を行い、	品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検
		<ul> <li>MLRグラウト材 (MLI)</li> <li>MLRモールドの打音</li> <li>硫酸の侵入を遮断す</li> <li>被覆にしわ、むら、は</li> <li>「評価対象</li> <li>3 評価値(</li> <li>4 なお、削修</li> <li>評価値</li> <li>60%以上</li> <li>60%以上</li> <li>60%以上</li> </ul>	検査などでグラウト注入材がるため、継目部、端部処理はがれ、われがなく、曲がり、凸 や項目のうち、評価対象外の 外項目の削除後は、削除後の %)=該当項目数( )/ 余後の評価対象項目数が3項 ばらつきがいさいばらつ 50%以下 80% 6以上 a : -90%未満 a' : -75%未満 b :	量は、空袋、空缶で使用数5 確実に充填されていることが は、特に注意して施工している。 は、特に注意して施工している。 は、特に注意して施工している。 は、特に注意して施工している。 は、特に注意して施工している。 は、特に注意して施工している。 の評価項目数を母数として計 / 評価対象項目数( ) 項目以下の場合はc評価とする。  で判断可能 のいている はらつきが失きいる。 はいるのが超える。 はいるのが超える。 はいるのが超える。 はいるのが超える。 はいるのがある。 はいるのではいるのでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるのでは、はいるではいる。  はいるのでは、はいるいるでは、はいるで	が確認できる。 ることが目視で確認できる。 できる。		上記該当あればd	上記該当あればe

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種	a	a,'	l h	h'	С	Ь	(検査職員) e
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [マンホール・管口 の耐震化工法]	☆ 品質関係の試験結 (関連基準、土木工 ※ばらつきの判断ま ☆ 品質が、試験項目、	果のばらつきと評価対象 事施工管理基準、その他	項目の履行状況(評価値 地設計図書に定められた記 満足する。		_	品質関係の試験結果が	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		<ul> <li>[評価対象項目]</li> <li>【共通】         <ul> <li>現場での材料の保管</li> </ul> </li> <li>【管口耐震化(マグマロックコープの基本物できる。</li> <li>ステンレススリーブの基が確認できる。</li> </ul>	品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検				
		・誘導目地の切削深さ、 ・誘導目地が管の厚さの ・誘導目地へのシール材 ・シール材の使用確実に ・ シール材の使用確実に ・ ステンレススリーブが確実に ・ ステンレススリープがでしている。 ・ マグマロック設置工に 【マンホール浮上抑制(セフ・使用材料(集水管の方向、数量が ・ 集水管の位置、数量が ・ 集水管の位置、数量が 【マンホール浮上抑制のでいる ・ 生が所定の位 ・ 歯定バンドが所定の位 ・ 固定バンドの締付器、 ・ マンホール本体と浮上している。 ・ マンホールの外周部と	内品書及び空缶等により確認 設置されていることが写真等 JS316)に固定金具を挿入し おける油圧ジャッキの圧力基 ティパイプ工法】 水エントランスゴム、集水管: 認認され、確実の固定されて 設計図書どおりに施工され が設計図書どおりに施工され トリング工法)】 パロック、固定バンド、バックラ 制ブロックの沈下防止を防く に置に取付けられていることが のが実施され、所定のトルク値 測定機器のキャリブレーショ 防止ブロックの間の隙間を が助けていりとの間に隙間が	ることが確認できる。 こことが確認できる。(水中も) 忍できる。 にで確認できる。 こた後、固定用ジャッキで圧力 基準が、管理基準内に入って ゴム、逆止弁等)の品質がミル いる。 こていることが確認できる。 でいることが確認できる。 でがあけけられており、適ち いを実施している。 維持するために、パイプ等を があり、地震時に別々の挙動 バックアップ材が隙間なく充ち	いる。 ・シート、性能試験等で確認できる。 ・ト、性能試験等で確認できる。 が確認できる。 のに記録が管理されている。 マンホールの外側に立て、浮 を示すようになっていることが	できる。  と上抑制プロックを設置  確認できる。	上記該当あればd	上記該当あればe

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a,	b	b'	С	d	()发 <u>具</u> (联页)
3. 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事 [マンホール・管口 の耐震化工法]	☆ 品質関係の試験結果の	施工管理基準、その作 は別紙-4参照	他設計図書に定められた			品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		<ul><li>・ 補助ブロックと連結する鋼</li><li>・ アスファルト舗装の舗設温</li></ul>			理されている。		品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	<ul> <li>品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、検 査職員が文書で修補 (手直し)指示を行っ た。</li> </ul>
		② 評価対象外項 ③ 評価値( %	(a) = 該当項目数( ) /	, . , ,	十算した比率(%)計算の値(ぎ る。	P価値)で評価する。	上記該当あればd	上記該当あればe
		90%以上 75%以上909 60%以上759	ばらつきが小さい ばらつ 50%以下 80% こ a : 6未満 a'	で判断可能 ばらつきが大きい もの はらつきで 判断不可能 80%超え a' b b' b' b' c c c				
		60%未清	<b>b</b> '	с с с	<b>一</b> 価対象項目(評価値)だけで評	必価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a a' b b' c	d	е
3. 出来形	水管橋工事	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>	品質関係の試験結果が	
及び	(伸縮可とう管	(関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験)	規格値、試験基準を超	規格値、試験基準を満
出来ばえ	工事)	※ばらつきの判断基準は別紙-4参照	えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。	きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]		
		【工場製作関係】	<ul><li>品質関係の測定方法</li></ul>	
		・ 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。	または測定値が不適 切であったため、監	または測定値が不適 切であったため、検
		・ 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。	督員が文書で改善指	
		・ 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。	示を行い改善され	(手直し)指示を行っ
		・ 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。	た。	た。
		・ 塗料の品質が出荷証明書、塗料証明書で確認できる。		
		・ 塗装前の処理が適切に実施されていることが確認できる。		
		・ 仕様書に定められた制限内の気温、湿度の条件下で塗装を行っていることが確認できる。		
		・ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。	上記該当あればd	上記該当あればe
		・ 伸縮可とう管の構造、寸法、水圧試験等が実施され、試験成績表等で確認できる。		
		・ 放射性透過試験により溶接箇所の試験結果報告書が作成され、適正に実施されたことが確認できる。		
		<b>1</b> ∮n⇒η, βη / σ <b>1</b>		
		【架設関係】		
		ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。     ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。		
		・ ボルトの品質がミルシート等で確認できる。		
		・ 鋼材の保管にあたり変形及び塗装面に損傷を与えないように適切に管理されている。		
		・ 現場架設後、水漏れしていないことが確認できる。		
		・ 現場塗装で塗り残し、むら等がない。		
		<ul> <li>フランジの据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面が平坦にできている。</li> </ul>		
		A A A A MAILLANGE A PART OF A A A A A A A A A A A A A A A A A A		
		① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。		
		② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。		
		③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )		
		④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。		
		はこっキャルルにコや		
		ばらつきで判断可能 ばらっきが小さい ばらっきが大きい ばらっきで かけま マコケ		
		180 / 28 / 180		
		90%以上 a a' b b		
		評 7596以上9096李溁 3' 5 5' 5'		
		(一)		
		file		
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		
		□□ # ♥♥/ハテナ/ト**/11 /m/9// 1/4 / 1.5 / 1.5 / 2.5 / 1.1 ip i/4 i/4 / 2/2 / 2/1 / 2/1 im iii/1/□ / 1/1 im ii/1/□ / 1/□ / 1/1 im ii/1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1/□ / 1		
L	ı		L	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

工種 (下水道) コンクリート構造	a ☆ 品質関係の試験結	a 果のばらつきと評価対象	┃	b´	C	d	е
* * * * * — /		木いルより・ノさと計判別外 豕		1 キャンピーホ川 はたった ス	[海安服 /	出層関係の試験対更が	品質関係の試験結果が
	(明) 古甘淮 上十十		項目の履行私祝(評価値 b設計図書に定められた詞		5年参照 /	規格値、試験基準を超	
			B放計凶者に足のり40/Ci	八岁 (			
P		- 1	<b>洪口上</b> フ				~ C / \ mg \ / / / / / / / / / / / / / / / / / /
		武駛基準及い規格値を	<b>両足りる。</b>				
物工事のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	※ばらつきの判断表 ☆ 品質が、試験項目、 「評価対象項目」 【コンクリート構造物】 ・ 設計図書に基づくコン塩化物総量等)が確認 ・ コンクリート打込み時の (JIS A-5308以外の・ 施工条件及び気象条 (寒中及び暑中コンクリート打込み時心・ コンクリート打込み時心・ コンクリート打込み時心・ コンクリート及びセメン(高炉B種・C種のセメ・コンクリート及びセメン(高炉B種・C種のセメ・コンクリート打込み前心・ 重要構造物について、(平成31年2月15日付・ 有害なクラックがない。・ テストハンマーによる動	基準は別紙-4参照 試験基準及び規格値を クリートの配合試験または試 できる。(JISA-5308以外のの の必要な供試体を採取し、強 生コンを使用する場合) 中に適した運搬時間、打込る リート等を含む) ぶ適正で、コンクリート打込み や補修の痕跡がない。 に雨水やわき水が適切に処理 に打継ぎ目処理を適切に行った。 型枠の破片等がコンクリート 止水板等の設置が適切であ トコンクリート製品の使用にな ントを使用したコンクリートの こ、単位水量試験または水セ 非破壊試験による配筋状態 技第1035号) 血度推定調査を実施し、調査	満足する。  歌練りが行われており、適切生コンを使用する場合) は度、スランプ、空気量等が確 み時の投入高さ、バイブレー・ 後、取り外し時期がコンクリー 埋されている。 あのであることが確認できる。 表面になく、丁寧な仕上がりる。 あたりアルカリ骨材反応抑制な場合は評価対象から除外す。 メント比試験を実施している。 ほ及びかぶり測定、ひび割れば	なコンクリートの規格(強度、認できる。 ターによる締固、養生方法等 ト・強度等で適正に管理され が確認できる。 対策の適合を確認している。 3) (平成26年8月19日付技第 調査を行っている。	、適切に行っている。 ている。	えるものがあり、ばらつ きが大きい。	
	・ コンクリート打込みまで ・ 鉄筋の組立、加工が通 ・ スペーサーを適切に重 ・ 鉄筋圧接作業にあたり ・ 鉄筋の規格、引張強度 ・ 主鉄筋の引張試験をご	がであることが確認できる。 記置し、鉄筋のかぶりを確保 、作業員の技量確認を行っ を、曲げ強度の試験値をミル 規格10ロッド毎に実施してい	している。 ている。 シート等で確認できる。 いる。	o			
		等) 「評価対象項目] 「コンクリート構造物」 ・ 設計図書に基づくコン塩化物総量等)が確認・コンクリート打込み時の(JIS A-5308以外の・施工条件及び気象条(寒中及び暑中コンクリー・打込み時に・コンクリートの打ち直し・コンクリート打込み時に・コンクリート打込み前に・型枠の目違いがなく、・目地に挟む目地材や・コンクリート及びセメン(高炉B種・C種のセメン(高炉B種・C種のセメン(高炉B種・C種のセメン・コンクリート打込み前に・重要構造物について、(平成31年2月15日付き・有害なクラックがない。・テストハンマーによる弱・水張試験を実施し、水 【鉄筋】 ・ コンクリート打込みまで・鉄筋の組立、加工が通・スペーサーを適切に配き、鉄筋の組充、引張試験を1、乗強度・主鉄筋の引張試験を1	等) 「評価対象項目] 【コンクリート構造物】 ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試塩化物総量等)が確認できる。(JISA-5308以外のクロンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合)・施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)・型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み・コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。・コンクリート打込み時に雨水やわき水が適切に処理・コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場ので、コンクリート打込み前に打継ぎ目処理を適切に行・型枠の目違いがなく、型枠の破片等がコンクリート・目地に挟む目地材や止水板等の設置が適切であり、コンクリート及びセメントコンクリート製品の使用にな(高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートのコンクリートが込み前に、単位水量試験または水セ・重要構造物について、非破壊試験による配筋状態(平成31年2月15日付技第1035号)・有害なクラクがない。・テストハンマーによる強度推定調査を実施し、調査・水張試験を実施し、水面低下が5mm以下であるる、スペーサーを適切に配置し、鉄筋の保管管理が適正で、鉄筋の組立、加工が適切であることが確認できる。スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保し、鉄筋圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っ、鉄筋の規格、引張強度、曲げ強度の試験値をミル・主鉄筋の規格、引張強度、曲げ強度の試験値をミル・主鉄筋の規格、引張強度、曲げ強度の試験値をミル・主鉄筋の規格、引張強度、曲げ強度の試験値をミル・主鉄筋の規格、引張強度、曲げ強度の試験値をミル・主鉄筋の引張試験を1規格10ロッド毎に実施してして	(事) [評価対象項目] [コンクリート構造物] ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切塩化物総量等が確認できる。(JISA-5308以外の生コンを使用する場合) ・ コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) ・ 施工条件及び気象条件に適した連撥時間、打込み時の投入高さ、バイブレー(寒中及び暑中コンクリート等を含む) ・ 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリー・の打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・ コンクリート可込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 ・ コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・ 型枠の目違いがなく、型枠の破片等がコンクリート表面になく、丁寧な仕上がり、 ・ 目地に挟む目地材や止水板等の設置が適切である。 ・ コンクリート打込み前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 ・ コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。 ・ 重要構造物について、非破壊試験による配筋状態及びかぶり測定、ひび割れば(平成31年2月15日付技第1035号) ・ 有害なクラックがない。 ・ テストハンマーによる強度推定調査を実施し、調査票を作成している。 ・ 水張試験を実施し、水面低下が5mm以下であることが確認できる。 ・ 水張試験を実施し、水面低下が5mm以下であることが確認できる。 ・ 鉄筋の組立、加工が適切であることが確認できる。 ・ 鉄筋の規格、引張強度、曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 ・ 美筋の規格、引張強度、曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 ・ 主鉄筋の引張試験を1規格10ロッド毎に実施している。	(評価対象項目) 【コンクリート構造物】 ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、塩化物終量等)が確認できる。(JISA-5308以外の生コンを使用する場合) ・ コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。(JISA-5308以外の生コンを使用する場合) ・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、バイブレーターによる締固、養生方法等(寒中及び者中コンクリート等を含む) ・ 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理され・コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリート打込み時に耐水やわき水が適切に処理されている。 ・ コンクリート打込み時に打練ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 ・ コンクリート打込み前に打練ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 ・ 型枠の目違いがなく、型枠の破片等がコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 ・ コンクリート及びセメントを使用したコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。(高炉B値・C値のセメントを使用したコンクリート場合は評価対象から除外する) ・ コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第・重要構造物について、非破壊試験による配筋状態及びかぶり測定、ひび割れ調査を行っている。(平成31年2月15日付技第1035号) ・ 有害なクラックがない。 ・ テストハンマーによる強度推定調査を実施し、調査票を作成している。 ・ 水振試験を実施し、水面低下が5mm以下であることを監督員立会いの下、確認している。  【鉄筋】 ・ コンクリート打込みまでの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 ・ 鉄筋の組な、加工が適切であることが確認できる。 ・ 鉄筋の組な、加工が適切であることが確認できる。 ・ 鉄筋の組な、加工が適切であることが確認と行っている。 ・ 鉄筋に接伸薬にあたり、作業員の対量確認を行っている。 ・ 鉄筋の規格、引張強度、曲げ強度の試験値を2ルシート等で確認できる。	評価対象項目	(第6年) (13) (13) (14) (14) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目  工種	a a' b b' c	d	(快重報員) e
3. 出来形       (下水道)         及び       コンクリート         出来ばえ       物工事         (重力濃縮	※ばらつきの判断基準は別紙-4参照	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質 等)	【コンクリート防食塗装】 - 相対湿度が85%以上のときは塗装を実施していないことが確認できる。(塗装前に湿度を測定している。) - 塗装するコンクリート面の含水率は、高周波水分計で8%以下であることを確認している。 - 塗装前のコンクリート表面のレイタンス処理が適切に実施されていることが確認できる。 - しわ、ちぢみ、ふくれ、だれ等がないことが確認できる。 - 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 - 塗料の品質が、出荷証明書、塗料証明書で確認できる。	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検
	① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) 4 なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はご評価とする。    ばらつきで判断可能   ばらつきで判断可能   ばらつきで判断不可能   ばらつきがかきい   ばらつきで判断不可能   ばらつきがかきい   ばらつきで判断不可能   がの後以下 8096以下 8	上記該当あればd	上記該当あればe

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a a' b b' c	d	е
3. 出来形	コンクリート構造	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>	品質関係の試験結果が	
及び	物補修工事	(関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験)	規格値、試験基準を超	
出来ばえ	(断面修復工事)	※ばらつきの判断基準は別紙ー4参照	えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。	きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]		
		【共通】	<ul><li>品質関係の測定方法 または測定値が不適</li></ul>	<ul><li>品質関係の測定方法 または測定値が不適</li></ul>
		・ 使用材料は数量をはじめ、安全性が確認できる品質証明書が整理されている。	または側を値が不適 切であったため、監	または側を恒か不適 切であったため、検
		・ 設計図書に示された数量が、使用前後(重袋、空袋)により写真で確認できる。	督員が文書で改善指	査職員が文書で修補
			示を行い改善され	(手直し)指示を行っ
		【断面修復工】	た。	た。
		・ はつり面が平坦に仕上げられ、清掃されていることが確認できる。		
		・ 鉄筋を露出させ防錆処理を適切に行っていることが確認できる。		
		鉄筋を確実に設置していることが確認できる。     断面修復材の強度試験等(圧縮強度試験、フロー値、粘着力試験)を実施していることが確認できる。	上記該当あればd	上記該当あればe
		・ 断面修復材が強度試験等(圧縮強度試験、プロー値、桁看が試験)を表慮していることが確認できる。     ・ 断面修復工に先立ち、はつり面を刷毛で湿潤状態としていることが確認できる。	工記以 当 80 4 U 4 · · · · · · · · · · · · · · · · ·	工品效 当 <i>8</i> 34 6 14 2 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		断面修復材を規定の配合で電動攪拌機で均一になるまで撹拌していることが確認できる。		
		・ 1回あたりの施工厚は規定の厚さで施工していることが確認できる。		
		・ 規定の鉄筋のかぶりを確保して、断面修復されていることが確認できる。		
		<ul><li>施工後は直射日光、風等が当たらないようにシートがけ養生を行っていることが確認できる。</li></ul>		
		【表面処理工】		
		・ 表面処理工の塗装する面を洗浄し、乾燥状態としていることが確認できる。		
		・ 施工時の天気、気温及び湿度等の条件が記録されており、適正な気象条件下で塗装していることが確認できる。		
		• 規定の回数で塗布されていることが確認できる。		
		・ 塗装に有害な付着物がないことが確認できる。		
		• 雨水等の影響を受けない場所で保管していることが確認できる。		
		• しみ、ちぢみ、ふくれ、だれ等がないことが確認できる。		
		① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。		
		② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )		
		③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。		
		(4) なわ、削除仮り計画対象項目級か3項目以下の場合はC計画とする。		
		ばらつきで判断可能		
		げたつきがかないはそういている。ばらつきで		
		185 25 11 185		
		90%以上 a a' b b		
		評 価 75%以上90%未満 a' b b' b'		
		価		
		"E 60%未満 b' c c c		
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'		b	b'	С	d	е
3. 出来形	コンクリート構造	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと評価	対象項目の履	行状況(評価値	直)から判断する。<判断基	基準参照>	品質関係の試験結果が	
及び	物補修工事	(関連基準、土木]	事施工管理基準、	その他設計図記	書に定められた	試験)		規格値、試験基準を超	
出来ばえ	(炭素繊維	※ばらつきの判断	基準は別紙-4参照					えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
	補強工事)	☆ 品質が、試験項目	、試験基準及び規格	値を満足する。	)			きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]							
		<ul><li>施工時の天候、気温</li></ul>						<ul><li>品質関係の測定方法</li></ul>	
		<ul><li>材料の規格、品質が</li></ul>						または測定値が不適 切であったため、監	または測定値が不適 切であったため、検
		<ul><li>施工面に空隙、気泡</li></ul>		-				督員が文書で改善指	査職員が文書で修補
		<ul> <li>重ね継手長は10cm</li> </ul>						示を行い改善され	(手直し)指示を行っ
						温度管理または湿度管理と行	い施工している。	た。	た。
		<ul> <li>各層毎に施工中1回</li> </ul>				****			
		,				施し、平坦性が確保されてい	'ప.		
		<ul><li>炭素繊維シート接着</li><li>・ 途装の空缶管理が写</li></ul>		.ヒニールシート	寺で養生を打つ	(いる。		   上記該当あればd	上記該当あればe
		<ul><li>・ 室装の空面管理が多</li><li>・ 材料の保管が屋内等</li></ul>		強靭できる				上記数 ヨめれいなは	工品(2)4 (/4e
		7 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	に対していることが	作品でてきる。					
		① 「評価対象	は項目 1のうち、評価対象	外の項目は削	余する。				
					. , - 0	ト算した比率(%)計算の値(i	平価値)で評価する。		
			%)=該当項目数(				, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
		<ul><li>④ なお、削防</li></ul>	徐後の評価対象項目数	が3項目以下の均	易合はc評価とす	3.			
						_	<u> </u>		
			ばら	つきで判断可能	182 -				
		\	ばらつきが小さい	ばらついている ばらつ	ばらつきで 判断不可能				
			50%以下		6超え				
		=π	6以上 a		b b				
		価 75%以上	_90%未満 a'		b' b'				
		110	_75%未満 b		СС				
		l <u>L L</u>	6未満 b'		C C		5/m 1-7		
		注試験結果の	打点数等が少なくばら	つきの判断が出	来ない場合は評価	西対象項目(評価値)だけで記	半価する。		
L	I .	<u>I</u>						ı	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

② 出来は表 及び 出来はえ 物種後工事 (エネシ・樹脂 素性、シーマンの 中心 のでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	考査項目	工種	a.	a'	С	d	(快宜啾貝) e		
出来ばえ   (エスキン樹脂   鉄筋使用高流動			☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと評価対象	 項目の履行状況(評価値	~ )から判断する。<判断基		品質関係の試験結果が	品質関係の試験結果が
11.品質   一部では、	及び	物補修工事	(関連基準、土木工	事施工管理基準、その他	也設計図書に定められた記	式験)		規格値、試験基準を超	規格値、試験基準を満
II 、品質	出来ばえ	(エポキシ樹脂	※ばらつきの判断	基準は別紙-4参照					足せず、品質が劣る。
II. 品質		鉄筋使用高流動	☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格値を	きが大きい。				
<ul> <li>最計図書に基づくコンタリートの配合試験または試験補助が行われており、適切なコンタリートの規格(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物産量等)が確認できる。(ISA-5308以外の生コンを使用する場合)</li> <li>コンタリート7月込み中の世界な政策体を様取し、強度、アンプ・党気量等が確認できる。(ISA -5308以外の生コンを使用する場合)</li> <li>地工条件及び家食を作じ進し工羅映画門、打込み時の投入高さ、バイブレーターによる締態、業生方法等、適切に行っている。(集中及び最中コンタリート等込み後、取り外し時期がコンタリート速度等で適正に管理されている。コンタリート7月込み前に前水でわき水が適切に処理されている。コンタリート7月込み前に前水でわき水が適切に処理されている。コンタリート7月込み前に前水でわき水が適切に処理されている。</li> <li>コンタリート1月込み前に消水音を見り用を適切に行っていることが確認できる。コンタリート7月込み前に消水音を提り返り合え。スタリートの表しを進のほどれている。(高が1年)を目を見りまる。コンタリートの異の使用にあたリアンカリ骨材反に抑制対策の適合を確認している。(高が1年)を12世界とよるに対したアンカリートの場の使用にあたリアンカリ骨材反に抑制対策の適合を確認している。(高が1年)を13日内技等1030号)</li> <li>有害なグラックが次い、自由地に対した日本のように活成が変から線別である。(中央31年2月13日付技等1030号)</li> <li>有害なグラックが次い、自由地に対しては高く方面に対している。(一年成31年2月13日付技等1030号)</li> <li>有害なグラックが次い、自由地に対している。(単数とびからのようを13年間対象がらのようを14年間が表がらのようを14年間が表がらのようを14年間が表がらのようを14年間が表がらのようを14年間が表がらからように表している。(高流動コングリートの高速性はよびている。)</li> <li>高流動コングリートの高速性はよりがより高速物高または漏斗値下時間、自己をてん性は、実際の構造物または結析を機能した。これと同等の構造条件及び施工条件を有する実物大権型がより出めましましましまり施工されている。(高流動コングリートの活めまはませが表現を14年に対している。)</li> <li>高流動コングリートの高速性はまりでは、14年において達切に定めている。・カンドインチ駒未成のコングリートの活めまは素が大・皮膚に応じて、試験結果や実施に基づいて達切に定めている。・カンドインチ駒未成のコングリートの活めまは素やするたけでしている。・高流動コングリートの活めまは素やするたけでしている。(単しまでは、14年に対しまりを14年に対しまりを14年に対しまりを14年に対しまりを14年に対しまります。14年に対しまりまります。14年に対しまります。14年に対</li></ul>									
・ 鋼板に囲まれて閉鎖空間となる一つの隔室内には、コンクリートを連続して打込んでいることが確認できる。		コンクリート)	[評価対象項目] 【共通】 ・ 設計図書に基づくコン塩化物総量等)が確認・コンクリート打込み外の・施工条件及客気のコンを関するで、実体では、実体では、実体では、またのでは、コンクリートの打込み場合・コンクリートの打込み場合・コンクリートの打込み場合・コンクリートの打込みは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	アクリートの配合試験または試器できる。(JISA-5308以外のの必要な供試体を採取し、強力とコンを使用する場合)件に適した運搬時間、打込るリート等を含む)が適正で、コンクリート打込み、や補修の痕跡がない。こ雨水やわき水が適切に処理を適切に行きを対し、世水板等の設置が適切に行り型枠の破片等がコンクリートのと、単位水量がありには、変になる。は、単位水量は、実際の構造がある。は、まな、重な、ないと、重なな、重線的に仕上がった。といる。では、大きでは、実際の構造がある。では、大きでは、実際の構造がある。では、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	に験練りが行われており、適切生コンを使用する場合)。 度、スランプ、空気量等が確しな時の投入高さ、バイブレークを、取り外し時期がコンクリーとしている。 ものであることが確認できる。 っていることが確認できる。 表面になく、丁寧な仕上がりてる。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 表面にないる。 またりアルカリ骨材反応抑制を またりアルカリートでは、ここでいる。 にないる。 にないる。 にないるがとうか、コンクリートでは、こことが、配筋状況等に応じて、試 されているかどうか、コンクリートでは、こことでは、こことが、こことのでは、こことの	認できる。 ターによる締固、養生方法等 ・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、適切に行っている。 ている。  1019号)  工条件を有する実物大  荒下時間、自己充てん  通切に定めている。	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検 査職員が文書で修補 (手直し)指示を行っ た。

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'		b	b'	С	d	e
3. 出来形	コンクリート構造	☆ 品質関係の診	<b>大験結果のばらつきと評値</b>	西対象項目の履	量行状況(評価値	直)から判断する。<判断基	基準参照>	品質関係の試験結果が	
及び	物補修工事	(関連基準、	上木工事施工管理基準、	その他設計図	書に定められた	試験)			規格値、試験基準を満
出来ばえ	(エポキシ樹脂		判断基準は別紙-4参用					えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験	項目、試験基準及び規	各値を満足する	) <sub>o</sub>			きが大きい。	
Ⅱ.品質	コンクリート)								
		【鉄筋】							
			みまでの鉄筋の保管管理が		が確認できる。				
			1工が適切であることが確認						
			i切に配置し、鉄筋のかぶり						
			こあたり、作業員の技量確認						
			張強度、曲げ強度の試験		で確認できる。				
			式験を1規格10ロッド毎に実 バ、220±40の範囲で管理し		ーベキフ				
			1、220±40の配囲で管理し はキズ防止のため、緩衝材を						
			はそろの正のため、綾倒わる 度試験、ピンホール試験、而			•			
		▼ 取入用刀♥ノ下门 /自 7虫/5	支武族、ログハール武族、川	野羊  土武駅、田	リ加工状化をジレ	ノート守て唯恥てきる。			
		① 「評	価対象項目   のうち、評価対	象外の項目は削	除する。				
			· · · · · · <del>-</del> · · · · · · · ·			ト算した比率(%)計算の値(記	平価値)で評価する。		
		③ 評価	f値(%)=該当項目数	( )/評価対象	k項目数( )				
		<ul><li>④ なお</li></ul>	3、削除後の評価対象項目数	数が3項目以下の	場合はc評価とする	5.			
						_			
				らつきで判断可能	142-54-				
				い ばらついている ばら	刊町个可能				
		<u> </u>	50%以		%超え				
		評	90%以上 a	a'	b b	1			
		備 /5	%以上90%未満 a'	b	b' b'				
		值 60	%以上75%未満 b	b'	СС	_			
		.Δ= 3.4πΔ.¢	60%未満 b'	C >	C C	<u>】</u> 西対象項目(評価値)だけで記	Ti /TT		
		注 試験/i	お朱の打点数寺が少なくは	っつざの判断かけ	3米ない場合は評1	曲対象項目(評価値)だけで記	半価する。		
L	ı							I.	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>₩</b> .★	T14	1	,	1	Т	1.7	1	1 1	(快宜椒貝)
考査項目	工種	a	a´	<u>b</u>		b´	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	橋梁補修工事	☆ 品質関係の試験結: (関連基準、土木工 ※ばらつきの判断基 ☆ 品質が、試験項目、	事施工管理基準、その代 基準は別紙-4参照	也設計図書に定め		判断する。<判断基	<b>玉準参照</b> >	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		<ul><li>・ 設置に先立ち、床板遊</li><li>・ 施工にあたり、気温等</li><li>・ 伸縮装置と舗装面のセ</li><li>・ 交通解放にあたり、強</li></ul>		ることが確認できる。 施工されている。 いる。 いる。		•		品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。     上記該当あればd	品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、検 査職員が文書で修補 (手直し)指示を行っ た。     上記該当あればe
		<ul><li>・ 塗装前の処理が適切し</li><li>・ 塗装の品質が出荷証し</li><li>・ 溶接作業にあたり、作</li></ul>	シート等(現物照合を含む。 こ実施されていることが確認 明書、塗装証明書で確認で 業員の技量確認を行ってい 溶接箇所の試験結果報告	3できる。 きる。 さる。	に実施したこと	が確認できる。			
		・ アンカーの削孔にあた ・ アンカーボルト孔の削・ 施工後にアンカーボルト ・ アンカーボルトの材料・ ボルトの締付確認が実 ・ ボルトの締付機、測定・ ブラケット接合面のケレ ・ 落橋防止ケーブルの記・ 塗装時の天候、気温及 ・ 現場塗装で塗り残し、	展査器等で既設上下部構造り、既設鉄筋やコンクリート 孔長を全数確認し、資料が別小の定着長を超音波探傷器 搬入時に、長さ、径、材料に施され、適切に記録が保管機器のキャリプレーションが入念に実施されている とび湿度等の条件が記録、引むら等がない。こあたり変形及び塗装面に打ち	に損傷を与えないよう整理されている。 器を用いて全数測定していて全数確認を行ったいる。 実施している。 実施している。 なことが確認できる。 支間、遊間等の測な 整理され、適切な条何	が注意して行っ し、資料が整理 テっている。 定値は規格値を 牛のもとに塗装	ている。 されている。	いる。		
			注】 パシート等(現場照合含む)で 具の品質がミルシート等でで						

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	1 2	, ,	b	h'	0	d	(快且椒貝)
5 3. 出来形 及び	橋梁補修工事		┃    a F果のばらつきと評価対象 ニ事施工管理基準、その(				品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超	e 品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満
出来ばえ			基準は別紙-4参照 、試験基準及び規格値を	満足する。			えるものがあり、ばらつ きが大きい。	足せず、品質が劣る。
及び	橋梁補修工事	(関連基準、土木二※ばらつきの判断 ☆ 品質が、試験項目  【外ケーブル工法・架設工. ・ 塗装する面が乾燥状 ・ 施工時の天候、気温 ・ 塗料の空缶管理が、 ・ 締め付けボルト、桁と ・ 設計図書で示された ・ 作業実施前に確認が・ ケーブルの緊状のですのですがのですが、実施がですが、実施がですが、 一 が か 小 エ において 水 分 ・ 舗装端部の防水 処理 ・ 防水シートは、水の 髄 大 の が ・	工事施工管理基準、その付 基準は別紙ー4参照 、試験基準及び規格値を 態であることが確認できる。 及び湿度等の条件が記録さい。 写真等で確実に確認できる。 の間及び隅の所で塗り残した 数量が、使用前後で資料に。 機器)のキャリブレーションが 実施され、適切に記録が保管 が記録され、適切に記録が保管 にあたり変形及び製品に損い が高正に施工されている。 が一分に乾燥した後に適切に が確実に行われ、背着材が 就験成績表などで確認できる。 や項目の削除後は、削除後 %)=該当項目数()/ に後の評価対象項目数が3項	他設計図書に定められた に満足する。 れており、適正な気象条件 がない。 はり確認できる。 実施されている。 まされている。 れている。 像を与えないように適切に 類で整備されている。 むらなく塗装されている。 むらなく塗装されている。 の評価項目数を母数として 「評価対象項目数() 頁目以下の場合はに評価とす	主試験) 下で塗装している。		規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつ	規格値、試験基準を満
		評 75%以」	ばらつきが小さい ばらつ 50%以下 809 6以上 a 290%未満 a'	で判断可能 ばらつきが大きい はらつきて 判断不可能 る 以下 80%超え a' b b b' b'				
		値 60%以	1 44	b'         c         c           c         c         c           の判断が出来ない場合は評	  価対象項目(評価値)だけ	で評価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	鋼管防蝕工事 (ペトロラタムライ ニング工法) (TP工法)	(関連基準、土木工	果のばらつきと評価対象 事施工管理基準、その 基準は別紙ー4参照	東項目の履行状況(評価値 他設計図書に定められた) ・満足する。			品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		☆ 品質が、試験項目、 「評価対象項目」 ・ 使用材料が所定の品 ・ 腐食状況を事前に面の品 ・ 腐食状況を事前に面の。 ・ 森地園整で毎となるの。 ・ 森地 ストラーグのの規定でであるの。 ・ ペース・アープが規定があるの。 ・ 巻きけけ後が規定があるの。 ・ 巻き付けが、一がは、一がは、一下端部は下端間にです。 ・ によっているのでは、は、一下端部は下端間にです。 ・ では、一下端部は下端間にでいる。 ・ では、一下端部は下端間にでいる。 ・ では、前には、前には、前には、前には、前には、前には、前には、前には、前には、前に	武験基準及び規格値名質を有することが、製造工場をし、調査結果を基に監督水中生物、浮き錆、浮き塗りを地物がある場合は、切断では物は回収し、産業廃棄物にの重ね代(10%)を確保した上プに水泡や気泡が残って一プに水泡や気泡が残ってが破したとしてができれる。これでは、水中硬化型エリアの幅を重ね合わせて施工具で固定し、水中硬化型エリアの関係をは、削除後%)=該当項目数(1)、後の評価対象項目数が3互ばらつきがかは、ばらっきがかは、ばらっきがかは、ばらっきがかは、ばらっちの場よ。	易の試験成績書(検査証明書) 員と施工範囲を確認している。 莫等を除去し、規定のグレード とのではないる。 として適正に処理していること として適びでとが確認できる。 で巻き付けられていることが確 いないことが確認できる。 されていることが確認できる。 、間隙部に水中硬化型エポキ ・ポキシ樹脂を十分に充填して の評価項目数を母数として計	ことが書面で確認できる。 「(ISO St2以上)に仕上げて が確認できる。 が確認できる。 が確認できる。 を樹脂を十分に充填していることが確認できる。  算した比率(%)計算の値(評	ることが確認できる。 平価値)で評価する。		<ul> <li>品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、検</li> </ul>

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	クを配入する。	<del>,</del>		Ь	(横雀職員)		
3. 出来形		る より所則なの診験な	a´ 田のばこのおい証無対角:	b 	<b> </b> b´ 〔)から判断する。 < 判断基	C F海乡四~	a 品質関係の試験結果が	E   日本間核の計験は単が
5. 山米ル 及び 出来ばえ	口偷拟五上	(関連基準、土木工 ※ばらつきの判断基	事施工管理基準、その他	也設計図書に定められた		5.中少炽 /		規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		<ul><li>施工計画書に周辺環</li><li>施工計画書に安全対</li></ul>	兼が記載され実施している。 パリート)が確実に処理されて での記録と整合する。	載され実施している。 助対策が記載され実施されて いることが書類、写真で確認	-		品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検
		2 評価対象タ 3 評価値( 4 なお、削除 評価値 75%以上 60%以上 60%以上	%) = 該当項目数( ) / 後の評価対象項目数が3項 ばらつきてばらつきがはいばらつきでないます。 ははらつきがいまいばらついます。 はらつきがいまいばらつきがいます。 はらつきがいます。 はらつきがいます。 はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい	の評価項目数を母数として計 評価対象項目数( ) で判断可能 いている はらつきが大きい 以下 80%超え a' b b b b b' b' c c c c	算した比率(%)計算の値(計 5。		上記該当あればd	上記該当あればe

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量等)が確認できる。(JISA-5308以外の生コンを使用する場合) ・ コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。 (JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) ・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、バイブレーターによる締固、養生方法等、適切に行っている。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) ・ 型株、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 ・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリートの打込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 ・ コンクリート打込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 ・ コンクリート対路を強弱切にができる。 ・ コンクリート及び生ぐトコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 ・ 型枠の自違いがなく、型枠の破片等がコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 ・ コンクリート及びセントコンクリート製品の使用にあたりアルカリ骨材反応抑制対策の適合を確認している。 (高炉B種・C種のセメントを使用したコンクリートの場合は評価対象から除外する) ・ コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第1019号)	考査項目	工種	工種	a	a'	b	b'	С	d	(快宜椒貝)
<ul> <li>【共通】</li> <li>・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、w/c、最大骨材粒径、塩化物総量等)が確認できる。(JISA-5308以外の生コンを使用する場合)</li> <li>・ コンクリート打込み時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合)</li> <li>・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打込み時の投入高さ、バイブレーターによる締固、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li>・ 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打込み後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。コンクリートの打ち直しや補修の我跡がない。コンクリート打込み時に雨水やわき水が適切に処理されている。 コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。コンクリート及びセメントコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。 コンクリート及びセメントコンクリート表面になく、丁寧な仕上がりが確認できる。「高庁程権・C種のセメントを使用したコンクリート場合は評価対象から除外する」</li> <li>・ コンクリート打込み前に「推修者目処理を適切に行っている」とが確認できる。「高庁程権・C種のセメントを使用したコンクリートの場合は評価対象から除外する」</li> <li>・ コンクリート打込み前に、単位水量試験または水セメント比試験を実施している。(平成26年8月19日付技第1019号)</li> </ul>	及び	海岸工事	5岸工事 緩傾斜護岸工)	(関連基準、土木工 ※ばらつきの判断基	事施工管理基準、その他 基準は別紙-4参照	也設計図書に定められた記		5準参照>	規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ	規格値、試験基準を満
・ 施工基面が平坦に仕上げられている。 ・ 材料の規格、品質が試験成績表等で確認できる。 ・ 海岸部に保管する型枠のセパレート、組立の鉄筋等は、鋳防止対策を行っている。 ・ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。  【段階式護岸(緩傾斜ブロック)】 ・ 基礎の均し面が平坦に仕上げられていることが確認できる。 ・ 吸出し防止材のマットは、重ね合わせ幅が確認できる。 ・ 設置された緩傾斜ブロックに破損や補修痕のないことが確認できる。 ・ 設置された緩傾斜ブロックの不等沈下がなく、横方向のずれもない。 ・ 緩傾斜ブロックが設計勾配とおりに施工されている。 ・ コンクリートブロックの転地、仮置に際し、強度確認を行っている。 ・ コンクリートブロックの転地、仮置に際し、強度確認を行っている。 ・ コンクリートブロックの仮置で、転倒、崩壊等の恐れがない。 ・ 異型ブロック等を現場で製作のものは、型枠懶入時に仮組等を実施し、寸法、歪み、傷等をチェックしている。 ・ 異型ブロックの製作で豆板、かけ、型枠の目違いが規定の範囲であることが確認できる。	Ⅱ.品質			【共通】 ・ 設計図書に基づくコン塩化物総量等)が確認・コンクリート打込み時の(JIS A-5308以外の・施工条件及び気象条・(寒中及び暑中コンクリート打込み時に・コンクリートの現場養生・コンクリート打込み時に・コンクリート打込み前に・コンクリート打込み前に・コンクリート打込み前に・型枠の目違いがなく、コンクリート打込み前に・材料の規格・電力がない。施工基面が平坦にがおれても材料の規格、管する型相、濁り防止等環境保針ブロックが設置された緩傾斜ブロックが設置された緩傾斜ブロックが設計・コンクリートブロックの値・異型ブロック等を現場	8できる。(JISA-5308以外の)の必要な供試体を採取し、強か生コンを使用する場合)件に適した運搬時間、打込のり一ト等を含む)が適正で、コンクリート打込み、や補修の痕跡がない。こ雨水やわき水が適切に処理を捕りがない。と下水やが高切に処理を適切に行っ型枠の破片等がコンクリートトコンクリート製品の使用においる。大験成績表等で確認できる。やのセパレート、組立の鉄筋に上げられている。大りは、重ね合わせ幅が確認できる。やかとは、重ね合わせ幅が確認できる。かり上に破損や補修痕のないないが、重なりにを使用したいることが確認できる。からといるに、重なられている。大りは、重ね合わせ幅が確認できる。からといるにがでいることが確認できる。からに、重ね合わせ幅が確認できる。からに、重ね合わせ幅が確認できる。からに、重ね合わせ幅が確認できる。からに、重ね合わせ幅が確認できる。からに、重ね合わせ幅が確認できる。からに、重ね合わせ幅が確認でで製作のものは、型枠搬入間でで製作のものは、型枠搬入間がある。	生コンを使用する場合) は度、スランプ、空気量等が確 み時の投入高さ、バイブレーク な後、取り外し時期がコンクリー 型されている。 ものであることが確認できる。 っていることが確認できる。 表面になく、丁寧な仕上がりた。 あたりアルカリ骨材反応抑制な 場合は評価対象から除外すさ スメント比試験を実施している。 認できる。 きる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 こことが確認できる。 こことが確認できる。 にとが確認できる。 にとが確認できる。 にとが確認できる。 にことが確認できる。 にことが確認できる。 にことがにしている。 しがない。 時に仮組等を実施し、寸法、3	認できる。 ターによる締固、養生方法等 ト・強度等で適正に管理され が確認できる。 け策の適合を確認している。 5) (平成26年8月19日付技第2) なる。	、適切に行っている。 ている。 1019号)	または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行い改善された。	または測定値が不適 切であったため、検 査職員が文書で修補 (手直し)指示を行っ

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b		b'	С	d	е
3. 出来形	海岸工事	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと評価対象	象項目の履行状	況(評価値)	)から判断する。 <判断基	準参照>	品質関係の試験結果が	品質関係の試験結果が
及び	(緩傾斜護岸工)	(関連基準、土木工	事施工管理基準、その	他設計図書に気	官められた記	式験)		規格値、試験基準を超	
出来ばえ		※ばらつきの判断基	準は別紙-4参照					えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格値	を満足する。				きが大きい。	
Ⅱ.品質									
		【中詰、被覆などの基礎工】							
		<ul> <li>中詰めに使用する石の</li> </ul>	計量が適切であることが	確認できる。					
		<ul><li>基礎工は、大小の石で</li></ul>							
		<ul><li>基礎に敷設する帆布等</li></ul>			こより確認でき	る。			
		<ul><li>砕石基礎の均し面が平</li></ul>	生地に仕上げられているこ	とが確認できる。					
		(a) [37 /m t.] A.	TD	~ - T D 1 1 1/10 1- 2			1		
			頁目」のうち、評価対象外 項目の判験後は、判験			<b>答1 たしま (0/ ) 計算のは (</b> 割	(年は) 本証(年より		
			<ul><li>場日の削除後は、削除位</li><li>%)=該当項目数( )</li></ul>			算した比率(%)計算の値(評	1111111111111111111111111111111111111		
		0 111 111 1	(A) - W 3 項 5 数 (C) 後の評価対象項目数が3		,				
		(五) (4) (1) (4)	及少計圖內家有日数250	気ログージ物口で	に計画にする	0			
			ばらつき	で判断可能					
				ついている ばらつきが大きし	、 ばらつきで 判断不可能				
			50%以下 80	%以下 80%超え					
		90%	以上 a	a' b	b				
		評 75%以上	90%未満 a'	b b'	b'				
		価 60%以上	75%未満 b	b' c	С				
		60%	未満 b'	с с	С				
		注 試験結果の	T点数等が少なくばらつき	:の判断が出来なレ	\場合は評価	i対象項目(評価値)だけで評	価する。		
									ļ

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a a' b b'	С	d	(快車概員)
3. 出来形 及び	海岸工事(潜堤・人工リーフ)	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験)	>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ	規格値、試験基準を満
ДЖО		☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。		きが大きい。	
出来ばえ Ⅱ.品質		※ばらつきの判断基準は別紙-4参照	骨材粒径、	えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		【帆布、捨石及び均し関係】 ・ 基礎工に使用する石の計量が適切であることが確認できる。 ・ 基礎工は大小の石でかみ合わせが良く、均し面にゆるみがないよう施工されていることが確認できる。			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>北</b> 木石口	<b>一丁1</b> 手	T	,	1	1 ,	Г	1	(快宜椒貝
考査項目	工種	a 上口所眼体の針較分	a´ 田のばとっさい証何替免	ちょう 屋 ( 本 に は )	b'	C + 滩 - A III 〜	■ d ■品質関係の試験結果が	日
3. 出来形 及び 出来ばえ	海岸工事 (潜堤・人工リーフ)	(関連基準、土木コ ※ばらつきの判断。		項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた記 満足する。		古中多照 <i>&gt;</i>	回員関係の試験結末が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を消
Ⅱ.品質		<ul><li>基礎に敷設する帆布</li><li>捨石基礎の均し面が</li><li>現地に搬入された捨</li></ul>	等の破れがなく、所定の重ね 平坦に仕上げられていること	なが写真記録等により確認でき		んだ状態できっ水線を		
		② 評価対象: ③ 評価値(	%)=該当項目数( )/ 余後の評価対象項目数が3項	の評価項目数を母数として計		平価値)で評価する。		
		評 75%以上 価 値 60%以上	ばらつきが小さい ばらつ 50%以下 80% 6以上 a a =90%未満 a' =75%未満 b b	が は は いている は は らつき で				
			1-4-7	ら 2判断が出来ない場合は評価	i対象項目(評価値)だけで語	平価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(快宜喊貝) e
3. 出来形 及び 出来ばえ	港湾工事(岸壁工)	(関連基準、土木工 ※ばらつきの判断を		項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた記 満足する。	, 1 4 0 1 4		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		塩化物総量等)が確認 ・コンクリート打込み時で (JIS A-5308以外の ・施工条件及び気象条 (寒中及び暑中コンク ・ 型枠、支保工の組立 //	忍できる。(JISA-5308以外の: の必要な供試体を採取し、強 )生コンを使用する場合) :件に適した運搬時間、打込。 リート等を含む) が適正で、コンクリート打込み	は験練りが行われており、適切生コンを使用する場合) 生コンを使用する場合) は度、スランプ、空気量等が確 み時の投入高さ、バイブレーク	認できる。 ターによる締固、養生方法等	、適切に行っている。	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検 査職員が文書で修補 (手直し)指示を行っ た。
		・コンクリートの現場養生・コンクリート打込み前1・型枠の目違いがなく、 目地に挟む目地材や・コンクリート及びセメン(高炉B種・C種のセメ・コンクリート打込み前1・重要構造物について(平成31年2月15日付・有害なクラックがない。目地は大む目地材は・目地材、止水板はよじ・機器及び部品等で性・高流動コンクリートの模型等により、照査し・高流動コンクリートのが性は動コンクリートは、潮位が事前に確認さえば、対策関係】・コンクリート打込みまで、鉄筋の組立、加工が近端のはないがあり、	こ雨水やわき水が適切の処理 生用の供試体が当該現場の こ打継ぎ目処理を適切に行っ 型枠の破片等がコンクリート 止水板等の設置が適切であ パコンクリート製品の使用にな シトを使用したコンクリートの こ、単位水量試験または水セ 、非破壊試験による配筋状態 技第1035号) 。、露出の表面で均一に出る。 がれなく直線的に仕上がってい 能検査をするものは、製造者 自己充てん性は、実際の構造 ている。 流動性はスランプフロー試験 いた通過性試験等で管理している。 流動性はスランプフロー試験 いた通過性試験等で管理している。 流動性はスランプラロー試験 に通過性試験等で管理している。 流動性はスランプラロー試験 に対している。 流動性はスランプラロー試験 に対している。 流動性はスランプラロー試験 に対している。 流動性はスランプラロー試験 に対している。 流動性はスランプラロー試験 に対している。 にはいる。 にはいない。 にはいない。 にはいない。 にはいない。 にはいないない。 にはいないない。 にはいないないないないないないないないな	ものであることが確認できる。っていることが確認できる。っていることが確認できる。表面になく、丁寧な仕上がりる。 たりアルカリ骨材反応抑制な場合は評価対象から除外すさなント比試験を実施している。 たることが機関の証明書がき物または公的機関の証明書がき物または部材を模擬した、これ料分離抵抗性は500mmでいる。 に状、配筋状況等に応じて、試、表面の乾燥を防止する対策	対策の適合を確認している。 3) (平成26年8月19日付技第1 調査を行っている。 整備されている。 れと同等の構造条件及び施 フロー到達時間または漏斗が	江条件を有する実物大 流下時間、自己充てん 衝切に定めている。	上記該当あればd	上記該当あればe

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(快且報頁) e
及び 出来ばえ	港湾工事 (岸壁工)	(関連基準、土木コ ※ばらつきの判断。	E果のばらつきと評価対象 E事施工管理基準、その他 基準は別紙-4参照 、試験基準及び規格値を	也設計図書に定められた	[)から判断する。 <判断基 試験)	<b>基準参照</b> >	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		・ 鉄筋の規格、引張強・主鉄筋の規格、引張強・主鉄筋の引張試験を・鉄筋圧接(溶接)作業・鉄筋の重ね継手が、。 【鋼管杭及び矢板、控損傷及・抗及び矢板に損傷と・抗及び矢板の切断ののとでをして、では、カスのが、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変が、大変	要、曲げ強度の試験値をミル1規格10ロッド毎に実施していまたり、作業員の技量確認設計図書に示す長さを重ね合係 が (本) が (な) によう切断していることが、ごみ等を除去していることが、ごみ等を除去していることが、ごみ等を除去していることが、ごみ等を除去していることが、ごみ等を除去していることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごみ等を除ましていることが、ごから、 (は)	シート等で確認できる。 いる。 まを行っている。 さわせて、なまし鉄線で数箇がいる。 れ、かつ記録が確認できる。 いることが確認できる。 でいることが確認できる。 はを行っている。 付け、ボルトで十分締め付け はた対して直角に設置されて いまう、適切に処理されて いなに対して直角に設置されて いるに対して直角に設置されて いるに対してを はいまれたうえ、ねじ山が三 はいまれたうえ、ねじ山が三 ない推認できる。 か確認できる。 か確認できる。 か確認できる。 か可目は削除する。 か可目は削除する。 か確認できる。 か可目は削除する。 か可目は削除する。 か可に対してはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいまれているにはいまれているに ない確認できる。 か可に対して いるにはいるにはいまれている。 で判断可能 いているはいるに対しまれている。 ないの場合は、 にいているにはいるに対しまれている。 ないでもの場合は、 にいているにはいるにはいるにはいるにはいるにはいる。 ないの場合は、 にいているにはいるにはいるにはいるにはいる。 ないのはいるにはいるにはいるにはいる。 ないのはいるにはいるにはいる。 ないのはいるにはいるにはいるにはいる。 ないのはいるにはいるにはいるにはいるにはいる。 ないのはいるにはいるにはいるにはいる。 ないのはいるにはいるにはいるにはいるにはいる。 ないのはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるにはいるに	れている。 いる。 きる。 こつ山以上突き出しているよう とが確認できる。  ・ 算した比率(%)計算の値(部	に締め付けられている		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	海岸工事 (養浜工)	(関連基準、土木」 ※ばらつきの判断。 ☆ 品質が、試験項目		他設計図書に定められた	i)から判断する。<判断基 試験)	· 準参照 >	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質		<ul> <li>盛土材の粒径の混合</li> <li>締め固めを適切な条</li> <li>盛土材の表面が平坦</li> <li>工事期間中、1日1回</li> <li>養浜施工断面の実測</li> <li>搬入土砂の数量確認</li> </ul>	牛で施工している。(巻き出し に仕上げられていることが確 は潮位観測を行い記録して を行い、数量の確認ができる ができる。(桝立て等を実施	レ厚が均一で均等な転圧) 誰認できる。 いる。 る。	ハで再施丁を宇旋1 でいス		・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、検 査職員が文書で修補 (手直し)指示を行っ た。
		受けばいい回がに区	戊//-0// //に勿口、皿目貝♥//	ロング 自由事のは4~~~2日の分子の	・*C行心エセス心じ(V*3。		上記該当あればd	上記該当あればe
		② 評価対象: ③ 評価値(	%)=該当項目数( )/	の評価項目数を母数として計	・算した比率(%)計算の値(ぎ る。	が価値)で評価する。		
		郭 90%	ばらつきが小さい ばらつ 50%以下 809	で判断可能 いている ばらつきが大きい %以下 80%超え a' b b				
		値 60%以上	75%未満 b 未満 b'	b         b'         b'           b'         c         c           c         c         c           の判断が出来ない場合は評価	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	で価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>本</b> 木石口	T 14:	T . T	,	1	1 ,		T 1	(検査職員)
考査項目	工種	a a settle of the office of th	a 田のばこったし証何も名	┃	b'	C	d 品質関係の試験結果が	日所則なの診験対用す
3. 出来形 及び 出来ばえ	海岸工事 (浚渫工) (埋め立て工)	☆ 品質関係の試験結果 (関連基準、土木工 ※ばらつきの判断基 ☆ 品質が、試験項目、	事施工管理基準、その他 準は別紙-4参照	5年参照>	品質関係の試験指来が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	規格値、試験基準を満		
Ⅱ.品質		[評価対象項目] 【浚渫】 ・ 濁り防止等環境保全に ・ 工事期間中、1日1回に ・ 浚渫工について、ムラフ ・ 測深資料から施工の適 ・ ポンプ浚渫の施工によ ・ ポンプ浚渫の施工によ	十分注意して施工している は潮位が事前に確認され記む なく設計図書どおりに施工さ	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検			
		<ul><li>・ 浚渫の際、既存施設へ</li><li>【土工事】</li><li>・ 搬入土砂の数量確認が</li><li>・ 搬出土砂の数量確認が</li></ul>	の影響が生じないよう適切 ができる。(枡立て等を実施) ぶできる。(搬出先での数量	に施工している。 又はダンプの第数等)			上記該当あればd	上記該当あればe
		・ 締め固めを適切な条件 ・ 盛土材の表面が平坦は ・ 工事期間中1日1回は ・ 盛り土施工断面の実測 ・ 盛り土済みの箇所に侵 ・ ダンプ運搬において、;						
		<ul><li>・ 改良材料の品質管理を</li><li>・ 注入量は流量計を使用</li><li>・ 使用材料の重袋、空袋</li><li>・ 改良土は均一な強度で</li></ul>	じめ、安全性が確認できる品 治適切に行っていることが記 引し、規定分の注入材を注入 管理が、写真等で確実に確 で改良され、バラツキがない、 食、一軸圧縮試験等を実施し					

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

								(快乱概貝)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	海岸工事 (浚渫工) (埋め立て工)	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断	果のばらつきと、評価対象 事施工管理基準、その低 基準は別紙-4参照 試験基準及び規格値を	基準参照>	規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。		
Ⅱ.品質		① 「評価対象 ② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削防 可 可 面 値 の%以上 60%以上	理目」のうち、評価対象外の 外項目の削除後は、削除後の %)=該当項目数( )/ 該後の評価対象項目数が3項 ばらつきがははいばらつ 50%以下 80% 5以上 a a 290%未満 a' 175%未満 b b	項目は削除する。 D評価項目数を母数として計 評価対象項目数( ) 目以下の場合はc評価とする  E判断可能 いている はらつきが大きい 対断不可能 の以下 80%超え  a' b b  b' b'	) <sub>0</sub>			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	а	a,	h	h'	С	д	(恢宜,概貝 <i>)</i> e
	魚礁工事	d	GC	<u>□□□□□□</u> 象項目の履行状況(評価/	値)から判断する。<判断		品質関係の試験結果が	Ü
及び	(コンクリート及び			れ設計図書に定められた		至十多 ※ 、		規格値、試験基準を満
出来ばえ	鋼製部材)	※ ばらつきの判断			1- V(0/C)		えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
Д/(16/2	2012/2017		試験基準及び規格値を		きが大きい。			
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	アの人生一人の元日間と					
п.шд		【共通】					<ul> <li>品質関係の測定方法</li> </ul>	<ul><li>品質関係の測定方法</li></ul>
		I =	こ十分注意して施工している	ことが確認されている			または測定値が不適	または測定値が不適
		<ul> <li>潮位が事前に確認される。</li> </ul>		CC PEDCAVCT VO			切であったため、監	切であったため、検
		1011274 1-1121 - MEMO-CH	viii. ii. ii. ii.				督員が文書で改善指 示を行い改善され	査職員が文書で修補 (手直し)指示を行っ
		【魚礁製作関係】(コンクリー	-トオオ )				た。	た。
				大験練りが行われており 適切	]なコンクリートの規格(強度、	w/c 最大骨材粒径	1 = 0	. =0
			界できる。(IISA-5308以外の		7. d. 0 7 7 1 47/9010 (14/20)	"/ C( AC) (		
				ェー・とはバーののログ 3度、スランプ、空気量等が確	:認できろ		上記該当あればd	上記該当あればe
			)生コンを使用する場合)	(文(・)・)・ / 工/(玉川 / 神	:pu ( C 0/0			
				み時の投入高さ バイブレー	ターによる締固、養生方法等	適切に行っている。		
		(寒中及び暑中コンク		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
		<ul> <li>型枠、支保工の組立力</li> </ul>	が適正で、コンクリート打込み	後、取り外し時期がコンクリー	ト強度で適正に管理されてい	いる。		
		<ul><li>コンクリートの打ち直し</li></ul>		24,000,000				
			こ雨水やわき水が適切の処理	埋されている。				
			*用の供試体が当該現場の					
		<ul><li>型枠の目違いがなく、</li></ul>	型枠の破片等がコンクリート	表面になく、丁寧な仕上がり	が確認できる。			
		<ul><li>コンクリート及びセメン</li></ul>	トコンクリート製品の使用には	あたりアルカリ骨材反応抑制	対策の適合を確認している。			
		(高炉B種・C種のセメ	ントを使用したコンクリートの	場合は評価対象から除外す	る)			
		<ul><li>コンクリート打込み前り</li></ul>	こ、単位水量試験または水セ	アメント比試験を実施している	。(平成26年8月19日付技第1	1019号)		
		<ul><li>有害なクラックがない。</li></ul>						
		<ul><li>コンクリートブロックの!</li></ul>	転置、仮置に際し、強度確認	を行っている。				
		<ul><li>コンクリート打込みまで</li></ul>	での鉄筋の保管管理が適切で	であることが確認できる。				
		<ul><li>鉄筋の組立、加工が過</li></ul>	適切であることが確認できる。					
		<ul><li>スペーサーを適切に酉</li></ul>	記置し、鉄筋のかぶりを確保	している。				
		<ul><li>鉄筋の規格、引張強原</li></ul>	度、曲げ強度の試験値をミル	シート等で確認できる。				
		<ul><li> 魚礁ブロック等を現場</li></ul>	で製作するものは、型枠搬力	八時に仮組等を実施し、寸法	、歪み、傷等をチェックしてい	る。		
		<ul><li>魚礁ブロックの製作で</li></ul>	豆板、かけ、型枠の目違いな	が規定の範囲であることが確	認できる。			
		【魚礁製作関係】(鋼製材)						
		<ul> <li>鋼材の員数照合がミノ</li> </ul>	レシート等(現物照合含む)で	で確認できる。				
			業員の技量確認を行ってい					
				- 書が作成され、適正に実施さ	れたことが確認できる。			
		<ul><li>ボルトの締付確認が実</li></ul>	ぼ施され、適切に記録が保管	されている。				
		<ul><li>ボルトの締付機、測定</li></ul>	機器のキャリブレーションを	実施している。				
		<ul><li>ボルトの品質がミルシ</li></ul>	ート等で確認できる。	-				

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

+v -+			,	,				(快互啾貝)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形	魚礁工事		果のばらつきと、評価対象	象項目の履行状況(評価値	直)から判断する。<判断	基準参照>		
及び	(コンクリート及び	(関連基準、土木コ	事施工管理基準、その他	也設計図書に定められた記	試験)			規格値、試験基準を満
出来ばえ	鋼製部材)		基準は別紙-4参照				えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
дуктоле	2114241111		試験基準及び規格値を	港見する			きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	、民衆至平及び死行直と	一定 9 つ。				
Ⅱ.叩貝								
ļ		【魚礁沈設工】						
ļ		・ 沈設に先立ちGPS及	びD-GPS等の測量機器を	利用して位置を測定し、設計	十図書に定められた場所に沈	設し、管理表を作成		
· ·		している。						
ļ		<ul><li>沈設時の着底速度は</li></ul>	、毎秒0.8m以下の速度で着	底している。				
· ·		<ul><li>沈設された魚礁は、音</li></ul>	「響測深器等により高さ、長さ	、幅を測定し、出来形図を作	成している。			
· ·					,,,,,			
ļ								
ļ								
!								
ļ								
ļ							1	1
ļ		<ol> <li>① 「評価対象</li> </ol>	項目」のうち、評価対象外の	項目は削除する。			1	1
ļ		② 評価対象	外項目の削除後は、削除後の	D評価項目数を母数として計	算した比率(%)計算の値(評	平価値)で評価する。		
ļ			%)=該当項目数( )/					
ļ				目以下の場合はc評価とする	:			
ļ		生 なわ、削肉	R恢约計画对象項目数//13項	日以下の場合はC計画とする	)。			
ļ								
ļ								
ļ					•			
· ·			ばらつきで	で判断可能				
ļ			ばらつきが小さい ばらつ	いている ばらつきが大きい 判断不可能				
ļ			50%以下 80%	以下 80%超え				
· ·		90%	b以上 a a	i b b				
ļ		評 7506以上		b b' b'				
ļ		価						
ļ			:75%未満 b k					
ļ		<u> </u>		с с с				
ļ		注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきの	)判断が出来ない場合は評価	Б対象項目(評価値)だけで評	平価する。		
ļ								
· ·								
· ·								
!								
1							1	
1							1	
!								
!								
!								
1							1	1

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	а	a'	h	b'	С	д	( <u></u> ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (
3. 出来形 及び 出来ばえ	砂防工事 (鋼製枠・スリット 堰堤)		果のばらつきと、評価対象 事施工管理基準、その個 基準は別紙-4参照	象項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた記 満足する。	~ 直)から判断する。 <判断		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		[評価対象項目] 【共通】 ・ 地山との取り合わせが ・ 施工基面が平滑に仕 ・ 材料の品質規程証明	上げられている。		<ul> <li>品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。</li> </ul>	または測定値が不適 切であったため、検		
		・ 鋼材に損傷及び補修が ・ 鋼材に損傷があった場合 ・ 鋼材の保管管理が適宜 ・ 床面部、上層部の仮組 ・ 構造の施工にずれ、歪きを ・ 堰堤の中詰石が仕様さい。 ・ 堰堤の中詰石が仕様さい。 ・ 堰堤の中詰石がが成立ができる。 ・ 埋場の中は材が所定のもい。 ・ 吸出防止材の引張強力を、 ・ 製品の損傷、傷がない。 ・ 製品の損傷、傷がない。 ・ 鋼製スリットの規格、品 ・ 鋼製スリットの保管、吊 ・ スリットが規定の水平高。 ・ エンクリート打設時の必 ・ 施工条件及び気象条件。 ・ 塗料材料の品質が適宜	場合は、塗装補修を実施して Eであることが確認できる。 程を実施し、レベル調査を行り等の処理を適正に行って行り等の処理を適上に行って行いる。 基外、はらみ、損傷がないこと が適切で空隙が生じていない 書等に定められた大きさでが 本積重量が設計単位体積重 電で重ね合わせられている。 変の試験値が確認できる。 スパンドメタル)の品質証明 ことが確認できる。 質が適正であり証明書が整り込み等に十分注意を払い がままれたいが採取され、強いできる。 質が適正であり証明書が整り込み等に十分注意を払い、ままに取り付けられており、よいになり付けられており、ままなに取り付けられており、ままなに取り付けられており、ままな供試体が採取され、強いないによりないままなに取り付けられており、ままな供試体が採取され、強いないによりないままなに取り付けられており、ままな供試体が採取され、強いないないないます。	いることが確認できる。 ってから本締めを実施していいる。 っが確認できる。 い。 直工されている。 直量より大きいことが確認できる。 ことが、写真記録等により確認 がミルシート等で確認できる。 がバルシート等で確認できる。 がルドで十分締め付けられている。 にルトで十分締め付けられている。 とが、写真記録等により確認 がきれている。 の適切に施工されている。	る。 できる。 る。 認できる。		上記該当あればd	上記該当あればe

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種		a	a'	b	b'	С	d	(検貨職員 e
3. 出来形 及び (	少防工事 鋼製枠・スリット 堰堤)	が工事 鋼製枠・スリット	(関連基準、土木I ※ ばらつきの判断	三事施工管理基準、その他 基準は別紙-4参照	象項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた記 満足する。		基準参照>		規格値、試験基準を満
Ⅱ.品質			① 「評価対象 ② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削例 可価値 値 の%以上 60%以上 60%以上	%)=該当項目数( )/ (後の評価対象項目数が3項 ばらつきがいさい ばらつ 50%以下 80% は90%未満 a' (75%未満 b k	項目は削除する。 D評価項目数を母数として計: 評価対象項目数( ) 目以下の場合はc評価とする  で判断可能 いている ばらつきが大きい 対断不可能 は以下 80%超え 1 b b b b b b	6		さか入さい。	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

金網、ネット等が施工計画書のとおり施工され、仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されている。     金網が最上段の横ロープへ20cm以上折り返し、結束線と結合コイルで固定していることが確認できる。     金網の設置において、隣り合う金網は30cm(20cm以上)重ねて施工されていることが確認できる。     支柱の建込において、ピンボルトの締め付け確認が実施され、適切に管理されている。	李木西口	<b>丁廷</b>		_,	1	1. 7	-	1	(快宜嘅貝)
及び 出来ばえ 田・品質  「田・品質  「田・品であったった。  「田・品であった。  「田・品であった。  「田・品であった。  「田・品であった。  「田・品であった。  「田・品であった。  「田・品であった。 「田・品であった。  「田・品であった。			a A 口所目にのきためか		D	2		u	Ü
出来ばえ							基华 <u></u> 季		
□ ・					也設計凶書に定められた	試験)			
11.品質	出来はス	1							足せり、加貝が为る。
<ul> <li>・ 材料、製品の品質、提格等がミルシート等で確認できる。</li> <li>・ 金綱の表置にかたり、活面への固定方法が適切である。</li> <li>・ 金綱の素性上段の様で一ブス20cm以上上野様に、音球線と結合コイルで固定している。と参綱の設置において、割り合う網は30cm (20cm以上) 重ねて能圧されている。</li> <li>・ 全綱の表置において、割り合う機制は30cm (20cm以上) 重ねて能圧されている。とが確認できる。</li> <li>・ 支柱の重払において、おいたりを納けけ確認が表も力、適切に管理されている。</li> <li>・ アンカーが確実に固定されて、ことが確認できる。</li> <li>・ アンカーの体力が確認として、緊急収場において耐力不みを行い、実際の体力を確認している。</li> <li>・ アンカーの体力が確認して、緊急収場において耐力不みを行い、実際の体力を確認している。</li> <li>・ アンカー、支柱、ビンボルト、金綱等の保管管理が適正である。</li> <li>② 評価対象項目の削除後は、削除後の評価項目数を体数として計算した此率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %) ⇒ 該当項目数( ) ノ評価対象項目数( ) 公託当項目数( ) 公託当項目数( ) 公本は、削除後の評価対象項目数をが3項目以下の場合はご評価とする。</li> <li>「近らつきで判断可能」であないには 知る理解を ( ) なお、削除後の評価対象項目数といて対すした此率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>② なお、削除後の評価対象項目数の96以下 8096以下 8096</li></ul>		1	☆ 品質が、試験項目	、試験基準及び規格値を	満足する。			ch.VG1.º	
<ul> <li>・ 材料、製品の品質、規格等がネルンート等で確認できる。         <ul> <li>・ 金網の設置におかり、法面への固定方法が適助である。</li> <li>・ 金網の大田・アルの回転上が同様に上げ面から適正な関係を保り固定されている。</li> <li>・ 金網の表し提の「終日」が「乗り金の機」では、とは実験と結合ったとかを認できる。</li> <li>・ 金細の設置によりに、「健り合金機」では、では、としか確認できる。</li> <li>・ 支柱の建込によいて、ピンボルルの締め付け確認が実施され、適切に管理されている。</li> <li>・ アンカーが確実に固定されているが確認できる。</li> <li>・ アンカーの体力確認として、保設現場において開力テストを行い、実際の体力を確認している。</li> <li>・ アンカーの体力確認として、保設現場において開力テストを行い、実際の体力を確認している。</li> <li>・ アンカー、支柱、ピンボルト、金側等の保管管理が直正である。</li> </ul> </li> <li>① 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数の項目数() / 評価参享項目数() / 評価参与項目との事金は企業が、</li></ul>	Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
かられたまたが、注面への固定方法が高切である。									
金線が展し表の元の、茂油 (一の間底力法の適切でから)   金線が展し長の横口 (一々の)   一次で (一年底し) 指示を行る。   一次で (一年底し) が (一年底			<ul><li>材料、製品の品質、規</li></ul>	見格等がミルシート等で確認、	できる。				
<ul> <li>金舗ペート等の施工計画書のとおり施工され、仕上げ面から適正な間隔を体を日間定されている。         <ul> <li>金舗が発上は今の職上 計が図は、結束線と結合コルケで固定していることが確認できる。</li> <li>金舗の設置において、隣か合う金網は30cm(20cm以上)重ねて施工されていることが確認できる。</li> <li>支柱の地込において、ピンボルトの締め付け機・耐定整めて実施している。</li> <li>アンカーが確実に固定されていることが確認できる。</li> <li>アンカーの体力確認として、栄設現場において副力テストを行い、実際の体力を確認している。</li> <li>アンカー、支柱、ピンボルト、金網等の保管管理が適正である。</li> </ul> </li> <li>① 評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。         <ul> <li>② 評価対象外の項目の場合はで評価といる。</li> <li>金額・資産・資産・資産・資産・資産・資産・資産・資産・資産・資産・資産・資産・資産・</li></ul></li></ul>			<ul><li>金網の設置にあたり、</li></ul>	法面への固定方法が適切で	<b>ぶある。</b>				
- 金綱の設置において、降り合う金綱は30cm(20cm以上)重ねて施工されていることが確認できる。 - 支柱の推込において、ピンボルトの締め付け、確認が実施され、適切に管理されている。 - アンカーが確実に固定されていることが確認できる。 - アンカーが確実に固定されていることが確認できる。 - アンカーの体力確認として、架設現場において耐力テストを行い、実際の体力を確認している。 - アンカー、支柱、ピンボルト、金綱等の保管管理が適正である。  ① 評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③ 評価値( %) ⇒該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はご評価とする。  【ばらつきで判断可能 「はつきがお」はらいたいる「はつきが大力、はつきが大力、はつきで大力、である」をである。  【ばらつきで判断可能 「なっきがお」はらいたいる「はつきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力、はいきが大力を対します。 - 第73年以上の98年末 a b b b b b b b b b b b b b b b b b b			<ul><li>金網、ネット等が施工</li></ul>	計画書のとおり施工され、仕	上げ面から適正な間隔を保む	ち固定されている。			(手直し)指示を行っ
<ul> <li>支柱の健込において、ビンボルトの締め付け機器が実施され、適切に管理されている。         <ul> <li>ビンボルトの締め付け機、測定機器のキャリアレーションを実施している。</li> <li>アンカーが確実に固定されているととが確認できる。</li> <li>アンカーの体力確認として、架設現場において耐力テストを行い、実際の体力を確認している。</li> <li>アンカー、支柱、ビンボルト、金網等の保管管理が適正である。</li> </ul> </li> <li>① 「評価対象項目の削除後は、削除後の腎価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。         <ul> <li>② 評価値( %)=該当項目数( ) /評価対象項目数( )</li> <li>④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はご評価とする。</li> </ul> </li> <li>ばらつきで判断可能</li></ul>			<ul> <li>金網が最上段の横口</li> </ul>	ープへ20cm以上折り返し、糸	詰束線と結合コイルで固定し	ていることが確認できる。		た。	た。
- ビンボルトの締め付け機、測定機器のキャリプレーションを実施している。 - アンカーが確実に固定されていることが確認できる。 - アンカー、放在力を確認している。 - アンカー、支柱、ビンボルト、金網等の保管管理が適正である。  ① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) / 評価対象項目数 が3項目以下の場合はご評価とする。  ② 証が多数項目数が3項目以下の場合はご評価とする。    ばらつきで判断可能			<ul><li>金網の設置において</li></ul>	、隣り合う金網は30cm (20cm	n以上)重ねて施工されている	ることが確認できる。			
<ul> <li>アンカーが確実に固定されていることが確認できる。</li> <li>アンカーの体力確認として、架設現場において耐力デストを行い、実際の体力を確認している。</li> <li>アンカー、支柱、ビンボルト、金網等の保管管理が適正である。</li> <li>① 評価対象項目の的い後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値 %) 一該当項目数() / 2評価対象項目数() )</li> <li>④ なお、削除後の評価対象項目数() / 2評価対象項目数() )</li> <li>④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はご評価とする。</li> <li>ばらつきで判断可能 はらっない。はらっさが、はらっさがよい。 はらっきで判断可能 はらっさが、 はらっきで 判断可能 はらっさが、 はらっきで 判断可能 はらっきが はらっきが はらっながない はらっきで 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</li></ul>			<ul><li>支柱の建込において</li></ul>	、ピンボルトの締め付け確認	が実施され、適切に管理され	ている。			
アンカー、女柱、ピンボルト、金綱等の保管管理が適正である。     アンカー、支柱、ピンボルト、金綱等の保管管理が適正である。     「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。     ② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。     ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )/評価対象項目数( )/評価対象項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はご評価とする。			<ul><li>ピンボルトの締め付け</li></ul>	機、測定機器のキャリブレー	・ションを実施している。			上記該当あればd	上記該当あればe
アンカー、支柱、ビンボルト、金網等の保管管理が適正である。  ① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。  【ばらつきで判断可能 はらつとている」はらつきがよい、			<ul><li>アンカーが確実に固定</li></ul>	定されていることが確認できる	5.				
① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③ 評価値( %)=該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はは評価とする。  はらつきで判断可能 はらつきで判断可能 はらつきで判断では、はらつきで対象は、はらつきで はらつきが決め、はらいているしばつきが決め、 「ありら起下 8096以下 8096以下 8096起で 「おりつきないます」 「アラら以上9096未満 a' b b b' c c c c 6096よ満 b' c c c c 6096未満 b' c c c c			<ul><li>アンカーの体力確認。</li></ul>	として、架設現場において耐	カテストを行い、実際の体力	を確認している。			
<ul> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 はらつはいる はらつきが大きい 対断で可能 はらつきが大きい はらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%以下 80%超え 判断不可能 60%以上 a a' b b b 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c c c</li> </ul>			<ul><li>アンカー、支柱、ピンス</li></ul>	ボルト、金網等の保管管理が	適正である。				
<ul> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 はらつはいる はらつきが大きい 対断で可能 はらつきが大きい はらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%以下 80%超え 判断不可能 60%以上 a a' b b b 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c c c</li> </ul>									
<ul> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 はらつはいる はらつきが大きい 対断で可能 はらつきが大きい はらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%以下 80%超え 判断不可能 60%以上 a a' b b b 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c c c</li> </ul>									
<ul> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 はらつはいる はらつきが大きい 対断で可能 はらつきが大きい はらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%以下 80%超え 判断不可能 60%以上 a a' b b b 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c c c</li> </ul>		1							
<ul> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 はらつはいる はらつきが大きい 対断で可能 はらつきが大きい はらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%以下 80%超え 判断不可能 60%以上 a a' b b b 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c c c</li> </ul>		1							
<ul> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 はらつはいる はらつきが大きい 対断で可能 はらつきが大きい はらつきで 判断不可能 50%以下 80%以下 80%以下 80%超え 判断不可能 60%以上 a a' b b b 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c c c</li> </ul>			<ul><li>① 「評価対象</li></ul>	3項目 Lのうち 評価対象外の	1項目け削除する				
<ul> <li>③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 はらつきで判断可能 はらつきで判断不可能 がらの後以下 80%以下 80%以</li></ul>						- 質1 た比率(%) 計質の値(割	E価値)で評価する		
(4) なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。    はらつきで判断可能 はらつきで判断可能 はらつきで はらつきが小さい はらつきで 対断不可能 50%以下 80%以下 80%以下 80%起え 判断不可能 10%以上 a a' b b b 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c c c c c c c c c c c c c c c						弁0/C24十(/0/日 弁*/)匠(II	1   一一日 / 一一 / 一一 / 一一 / 一一 / 一 / 一		
はらつきで判断可能 はらつきが大きい はらつきが大きい はらつきが大きい はらつきが大きい はらつきが大きい がある と						z,			
はらつきが小さい はらついている はらつきが大きい はらつきで 判断不可能   100%以下 80%以下 80%以下 80%超え   100%以上 a a' b b b' b' c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%未満 b' c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%			(A) 12/10/11/18	下及少計圖別家項目数//3/5	日以上の物日はい中間とする	ولع			
はらつきが小さい はらついている はらつきが大きい はらつきで 判断不可能   100%以下 80%以下 80%以下 80%超え   100%以上 a a' b b b' b' c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%未満 b' c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%									ļ
はらつきが小さい はらついている はらつきが大きい はらつきで 判断不可能   100%以下 80%以下 80%以下 80%超え   100%以上 a a' b b b' b' c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%未満 b' c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%									
はらつきが小さい はらついている はらつきが大きい はらつきで 判断不可能   100%以下 80%以下 80%以下 80%超え   100%以上 a a' b b b' b' c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%未満 b' c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%未満 b' c c c c c c   100%				げこへキー	云如此二十年	7			!
100%以下 80%以下 80%超え   100%以下 80%以下 80%超え   100%以上 a a' b b b' b' b' a c c c c c c c c c c c c c c c c c c					142の大学				
90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     b'       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c				<u> </u>	判断不可能				
評価値     75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c       60%未満 b' c c c			L						
価値 60%以上75%未満 b b' c c c c			=₩						
lie 60%未満 b' c c c			価 73%以上						
			110		o´ c c				
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。						]			
			注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきの	D判断が出来ない場合は評価	西対象項目(評価値)だけで評	平価する。		
		1							
		1							
		1							
		1							
		1							

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>北米</b> 诺日	<b>一工任</b>	T	,	1	1 2		1	(快狂概貝)
考査項目	工種	a a scene of a short the	a	b	b'	C	d d	e e
3. 出来形	雪崩防止柵工事				値)から判断する。<判断	<b>基準</b> 参照>		品質関係の試験結果が
及び	(フェンスタイプ)			也設計図書に定められた	試験)		規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつ	現代他、武鞅基準を個 足せず、品質が劣る。
出来ばえ		※ ばらつきの判断			えるものがあり、はらうきが大きい。	足せり、加貝がある。		
		☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格値を	満足する。			さが入るい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
							<ul><li>品質関係の測定方法</li></ul>	
		【アンカー工】					または測定値が不適 切であったため、監	または測定値が不適 切であったため、検
		・ 材料(ネット、アンカー	コッド、注入材)、製品の品質	重、規格等がミルシート等によ	り確認できる。		督員が文書で改善指	
		<ul><li>グラウトのコンシステン</li></ul>	シー試験を実施し、フロー値	直の範囲が基準値内であるこ	とが確認できる。		示を行い改善され	(手直し)指示を行っ
		<ul> <li>グラウトの圧縮強度試</li> </ul>	験(28≧24N∕mm2)を実施	iし、強度管理を行っている。			た。	た。
		<ul><li>グラウト注入の状況が</li></ul>	孔口上部まで確実に充填さ	れていることがオーバーフロー	ーにより確認できる。			
		<ul><li>グラウトの注入量が、1</li></ul>	マメントの充空袋数量等で確	:認できる。				
		<ul><li>ワイヤーロープを端部</li></ul>	基部プレートにワイヤークリ	ップで定着するにあたり、所覚	它のトルクで締め付けられてい	ることが確認できる。	上記該当あればd	上記該当あればe
		<ul> <li>削孔の方向、削孔長り</li> </ul>	こついて確認できる記録が零	を理されている。				
		<ul> <li>ネット山側面に金網を</li> </ul>	上下にラップさせて敷設して	いることが確認できる。				
				等の保管管理が適正である。				
				を確認するための確認試験を	宝施] ている			
		旭工儿 1 区(区川区川	4/L 1 2000 CB/200 C 70 C	これ年中で シーのノニックックを用いいて	天旭して い。			
		① [₹####	項目」のうち、評価対象外の	1年ロ 17年間2十五				
			2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		本1 → 11 → 10/1 → 1   本 n   士 / 弐	17年(本) 一一一一		
					・算した比率(%)計算の値(評	#価値)で評価する。		
		0 111 111 111	%)=該当項目数( )/					
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	後の評価対象項目数が3項	頁目以下の場合はc評価とする	పే.			
		-			=			
				で判断可能				
		\	ばらつきが小さいばらつ	いているはらつきが大きい 判断不可能				
			50%以下 80%	6以下 80%超え				
			以上 a	a' b b				
		評 75%以上	.90%未満 a'	b b' b'				
		値 60%以上	.75%未満 b	b' c c				
			未満 b'	с с с	1			
		注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきの	の判断が出来ない場合は評価	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	呼価する。		
		1						
1	1	1					1	L

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	( <u></u> ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (
3. 出来形 及び 出来ばえ	スノーシェッド工 事 (二次製品)		果のばらつきと、評価対象 事施工管理基準、その個 基準は別紙-4参照	東項目の履行状況(評価イ 也設計図書に定められた記 満足する。		_		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質	(一)(表面)	☆ 品質が、試験項目、 「評価対象項目」 【製作関係】 ・ 製品の性能が試験成為 ・ プレストレッシング時の ・ 製品に工事名又は記号 ・ 製品の受け取りを現場 【架設関係】 ・ 製品の保管、吊り込み ・ 横梁の緊張及びグラウ ・ 柱脚部に防水シールを ・ 主梁間及びブロック間 ・ 防水工は、上部が十分 【コンクリート構造物】 ・ コンクリート打込み時の (JIS A-5308以外の ・ 施工条件及び気象条件 (寒中及び暑中コンクリ ・ 型枠、支保工の組立か	試験基準及び規格値を 遺表で確認できる。 カコンクリート圧縮強度が確認 ラ、コンクリート打込み年月日 代理人などの責任ある者が 、据え付け等に十分注意を い材料の配合及び強度の管 材又は軟質ゴムを充填してい の目地は、防水シート、弾性 かに乾燥したことを確認したぞ か必要な供試体を採取し、強 生コンを使用する場合) 件に適した運搬時間、打込る リート等を含む) ぶ適正で、コンクリート打込み で	、適切に行っている。		<ul> <li>品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、検</li> </ul>		
		<ul> <li>コンクリートの現場養生</li> <li>コンクリート打込み前に</li> <li>型枠の目違いがなく、</li> <li>高炉セメント使用の場合</li> <li>目地に挟む目地材や」</li> <li>コンクリート及びセメント</li> <li>(高炉B種・C種のセメント</li> <li>コンクリートの水セメント</li> <li>ひび割れの発生調査を</li> </ul>	三雨水やわき水が適切の処ま 三用の供試体が当該現場の 三打継目処理を適切に行っ 型枠の破片等がコンクリート 合は、初期強度の管理に細 止水板等の設置が適切であ トコンクリート製品の使用にお ントを使用したコンクリートの ト比試験を実施し、許容範囲 を実施し、調査票を作成して 負度推定調査を実施し、調	ものであることが確認できる。 ていることが確認できる。 表面になく、丁寧な仕上がり 心の配慮がうかがえる。 る。 あたりアルカリ骨材反応抑制な 場合は評価対象から除外すっ 間に入っていることが確認でき 提出している。	対策の適合を確認している。 る)			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

1. 7							_	(伊且 ((根) )
考査項目	工種	a	a'	Ъ	b'	С	d	е
3. 出来形	スノーシェッド工	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと、評価対象	象項目の履行状況(評価値	直)から判断する。<判断	基準参照>		品質関係の試験結果が
及び	事	(関連基進, 十木丁	事施工管理基準、その他	設計図書に定められた記	試験)		規格値、試験基準を超	規格値、試験基準を満
出来ばえ	(二次製品)	※ ばらつきの判断					えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
四水は火	(—)(32,00)		試験基準及び規格値を	<b>港</b> 見 士ス			きが大きい。	
π □ <i>fif</i> r			武衆基準及い規格順を				+	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
		【鉄筋】						
		<ul><li>コンクリート打込みまで</li></ul>	での鉄筋の保管管理が適切で	であることが確認できる。				
		<ul><li>鉄筋の組立、加工が通</li></ul>	<b>適切であることが確認できる。</b>					
		<ul><li>スペーサーを適切に</li></ul>	记置し、鉄筋のかぶりを確保し	<b>こている。</b>				
		<ul><li>鉄筋圧接作業にあたり</li></ul>	の、作業員の技量確認を行っ	ている。				
			度、曲げ強度の試験値をミル					
			1規格10ロッドごとに実施して					
		主	. 規格10ログトことに美麗して	V 1/20				
	1							
1	1							
		<ol> <li>① 「評価対象</li> </ol>	!項目」のうち、評価対象外の	項目は削除する。				
				· · · · · · · · · · · ·	算した比率(%)計算の値(評	平価値)で評価する		
			%)=該当項目数( )/		新りに紀中(707日 新り配(I	1   四  正/ く川  四 / の。		
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	後の評価対象項目数が3項	目以下の場合はc評価とする	D <sub>0</sub>			
		<u> </u>			_			
			ばらつきて	判断可能				
		\	ばらつきが小さい ばらつし	いている ばらつきが大きい 判断不可能				
		] ]	50%以下 80%					
		0004	5以上 a a					
		=₩						
		価 75%以工		b b' b'				
		值 60%以上	:75%未満 b b	о' с с				
		60%	b <sup>*</sup> b <sup>*</sup>	с с с				
		注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきσ	判断が出来ない場合は評価	西対象項目(評価値)だけで評	平価する。		
1	1							
1	1							
1	1							
							1	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(仮重報兵) e
3. 出来形 及び 出来ばえ	地盤改良工事 (スラリー撹拌 工)	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断: ☆ 品質が、試験項目、	事施工管理基準、その 基準は別紙-4参照	他設計図書に定められた	値)から判断する。 <判断 試験)	基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		<ul> <li>・ 六価クロム溶脱に対す</li> <li>・ 記録から仕様書に定め</li> <li>・ 盛上がり土に状況確認</li> <li>・ 打ち込み機の施工に</li> <li>・ 打ち込み記録が、チャ</li> </ul>	先立ち、自動記録装置の性 ート等により適正に施工管	が実施されている。 きる。 いることが記録で確認できる。 :能確認試験がなされている。			<ul> <li>品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。</li> </ul>	または測定値が不適 切であったため、検
		<ul><li>所定の深度まで混合力</li></ul>	覚拌したことが確認できる。				上記該当あればd	上記該当あればe
		② 評価対象が ③ 評価値( ④ なお、削除 評価値 60%以上 60%以上	%)=該当項目数( ), 後の評価対象項目数が3I ばらつきが小さい はら 50%以下 805 以上 a 90%未満 a' 75%未満 b 未満 b'	の評価項目数を母数として言 /評価対象項目数( ) 項目以下の場合はc評価とす。 で判断可能 ついている はらつきが大きい 粉以下 80%超え a' b b b' b' b' b' b' c c c c c c	]			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

(檢查職員)

考査項目	工種	a	a,	b	b'	С	d	(検査職員) e
3. 出来形	十二事				~		3.	品質関係の試験結果が
及び	(改良盛土)			はなける。 は設計図書に定められた		本中沙		規格値、試験基準を満
出来ばえ	(以及無工)	※ ばらつきの判断其			~(0)()			足せず、品質が劣る。
Дуктогус		☆ 品質が、試験項目、		満足する。			きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]	F 4次至十次0 %   [ ] [ ] [ ]	IMAC / Us				
11.00 %		【混合処理工法】					<ul> <li>品質関係の測定方法</li> </ul>	<ul> <li>品質関係の測定方法</li> </ul>
		<ul> <li>盛土材の品質、形状が</li> </ul>	設計図書に基づくことが、診	式験成績表で確認できる。			または測定値が不適	または測定値が不適
		<ul><li>土砂と砂の配合比率が</li></ul>	1:1であることが確認できる	00			切であったため、監 督員が文書で改善指	切であったため、検 査職員が文書で修補
		<ul> <li>締め固めを適切な条件</li> </ul>	・で施工している。(巻き出し	厚が均一で均等な転圧)			示を行い改善され	(手直し)指示を行っ
		<ul><li>盛土材の表面が平坦は</li></ul>	こ仕上げられていることが確	認できる。			た。	た。
		・ 軟弱地盤での盛土施工	Lでは、沈下量の測定が適1	<b>正に実施されている。</b>				
		<ul><li>搬入土砂の数量確認が</li></ul>	ぶできる。(桝立て等を実施)					
		<ul><li>搬出土砂の数量確認が</li></ul>	ぶできる。(搬出先での数量)	又はダンプの台数等)				
		・ 盛土の締固め管理(密	度等)が、適切に実施されて	ていることが確認できる。			上記該当あればd	上記該当あればe
		<ul><li>運搬中に水分が浮かる</li></ul>	Jでこないような土の状態で	あるか、運搬前に確認してか	ら搬出している。			
		・ 雨天は搬出しない。搬	出するときは、シート等で覆	い含水比が高くならないようり	こ工夫して運搬していることか	が確認できる。		
		・ コーン指数が指定の数	値以上であることを確認して	ている。				
		【ESR工法】						
		1	じめ、安全性が確認できる品	品質証明書が整理されている	la.			
				分の添加材を添加したことが		Z)		
		<ul> <li>工事着手前に配合試験</li> </ul>	・ 一軸圧縮強度試験等を ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施し、それに基づいた施工	がなされている。			
		<ul><li>締め固めを適切な条件</li></ul>	で施工している。(巻き出し	厚が均一で均等な転圧を行	っている)			
		<ul><li>盛土材の表面が平坦は</li></ul>	こ仕上げられている。(各層ご	ごと)				
		・ 軟弱地盤での盛土施二	Lでは、沈下量の測定が適1	正に実施されている。				
		<ul><li>搬入土砂の数量が確認</li></ul>	忍できる。(桝立て等を実施)					
		<ul><li>搬出土砂の数量確認が</li></ul>	ぶできる。(搬出先での数量)	又はダンプの台数等)				
		・ 盛土の締固め管理(密	度等)が、適切に実施されて	ていることが確認できる。				
		<ul> <li>雨天は搬出しない。搬</li> </ul>	出するときは、シート等で覆	い含水比が高くならないように	こ工夫して運搬していることか	バ確認できる。		
		<ul><li>改良土をストックする場</li></ul>	合は、降雨時の影響による	品質低下を避けるための処態	置を施している。			
		<ul><li>コーン指数が指定の数</li></ul>	(値以上であることを確認して	ている。				
1								
1								

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

3. 出来形	考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(検盆様貝) e
出来ばえ   ※ ばらつきの判断基準は別紙-4参照	3. 出来形	土工事	☆ 品質関係の試験結	果のばらつきと、評価対象	象項目の履行状況(評価値	直)から判断する。<判断		品質関係の試験結果が	品質関係の試験結果が
□ 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  □ 評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③ 評価値( %) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数が3項目以下の場合はご評価とする。  □ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はご評価とする。  □ はらつきで判断可能 はらつはている はらつきが大きい はらつきで 手順不可能 50%以下 80%以下		(改良盛土)			也設計図書に定められた話	<b>式験</b> )		規格値、試験基準を超えるものがありばらつ	規格値、試験基準を満足せず 品質が劣ろ
	山木はん				満足する。			きが大きい。	ACC / Cmg// 2000
<ul> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 ばらつきが小さい はらついている はらつきが大きい ばらつきが小さい はらついている はらつきが大きい おのも以下 80%以下 80%</li></ul>	Ⅱ.品質								
<ul> <li>② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。</li> <li>(ばらつきで判断可能 ばらつきが小さい はらついている はらつきが大きい ばらつきが小さい はらついている はらつきが大きい おのも以下 80%以下 80%</li></ul>									
③ 評価値( %)=該当項目数( )/評価対象項目数( )     ④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。			① 「評価対象	項目」のうち、評価対象外の	項目は削除する。				
(4) なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。    はちつきで判断可能   はちつきで判断可能   はちつきが大きい   はちつきが大きい   対策のでは   はちつきが大きい   対断不可能   50%以下 80%以下 80%超え   1 断不可能   50%以上 a a' b b b   b   75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c c c c c c c c c c c c c c c c						算した比率(%)計算の値(評	平価値)で評価する。		
はらつきが小さい はらついている はらつきが大きい   はらつきで 判断不可能   50%以下 80%以下 80%超え   10%以上 a a' b b   b   75%以上90%未満 a' b b' b'   60%以上75%未満 b b' c c c   60%未満 b' c c c c c c   60%よ						0			
はらつきが小さい はらついている はらつきが大きい   はらつきで 判断不可能   50%以下 80%以下 80%超え   10%以上 a a' b b   b   75%以上90%未満 a' b b' b'   60%以上75%未満 b b' c c c   60%未満 b' c c c c c c   60%よ									
はらつきが小さい はらついている はらつきが大きい   はらつきで 判断不可能   50%以下 80%以下 80%超え   10%以上 a a' b b   b   75%以上90%未満 a' b b' b'   60%以上75%未満 b b' c c c   60%未満 b' c c c c c c   60%よ									
185 (186 (186 (186 (186 (186 (186 (186 (186									
90%以上     a     a'     b     b       75%以上90%未満     a'     b     b'     b'       60%以上75%未満     b     b'     c     c       60%未満     b'     c     c					パでいる はらうきかくさい 判断不可能				
価値 60%以上75%未満 b b' c c c c c			====	以上 a a	' b b				
1世 60%未満 b' c c c			価 73%以上						
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。									
			注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきの	判断が出来ない場合は評価	対象項目(評価値)だけで評	平価する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	工種	а	а,	h	h'	С	А	(快狙,戦員)
3. 出来形	ダム工事	□ ☆ 品質関係の試験結	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■	直)から判断する。<判断		品質関係の試験結果が	Ü
及び	(重力式コンク			也設計図書に定められた記		_ :	規格値、試験基準を超	規格値、試験基準を満
出来ばえ	リートダム)	※ ばらつきの判断	基準は別紙-4参照				えるものがあり、ばらつ	足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目	、試験基準及び規格値を	満足する。			きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
		【共通】					<ul><li>品質関係の測定方法</li></ul>	
			立、加工が適切であることがで				または測定値が不適 切であったため、監	または測定値が不適 切であったため、検
			度、曲げ強度の試験値をミル				督員が文書で改善指	査職員が文書で修補
		・ 工事で発生する濁水	の処理(スラッジ、放流水)が	適切に管理されている。			示を行い改善され た。	(手直し)指示を行っ た。
		【基礎掘削】						
		・ 必要な岩盤線まで確	実に掘削されている。					
			除去し、仕上げ掘削が適切で					
		・ 断層等弱層の処理が	適切に行われている。(ない	場合は省略、グラウチング等	特殊基礎処理は基礎処理で	評価)	上記該当あればd	上記該当あればe
		【ダムコンクリート】						
			品質、規格が仕様書に合致し					
				<b>弌験練りが行われており、適切</b>	なコンクリートの規格が(強度	₹·w/c·最大骨材粒径・		
		塩基総量等)確認で						
				度、スランプ、空気量等が確	·	But ted of		
			特に週した打込み時間、打	込み時の投入高さ、バイブレ・	一ターによる締固官埋、雨水	やわさ水の		
		処理を行っている。	が適正で コンカルートセンスフ	*後、取り外し時期がコンクリー	- 1. 改在で海正に答理されて	1.1%		
			が過止で、コンシケーで1120の 生用の供試体が当該現場の		一田及 (	, .,⊙°		
			理(越冬ブロックの処理を含む					
			よじれなく直線的に仕上がっ					
				又は公的機関の証明書が整備	<b>帯されている。</b>			
		<ul><li>コンクリート及びセメン</li></ul>	ノトコンクリート製品の使用にな	あたりアルカリ骨材反応抑制対	対策の適合を確認している。			
		【基礎処理】						
		(ボーリンググラウチング工)	)					
		· 計量機器、測定機器	, のキャリブレーションを実施し	ている。				
		・ 水押し試験、透水試験	験、グラウト注入等の圧力管理	里が適切である。				
		・ 所定の深度で改良し	ていることが確認できる。					
		・ 注入による変位管理	が必要な場合は、確実に管理	里を行っていることが確認でき	る。			
			に従い、確実に改良がなされ	にいる。				
		(グラウチングトンネル)						
			せないように、かつできる限り	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
			切で丁寧な施工が行われてい	- 0	-1.00			
		<ul><li>コンクリート打設時の</li></ul>	必要な供試体を採取し、強度	E、スランプ、空気量等が確認	できる。			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>老</b> 木西日	<b>子</b> 廷		, ,	1	1 ,		1	(快重概員)
考査項目	工種	a a scene of a short of	a a	b	b'	C	d	e = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
	ダム工事			象項目の履行状況(評価値		<b>基準</b> 参照>		
及び	(重力式コンク			<b>也設計図書に定められた</b> 詞	試験)			規格値、試験基準を満
出来ばえ	リートダム)	※ ばらつきの判断						足せず、品質が劣る。
		☆ 品質が、試験項目、	試験基準及び規格値を	満足する。			きが大きい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
		<ul> <li>巻き立て補強鉄筋は、</li> </ul>	所定のガブリが確保されてい	いる。				
		<ul><li>湧水やひび割れのない</li></ul>	いコンクリートの仕上がりが確	認できる。				
		【取水·放流設備】						
			まえた詳細設計を行い、承諾	図書として提出していることだ	が確認できる。			
			合の書類(現物照合)を整理し					
		141141111111111111111111111111111111111	業員の技量確認を行ってい					
				〜。 告書が作成され、適正に実施	iされたことが確認できる			
				と与えないように適切に管理さ				
		- 劉彻()()(本自 ())(1)(()	がに7友が及びX田に1貝房で	. 子んないよりに適切に自任で	540 CV 120			
		① 「莎伍牡鱼	・項目」のうち、評価対象外の	百日は別除土で				
			· · · - · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>第1 たし皮 (0/) 計算のは(</b> 3	でには、本部によっ		
				り評価項目数を母数として計:	昇しに比率(%)  計算の値(計	F1回1旦)で計1回9る。		
			%)=該当項目数( )/					
		(4) なお、削除	:後の評価対象項目数か3項	目以下の場合はc評価とする	) <sub>0</sub>			
					1			
				で判断可能				
				いている。はらつきが大きい 判断不可能				
			50%以下 80%	以下 80%超え				
		=₩	b以上 a a					
		評 75%以上	190%未満 a' I	b b' b'				
		値 60%以上	:75%未満 b b	o' c c				
			b <sup>'</sup>	с с с				
		注 試験結果の	打点数等が少なくばらつきσ	)判断が出来ない場合は評価	- 5対象項目(評価値)だけで評	呼価する。		
<u> </u>	l							

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	_	T -,	1.	1- '	_	T 1	(快風啾貝)
		は A 口転用なのみを分分	a THのならったし お何か	b 	b'	C 甘海升四、	d 品質関係の試験結果が	日所間はの針較外田ぶ
3. 出来形	トンネル工事			象項目の履行状況(評価値		基华 <u>参</u> 照 >		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満
及び	(ナトム工法)			他設計図書に定められた記	試験)			現代他、武峽基準を個  足せず、品質が劣る。
出来ばえ			・基準は別紙-4参照				きが大きい。	たせ9、前員がある。
		☆ 品質が、試験項目、	、試験基準及び規格値を	:満足する。			さが入るい。	
Ⅱ.品質		[評価対象項目]						
							<ul><li>品質関係の測定方法</li></ul>	
		<ul> <li>仕様書等で定められる</li> </ul>	ている品質管理が実施されて	ている。			または測定値が不適	または測定値が不適
		<ul><li>材料の品質規定証明</li></ul>	書が整備されている。				切であったため、監 督員が文書で改善指	切であったため、検 査職員が文書で修補
		<ul> <li>日々計測管理を行っ。</li> </ul>	ており、それに基づいた施工	こが行われていることが確認で	きる。		示を行い改善され	(手直し)指示を行っ
		<ul> <li>金網の継ぎ目を一目」</li> </ul>	以上重ねあわせていることが	確認できる。			t	た。
		<ul><li>施丁に先立ち配合試</li></ul>	験を行い、コンクリートの品質	<b>雪向上に取り組んでいる。</b>				
				山と密着するよう施工されてい	ハス			
				B及び湿潤状態が確認できる。	- 0			
			り跳ね返りの少ないのが確認		0		上記該当あればd	上記該当あればe
			くり粉除去の清掃がなされて				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 10 10 10 10 10 10 C
		15-4	T込み時型枠に変圧を与えて **ロ###** /					
			ぎ目処理が、仕様書等の規定					
			が、当該現場のものであること					
			関して適切に管理されている。	0				
		<ul><li>コンクリート等にクラッ</li></ul>	クがない。					
		<ol> <li>「評価対象</li> </ol>	快項目」のうち、評価対象外の	)項目は削除する。				
		② 評価対象	外項目の削除後は、削除後の	の評価項目数を母数として計	・算した比率(%)計算の値(評	平価値)で評価する。		
		③ 評価値(	%)=該当項目数( )/	/評価対象項目数( )				
		<ul><li>④ なお、削除</li></ul>	k後の評価対象項目数が3項	頁目以下の場合はc評価とする	5.			
			ばらつき-	で判断可能	1			
				コンプレス ばらつきがままい ばらつきで				
			50%以下 80%	後以下 80%超え 判断不可能				
		900%		a' b b	1			
		==		b b' b'	1			
		価		-	4			
		110						
			1-11-7	C C C		5 /T		
		圧 試験結果の	打点数等か少なくはらつきℓ	の判断が出来ない場合は評価	山对家埧目(評価値)だけで計	出血する。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>→</b> → ~ ~ ~ ~ →	rr.		,				1	(快互啾貝)
考査項目	工種	a	a'	b	b'	C	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ	グラウチングエ 事	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断		象項目の履行状況(評価の 他設計図書に定められた記 で満足する。		基準参照 >	規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		<ul> <li>評価対象項目</li> <li>・ 圧力水により孔内のス・せん孔の位置、せん孔の位置、せん孔の位置、せん子・グラウト注入のセメント・製造されたセメントミル・注入中のステージがラ・グラウチングの効果を・隣接の注入孔との位き・計量装置は定期的に</li> <li>① 「評価対象のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水</li></ul>	スライムを除去し、洗浄がなされま、方向について確認ができいクの品質、強度及び充地シクの比重を管理していることなる。 注入速度について、管定了するまで、連続して注入確認するため、チェック孔を強力を表し、その検査結果を監性検査し、その検査結果を監性検査し、その検査結果を監性が会し、対している。 はらっきがかない ばらっきがかない ばらっきがかない ばらっきがかない ばらっきがかない ばらっきがかない はらっきがかない はらっちが はらっちが はらっちが はらっちが はらいます はらっちが はらっちが はらっちがない はらっちが はらっちがない はらっちがない はらい はらい はらい はらい はらい はらい はらい はらい はらい はら	れている。 できる記録が管理されている。 真確認が資料等により確認で とが確認できる。  管理していることが確認できる。 していることが確認できる。 せん孔し、コア採取、透水試 る。(間隔、単位あたり個数等  腎員に提出していることが確認  の評価項目数を母数として計	きる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・ 品質関係の測定方法 または測定値が不高 切であったため、監 質員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<b>北木工</b> 口	<b>子任</b>	I	,	1	1 ,		1	(快狙,椒貝)
考査項目	工種	a a seem of a seem of	a´	<u>b</u>	b'	C	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	発泡ウレタン工 事	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断		也設計図書に定められた	値)から判断する。 < 判断 試験)	·基準参照 >		品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		[評価対象項目] ・ 使用材料の品質規格 ・ 特記仕様書に基づくる ・ 性能試験をするもの式 ・ 発泡ウレタンの供試体 ・ 発泡ウレタンの充填が ・ 発泡ウレタンの施工時 ・ 使用材料の空缶管理 ・ 特記仕様書で定めらる ・ 湧水、地表水の処理が ・ 注入量は流量計を使	証明書が整備され、特記仕述 発泡ウレタンの配合試験またで公的機関の証明書が整備されるといい。	様書の規定する規格、品質を は試験練りが行われており、 されている。 とが確認できる。 。 密度等が確認できる。 が確実に写真等で確認でき 条件で作業を行っていることが 不純物の除去が確実に実施	適切な材料の規格(強度・密 、出荷証明書が整理されてい が確認できる。 されている。		・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検
		② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削防 平価値 60%以上 60%以上	%)=該当項目数( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	の評価項目数を母数として計 /評価対象項目数( ) 項目以下の場合はc評価とする で判断可能 のいている ばらつきが大きい 6以下 80%超え a' b b b' b' b' c c c c c	・算した比率(%)計算の値(ぎる。 る。 西対象項目(評価値)だけで評			

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

<ul> <li>3. 田東邦</li></ul>	3. 出来形 及び 出来行之	考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(恢宜, (恢复, (使力, (使力, (使力, (使力, (使力, (使力, (使力, (使力
- 品質の特別を対している。 - 品質の特別を対している。 - おは関係のための製作者予飾の技術検討が支分実施され、内容が確認できる。 - ドネル制定値が不適りであったため、異常の過度、機能・健康が必要を認定できる。 - ドネル制度を含まりで確認できる。満足している。 - 機能の過度、機能・健康が必要が変更でき、満足している。 - 海接管理が設定計画をとおり実施之れ、内容が確認でき、大路がない満足している。 - 強と整理決議計画のとおり実施之れ、内容が確認でき、大路がない満足している。 - 操作制御解係が、所受の機能を作ているととは、この要なを支援、保養受養機の機能が確認できる。満足している。 - 操作制御解係が、所受の機能を作しているととは、この要なを支援、保養機能の機能が確認でき、満足している。 - 液傷の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。 - 液傷の総合性能が適望を表して計算している。 - 液傷の総合性能が適望を表して計算している。 - 液傷の総合性能が適望を表して計算の機能が発表の機能が発表して計算の機能が発表して計算の機能が発表して計算の機能が発表して計算の機能が発表して計算の機能が発表して計算の機能が発表して計算の機能が発表して計算のを表している。 - 液傷の総合性能が適望を表している。 - 液傷の総合性能が適望を表して計算の機能が発表して計算のを表している。 - 液傷の総合性能が適望を表して計算のを表して計算のを表して計算のを表して計算のを表している。 - 液傷の総合性能が必要が表している。 - 液傷の総合性能が必要が発表している。 - 液傷の総合性能が必要が表している。 - 液傷の総合性能が必要が表している。 - 液傷の心を含む、水陰を	- 品質科・高速保のための製作者・事的の技術能力が充分実施され、内容が確認できる。 - 材料の出質服合がぶルシート等(現物服合を含む)で確認でき、満地している。 - 技術の出質、機能、性能が延伸温等で保護でき、満地している。 - 海接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、大地がな《満地している。 - 海接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、大地がな《満地している。 - 海接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、大地がな《満地している。 - 操作の制度係が、所文の非磁でき、大地がな《満地している。 - 操作の制度係が、所文の推定され、大いなが経でき、大地がな《満足している。 - 操作の制度係が、所文の推定をは、大いなととれ、必要なを要素、保護を関係機能が確認でき、満足している。 - 液値の総合性能が設計図書のとおり発保され、内容が確認でき、満足している。 - 液値の総合性能が設計図書のとおり発保され、内容が確認でき、満足している。 - 液値の総合性能が設計図書のとなり発保され、内容が確認でき、満足している。 - 液値の総合性能が設計図書のとなり発保され、内容が確認でき、満足している。 - 液値が変外項目の削除後は、削除後の評価項目数と地数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 - 3 評価値 % 一 3 当 は 5 当 5 当 5 当 5 も 5 も 5 も 5 も 5 も 5 も 5 も	3. 出来形 及び 出来ばえ		☆ 品質関係の試験結 (関連基準、土木コ ※ ばらつきの判断	果のばらつきと、評価対象 工事施工管理基準、その付 基準は別紙-4参照	也設計図書に定められた			規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ	規格値、試験基準を満
		II.品質		[評価対象項目] ・ 品質や性能確保のた・材料の品質、性能がま・ 材料の品質、性能がま・ 機器の品品質、性能がま・ 機器で理が設計書の	めの製作着手前の技術検討 レシート等(現物照合を含む、 証明書等で確認でき、満足し 比能が成績書等で確認でき、 とおり実施され、内容が確認 とおり実施され、内容が確認 とおり実施され、内容が確認 とおり実施され、内容が確認 計図書のとおり確保され、内容が確認 はいまりを有しているととも 計図書のとおり確保され、内容が確認 はいまりを表しているととも はいまりを表していると はいまりを表しているととも はいまりを表しているととも はいまりを表しているとも はいましているとも はいまりを表しているとも はいまりを表していると はいまりを表していると はいまりを表していると はいまりを表していると はいまりを表していると はいまりを表していると はいまりを表していると はいまりを表していると はいまりを表している はいまりを表している はいまりを表している はいまりを表している はいまりを表していましている はいまりを表していましていましていましていましていましていましていましていましていましていま	けが充分実施され、内容が確認で確認でき、満足している。 満足している。 満足している。 でき、欠陥がなく満足している。 でき、欠陥がなく満足している。 でき、欠陥がなく満足している。 でき、欠陥がなく満足している。 でき、欠陥がなく満足している。 でき、欠陥がなる。 でき、欠陥がなる。 でき、欠陥がなる。 でき、欠陥がなる。 でき、欠陥がなる。 でき、欠陥がなる。 にきるとなる。 で判断可能 にいる。 で判断可能 にいる。 で判断可能 にいる。 で判断可能 にいる。 で判断可能 にいる。 で判断可能 にいる。 で判断可能 にいる。 でも、次陥がなる。 の評価項目数を母数として計 がはらつきで 判断不可能 もしている。 でも、次陥がなる。 でも、必要な安全装置、保護装 でき、が陥がなる。 の評価は可能 にいる。 でも、が確認でき、が陥がなる。 の。 で判断可能 にいる。 でも、が確認でき、が陥がなる。 の。 で判断でき、 がしている。 でも、が確認でき、が陥がなる。 の。 でも、必要な安全装置、保護装 でき、が陥がなる。 の。 でも、必要な安全装置、保護装 でき、が確認でき、、 がは、としている。 でも、が確認でき、、 の。 でも、が確認でき、、 がは、 でも、 がは、 でも、 がは、 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 がしている。 でも、 はいる。 でも、 はいる。 はいる。 でも、 はいる。 はいる。 でも、 はいる。 でも、 はいる。 にしていな。 にしている。	る。 る。 ぶなく満足している。 置の機能が確認でき、満足し か。	平価値)で評価する。	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検 査職員が文書で修補 (手直し)指示を行っ た。

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目  工種	a a' b b' c	d	(沃 <u></u> (沃 <u> </u>
3. 出来形       維持修繕工         及び       (側溝修繕)         出来ばえ       (ネプラス工)	(関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験)	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質	[評価対象項目] 【ネプラス工法】  ・ ネプラス工法用製品の品質規格証明書が整理され、特記仕様書の規定する規格、品質を満足している。 ・ 側溝上部の損傷部を切断及び撤去するに際し、既設部に損傷を与えていないことが確認できる。 ・ 既設側溝に接続ボルト穴の穿孔作業において、側溝にひび割れ等がないことが確認できる。 ・ 接続ボルト穴に2液混合エポキシ樹脂接着剤を注入した後、ボルトをセットしていることが確認できる。 ・ 機溝上部補強金具がグラーのかず、レントト等で確認できる。 ・ ネプラスパリーノ(オブラス) おの品質がミルント等で確認できる。	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。	または測定値が不適 切であったため、検
	<ul> <li>・ 間詰コンクリート(ネプラス用グラウト材)が隙間なく充填されていることが確認できる。</li> <li>・ ネプラス用グラウト材の強度試験を実施し、強度を確認している。</li> <li>・ ネプラス用グラウト材の空袋管理で、充袋及び空袋であることが確実に写真等で確認でき、出荷証明書が整理されている。</li> <li>【アスファルト舗装】</li> <li>・ 混合物の温度管理が、ブラント出荷時、現場到着時、舗装時等で整理、記録されている。</li> <li>・ 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通解放時の温度管理を適切に行っている。</li> <li>・ 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締固め等)の配慮が行われている。</li> <li>・ 乳剤が助一に接がおされ、第三者への飛散防止対策及び構造物への付着などの細心の注意が払われている。</li> <li>・ アスファルト舗装工の密度試験を実施しており、規格値が基準密度以上である。</li> <li>・ 表面排水が良好である。</li> <li>② 評価対象項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。</li> <li>③ 評価値( %) ⇒該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</li> <li>④ なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はご評価とする。</li> <li>「ばらつきで判断可能」はらつきの判断の場とは「はらつきがまい」はよっきがまい。</li> <li>「おっきがおいましている。</li> <li>「おっきで判断で能」はらつきの対象の場望えまい。</li> <li>「おっきがおいまない場合は評価とする。</li> <li>注めつきで判断で能しまからで評価とする。</li> <li>「おっきがおいまないまないまないまない場合は評価がよりで評価値)だけで評価する。</li> <li>注めのも本法 b b b c c c を ののとは評価がよりで評価がよりで評価する。</li> <li>注めのはよりによりに対象がありまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないま</li></ul>	上記該当あればd	上記該当あればe

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	Ъ	b'	С	d	(検盆職貝) e
3. 出来形 及び 出来ばえ	電線共同溝工事	(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断	事施工管理基準、その個	象項目の履行状況(評価イ 也設計図書に定められた記 満足する。		基準参照>	規格値、試験基準を超	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		[評価対象項目] ・ 材料の品質規定証明 ・ 材料の品質規定証明 ・ JIS規格外品について ・ 基礎地盤の整形、清持管路材のの現場搬入イン ・ 管路材のの現場機がよりで、場別では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地では、地	書が整備されている。 、 仕様書の規定する規格、 清、湧水処理等が適切に実施。 み、据え付け等に十分注意、紫外線などによる劣化防止 等の仮設が設計図書に基・ な要に応じてランマ等で転圧 埋め戻し後に管路が完全に のでの最いがなく、ごで、 等にて十分突き固めを行った。 等にて十分突き固めを行った。 で路上部に埋設標識シールでいることが確します。 はシルト分がなく、が管路上部に埋設標識シールでいるよう。 を発来の)周囲及び管路が完全による。 にでいて会したがでいる。とが確しませいでの。 を発来の)の施工にあたってはないで、 を殊部)の施工にあたってはないで、 ののでの最いでで、 ののでいる。 ないのでは、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて、 ないて	品質を満足している。 施されていることが確認できる。 を払っていることが確認できる。 この観点から、管路材をシート づき、適切に施工、管理されている。(据え付け後の不等 こている。(据え付け後の不等 こすは、砂または砂質土を用い、その他の異物が混入していていることが確認できる。 トを敷設していることが確認できる。 トを敷設していることが確認できる。 トを敷設していることが確認できる。 トを敷設していることが確認できる。 トを敷設していることが確認できる。	る。などで防護している。 ていることが確認できる。 、損傷のないもので施工され 等沈下で波打っていないこと 過性能試験及び気密試験に いて水締めにより締め固めて ないことが確認できる。 きる。 る。 かた砂による埋め戻しを行って かつ上下左右の接合が平当 になるように、かつ不陸を生 いこよる段差、蛇行が生じない ひ発差が生じないように施工し る。 れている。 されている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。 れている。	) より確認している。 いる。 いることが確認できる。 、平滑に仕上げている。 骨になるよう施工している。 こじないように施工して いように施工している。 ている。	きが大きい。	または測定値が不適 切であったため、検

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	使食職貝/ e
		(関連基準、土木工 ※ ばらつきの判断。	事施工管理基準、その化 基準は別紙−4参照	象項目の履行状況(評価値 也設計図書に定められた記 満足する。		基準参照>	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を超 えるものがあり、ばらつ きが大きい。	品質関係の試験結果が 規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
Ⅱ.品質		① 「評価対象 ② 評価対象 ③ 評価値( ④ なお、削除 可 可 可 可 可 可 の の の の の の の の の の の の の	%)=該当項目数( )/ 後の評価対象項目数が3項 ばらつきで ばらつきが小さい。ばらつ 50%以下 80% 以上 a a 90%未満 a' 75%未満 b b	項目は削除する。 D評価項目数を母数として計: 評価対象項目数( ) 目以下の場合はc評価とする  で判断可能 いている はらつきが大きい 対断不可能 以下 80%超え ' b b b' b'	6		さか入さい。	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	(沃 <u></u> (沃 <u> </u>
3. 出来形	ゴムチップ舗装				価値)から判断する。 <判断	基準参照>	品質関係の試験結果が	
及び   出来ばえ	工事			)他設計図書に定められ	た試験)		規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつ	規格値、試験基準を満 足せず、品質が劣る。
出来はん		<ul><li>※ ばらつきの判断</li><li>☆ 品質が、試験項目、</li></ul>		た 滞見 する			きが大きい。	人已 八 間 質 N 2 N 2 N 2 N 2 N 2 N 2 N 2 N 2 N 2 N
Ⅱ.品質			, PM, 医中风 U , 风怕 恒	で1回人C y る。				
Ⅱ.品質		<ul> <li>設計図書に基づく混合</li> <li>ゴムチップ、ウレタンハー</li> <li>材料のゴムチップの係</li> <li>材料(ゴムチップとウレー・プライマーが均一に散っています。</li> <li>ゴミ、泥等の汚れは、注意</li> </ul>	国めを適切な条件で施工し E右する路盤工が平坦に出 合物は、配合報告者により バインダーの空袋管理が写 と管が、水に濡れないように タンバインダー)の混合が 女布され、第三者への飛散	出来上がっていることが確認 過知な配合規格が確認でき 真等で確実に確認できる。 ご管理されている。 3分以上入念に行われ、良 防止対策及び構造物へのイローラー刷毛で均一にプラ		ている。	・ 品質関係の測定方法 または測定値が不適 切であったため、監 督員が文書で改善指 示を行い改善され た。 上記該当あればd	または測定値が不適 切であったため、検
		<ul> <li>ゴムチップ舗装の敷き</li> <li>ゴムチップ舗装の敷き</li> <li>ゴムチップ舗装完了後</li> <li>ゴムチップ舗装が完了</li> <li>設計図書に基づき、別が行われている。</li> <li>排水勾配が適正に守</li> </ul>	・均しは、人力でレーキを使 ・均し完了後、直ちに熱ロー を、24時間以上の養生を行 っした後は、硬化を待つ間が 所定の厚さ管理(コア採取) られ、水溜りが生じていない	を用し厚みを確認しながら平 ーラで転圧し、その後アイロン ・っており養生の間は上に乗 もゴムチップ舗装が雨に濡れ ま行わず、水糸からの下がり	ン又はコテにより仕上ている。 らないようにしている。 いないようにブルーシート等で養 管理あるいは直接厚さを測定)	— · · - v		
		② 評価対象 ③ 評価値(	%)=該当項目数(	後の評価項目数を母数として	計算した比率(%)計算の値(診	平価値)で評価する。		
		評 価 値 60%以上 60%		きで判断可能 はらつきが大きい 196以下 80%超え a' b b b' b' b' c c c c c c c c c c c c c		近価 才ス		
		社 <b>八</b> 映桁朱0	7.1 点数寺か少なくはりつき	がからははいまた。	ヂᠬⅢ刈 豕・垻 日(テヂイ畑11旦)/こり(デ	竹川 9 る。		

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細 別	a	ь	С	(根 且 相 東 ) d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美術	<b>覗が良い。</b>	・ 他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ <b>Ⅲ</b> .出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事	<ul> <li>コンクリート構造物の肌が良い。</li> <li>コンクリート構造物の通りが良い</li> <li>天端仕上げ、端部仕上げ等が良</li> <li>クラックがない。</li> <li>漏水がない。</li> <li>全体的な美観が良い。</li> </ul>		※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	コンクリート二次製品 構造物工事 (管水路工事も含む)	<ul> <li>構造物の通りがよい。</li> <li>天端仕上げ、端部仕上げ等が見る。</li> <li>クラックがない。</li> <li>漏水がない。</li> <li>全体的な美観が良い。</li> <li>小構造物にも細心の注意が払わる。</li> <li>材料の連結、かみ合わせがよい。</li> </ul>	われている。	※ 該当6項目以上 a 該当5項目以上 b 該当4項目以上。 c 該当3項目以下 d	
	土工事 (盛土·築堤工事等)	<ul><li>・ 仕上げが良い。</li><li>・ 通りが良い。</li><li>・ 端部処理が良い。</li><li>・ 構造物へのすりつけ等が良い。</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	補強盛土工	・壁面材の割れ、カケがない。 ・基礎上面の平坦性が良い。 ・天端仕上げ、端部仕上げ等が月 ・壁面材の目違い、段差がすくな ・構造物の通りが良い。 ・全体的な美観が良い。		※ 該当5項目以上a 該当4項目以上b 該当3項目以上c 該当2項目以下d	
	切土工事	・ 規定された勾配が確保されていた 法面の浮き石除去等、表面が通い 法面勾配の変化部には干渉部が適切に行われている。 ・ 施工面の木根等が確実に施工・ 施工面には滞水防止等の処理・ 関係構造物との取り合いが適切・ 残土等は適切に処理されている。	適切に施工されている。 等を設け、関係構造物との取り合い されている。 が適切に行われている。 Jに行われている。	※ 該当6項目以上。a 該当5項目以上。b 該当4項目以上。c 該当3項目以下。d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考查項目	細別	a	b	С	d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美	<b>観が良い。</b>	・ 他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
	護岸・根固・水制工事	・ 通りが良い。 ・ 材料のかみ合わせが良い、また・ 天端、端部の仕上げが良い。 ・ 既設構造物とのすりつけが良い・ 隔壁、土台など細部に亘って丁・ 全体的な美観が良い。	<b>`</b> °	※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	鋼橋工事	・ 表面に補修箇所がない。 ・ 部材表面に傷、錆がない。 ・ 溶接に均一性がある。 ・ 塗装に均一性がある。 ・ 全体的な美観が良い。		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	砂防工事 (かご工事・集水井戸工事 抑止杭工事・排水路工事 水抜きボーリング工事等)	・ 地山との取り合いが良い。 ・ 天端仕上げ、端部仕上げが良い ・ 施工管理記録から不可視部分 ・ 全体的な美観が良い。		<ul><li>※ 該当3項目以上 a</li><li>該当2項目以上 b</li><li>該当1項目以上 c</li><li>該当項目なし d</li></ul>	
	舗装工事 (橋面舗装も含む)	・ 舗装の平坦性が良い。 ・ 構造物の通りが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 構造物へのすりつけ等が良い。 ・ 雨水処理が良い。 ・ 全体的な美観が良い。		※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	法面工事 (アンカー工も含む)	・ 構造物の通りが良い。 ・ 植生、吹付け等の状況が均一で ・ 端部処理が良い。 ・ 全体的な美観が良い。 ・ アンカーの方向が良い。 ・ アンカーとプレートに隙間がない ・ 施工管理記録等から不可視部	· ``_	※ 該当6項目以上 a 該当5項目以上 b 該当4項目以上 c 該当3項目以下 d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細別	a	ь	С	(根 且 相 页 ) d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美	見が良い。	・他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	基礎工工事 (地盤改良等を含む)	・ 土工関係の仕上げが良い。 ・ 通りが良い。 ・ 天端仕上げ、端部仕上げが良い。 ・ 施工管理記録等から不可視部		<ul><li>※ 該当3項目以上 a</li><li>該当2項目以上 b</li><li>該当1項目以上 c</li><li>該当項目なし d</li></ul>	
	コンクリート橋工事	<ul> <li>コンクリート構造物の肌が良い。</li> <li>コンクリート構造物の通りが良い。</li> <li>天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</li> <li>支承部の仕上げが良い。</li> <li>クラックがない。</li> <li>漏水がない。</li> <li>全体的な美観が良い。</li> </ul>	0	※ 該当6項目以上。a 該当5項目以上。b 該当4項目以上。c 該当3項目以下。d	
	塗装工事 (工場塗装を除く)	・ 塗装の均一性が良い。 ・ 細部まできめ細かな施工がされ ・ 補修箇所がない。 ・ 全体的な美観が良い。		<ul><li>※ 該当3項目以上 a</li><li>該当2項目以上 b</li><li>該当1項目以上 c</li><li>該当項目なし d</li></ul>	
	公園•植栽工事	・ 支柱の取り付けがきめ細かく施・ 支柱の取り付けが堅固である。 ・ 樹木の活着状況が良い。 ・ 通りがよい。 ・ 既設構造物等とのすりつけが良・ きめ細かな施工がなされている ・ 全体的な美観が良い。	.V.	※ 該当6項目以上 a 該当5項目以上 b 該当4項目以上。 c 該当3項目以下 d	
	砂防工事(落石·雪崩柵(網)) 工事 防護柵(網)工事 維持修繕工事(柵修繕)	<ul><li>通りが良い。</li><li>端部処理が良い。</li><li>部材表面に傷、錆がない。</li><li>既設構造物等とのすりつけが良</li><li>きめ細かな施工がなされている</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	С	d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美	観が良い。	・ 他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	標識工事(視線誘導標・照明灯も含む)	・ 設置位置に配慮がある。 ・ 標識の向き、角度、支柱の通りか ・ 標識板、支柱に変色がない。 ・ 支柱基礎の埋め戻し等が入念。 ・ 全体的な美観が良い。		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	区画線工事	<ul><li>・ 塗料の塗布が均一である。</li><li>・ 視認性が良い。</li><li>・ 接着状態が良い。</li><li>・ 施工前の清掃が入念に実施さる</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>	れている。	※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	維持修繕工事 (道路維持工事·舗装補修工事等)	・ 小構造物等にも細心の注意がき ・ きめ細かな施工がなされている ・ 既設構造物とのすりつけが良い ・ 全体的な美観が良い。 ・ 水溜まりが生じていない。	0	※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	港湾築造工事 (浚渫・海岸築造工事を含む)	<ul><li>・ 通りが良い。</li><li>・ 施工管理記録等から不可視部</li><li>・ 構造物の表面及び端部の仕上</li><li>・ きめ細かな施工がなされている</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>	げが良い。	※ 該当4項目以上a 該当3項目以上b 該当2項目以上c 該当1項目以下d	
	道路工事・歩道工事	<ul> <li>・ 小構造物等にも細心の注意が</li> <li>・ 仕上げが良い。</li> <li>・ 通りが良い。</li> <li>・ 端部処理が良い。</li> <li>・ 構造物へのすりつけ等が良い。</li> <li>・ 全体的な美観が良い。</li> </ul>		※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細別	a	b		С	(検査職員)
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。			・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	消雪工事	・ 仕上げが良い。 ・ 通りが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 構造物へのすりつけ等が良い。 ・ 全体的な美観が良い。 ・ 均等に水がまわる。 ・ 使用者に対する安全及び環境の ・ 運転及び保守点検に対する配慮		**	該当7項目以上a 該当6項目以上b 該当5項目以上c 該当4項目以下d	
	下水道工事	<ul> <li>・ 通りが良い。</li> <li>・ 漏水がない。</li> <li>・ クラックがない。</li> <li>・ マンホールのインバートの仕上に</li> <li>・ マンホール天端と路面のすりつに</li> <li>・ 埋戻し後の路面復旧の状態が良い</li> <li>・ 施工管理記録等から不可視部分</li> <li>・ 端部処理が良い。</li> </ul>	けが良い。 きい。	*	該当7項目以上 a 該当6項目以上 b 該当5項目以上 c 該当4項目以下 d	
	水道工事	・配管の布設位置、接続、接合、 ・弁管類のズレがなく鉛直に立ち ・構造物等のズレもなく、組合せも ・埋め戻しの状態が良く、路床、路 ・舗装等の平坦性、仕上がりも良。 ・縁石、止石、柵、標識等が適正し ・施工管理記録等から不可視部分 ・全体的な美観が良い。	上げられている。 。良い。 8盤の仕上がりも良い。 く、既設路面とのすりつけも良い。 に行われ仕上がりも良く、既設物との		該当7項目以上a 該当6項目以上b 該当5項目以上c 該当4項目以下d	
	維持修繕工事 (河川の河床整形等)	・ 小構造物等にも細心の注意がお ・ きめ細やかな施工がなされてい ・ 既設の構造物とのすりつけが良 ・ 全体的な美観が良い。 ・ 水溜まりが生じていない。	る。	*	該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下。d	
	上記以外の工事または合併工事	<ul> <li>考査項目記述(</li> <li>考査項目記述(</li> <li>考査項目記述(</li> <li>考査項目記述(</li> <li>考査項目記述(</li> <li>※該当工種からの考査事項できる。</li> </ul>	) ) ) ) う ぎ査し、最大考査項目は5項目とする		該当4項目以上a 該当3項目以上b 該当2項目以上c 該当1項目以下d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	С	(快宜噸貝) d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美	見が良い。	・他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	下水道工事 [管渠補修工事(SPR工法)] [管渠補修工事(3Sセグメント工法)] [管渠補修工事(ダンピー工法)]	・ 通りが良い。 ・ 端部処理(既設底部との)合わった 仕上げ後ひび割れ等がない。 ・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 表面が均一に仕上げてある。 ・ 全体的な美観が良い。		※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	下水道工事 [反応タンク覆蓋設置工事]	<ul> <li>通りが良い。</li> <li>固定式覆蓋(ドームタイプ)の高</li> <li>仕上げ後、部材表面に傷、へこ</li> <li>きめ細かな施工がなされている。</li> <li>レールの取付が堅固である。</li> <li>表面が均一に仕上げてある。</li> <li>全体的な美観が良い。</li> </ul>	み、ひび割れ等がない。	※ 該当6項目以上 a 該当5項目以上 b 該当4項目以上 c 該当3項目以下 d	
	下水道工事 [可とうジョイント設置工事]	<ul><li>通りが良い。</li><li>端部処理が良い。</li><li>きめ細かな施工がなされている。</li><li>表面が均一に仕上げてある。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	下水道工事 [人孔更正工事(MLR工法)]	<ul><li>端部処理が良い。</li><li>継ぎ目部に欠陥がない。</li><li>仕上げ後、凸凹がない。</li><li>きめ細かな施工がなされている。</li><li>表面が均一に仕上げてある。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>	,	※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	下水道工事 [マンホール・管口の耐震化工法]	<ul><li>端部処理が良い。</li><li>仕上げが良い。</li><li>きめ細かな施工がなされている。</li><li>表面が均一に仕上げてある。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	コンクリート構造物工事 [下水道防食工事]	<ul><li>きめ細かな施工がなされている。</li><li>端部処理が良い。</li><li>塗装に均一性がある。</li><li>表面が均一に仕上げてある。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>	,	※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	С	(横雀職貝) d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美術	見が良い。	・ 他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	水管橋工事 [架設·床板]	・ きめ細かな施工がなされている。 ・ 端部処理が良い。 ・ 表面が均一に仕上げてある。 ・ 部材表面に傷、錆がない。 ・ 溶接に均一性がある。 ・ 塗装に均一性がある。 ・ 全体的な美観が良い。		※ 該当6項目以上 a 該当5項目以上 b 該当4項目以上 c 該当3項目以下 d	
	橋梁補修工事 [伸縮装置補修工事]	<ul><li>・ 通りが良い。</li><li>・ きめ細かな施工がなされている。</li><li>・ 既設構造物とのすりつけが良い</li><li>・ 水溜りが生じていない。</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下。d	
	橋梁補修工事 [落橋防止装置設置工事]	<ul><li>・ 通りが良い。</li><li>・ きめ細かな施工がなされている。</li><li>・ 既設構造物とのすりつけが良い</li><li>・ 部材表面に傷、錆がない。</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	橋梁補修工事 [外ケーブル工法工事]	<ul><li>・表面に補修箇所がない。</li><li>・部材表面に傷、錆がない。</li><li>・塗装に均一性がある。</li><li>・定着部の仕上げが良い。</li><li>・全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下。d	
	鋼管防食工事 [ペトロラタムライニング工法・ TP工法]	・ 表面に凹み等変状がない。 ・ 保護カバー表面に傷がない。 ・ さや管の施工位置が杭全体でそ ・ さや管の接合部に隙間がない。 ・ 全体的な美観が良い。	そろっている。	※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下。d	
	コンクリート構造物補強工事 [炭素繊維補強工事]	<ul><li>通りが良い。</li><li>端部処理が良い。</li><li>仕上げ後はがれ等がない。</li><li>表面が均一に仕上げてある。</li><li>きめ細かな施工がなされている。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>	o	※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	С	(恢箕臧貝) d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美		・ 他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	コンクリート構造物補強工事 [断面修復]	<ul><li>きめ細かな施工がなされている。</li><li>端部処理が良い。</li><li>通9が良い。</li><li>表面が均一で漏水がない。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下d	
	コンクリート構造物補強工事 [エポキシ樹脂鉄筋使用]	<ul><li>コンクリート構造物の肌が良い。</li><li>コンクリート構造物の通りが良い</li><li>天端仕上げ、端部仕上げ後が!</li><li>クラックがない。</li><li>漏水がない。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>	•	※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	海岸工事 [緩傾斜護岸]	<ul><li>コンクリート構造物の肌が良い。</li><li>コンクリート構造物の通りが良い</li><li>天端仕上げ、端部仕上げ後が」</li><li>クラックがない。</li><li>漏水がない。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>	•	※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	潜堤工事 「潜堤・人工リーフ」	<ul><li>・ 通りが良い。</li><li>・ 施工管理記録等から不可視部</li><li>・ 天端及び端部の仕上げが良い</li><li>・ きめ細かな施工がなされている</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>	0	※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下。d	
	港湾工事 [岸壁工]	・コンクリート構造物の肌が良い。 ・構造物の通りが良い。 ・構造物の表面及び天端仕上げ ・クラックがない。 ・舗装の平坦性が良い。 ・施工管理記録等から不可視部 ・きめ細かな施工がなされている。 ・全体的な美観が良い。	分の出来ばえの良さがうかがえる。	※ 該当7項目以上 a 該当6項目以上 b 該当5項目以上 c 該当4項目以下 d	
	海岸工事[養浜工]	<ul><li>・ 仕上げが良い。</li><li>・ 通9が良い。</li><li>・ 端部処理が良い。</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に○マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	С	(横 <b>在</b> 職員)
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に	美観が良い。	・ 他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
	海岸工事 [養浜工]	<ul><li>・ 仕上げが良い。</li><li>・ 通りが良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上a 該当3項目以上b	
Ⅲ.出来ばえ		<ul><li>・ 端部処理が良い。</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	魚礁工事 [コンクリート及び鋼製部材]	<ul><li>・ コンクリート構造物の肌が良い</li><li>・ クラックがない。</li><li>・ 部材表面に傷、錆がない。</li><li>・ 溶接に均一性がある。</li><li>・ きめ細かな施工がなされてい</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	砂防構造物工事[鋼製枠砂防堰堤工事]	・ 地山との取り合いが良い。 ・ 天端仕上げ、端部仕上げ等 ・ きめ細かな施工がなされてい ・ 通りが良い。 ・ 全体的な美観が良い。		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	ポケット式落石防護網工事	<ul><li>・ 通りが良い。</li><li>・ 端部処理が良い。</li><li>・ 表面部材に傷、錆がない。</li><li>・ 支持用アンカーとベースプレーをめ細やかな施工がなされて</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	雪崩防止柵工事 [フェンスタイプ]	<ul><li>・ 通りが良い。</li><li>・ 端部処理が良い。</li><li>・ 表面部材に傷、錆がない。</li><li>・ 既設の構造物とのすりつけか</li><li>・ きめ細やかな施工がなされて</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	スノーシェッド工事 [二次製品]	<ul> <li>コンクリート構造物の肌が良い</li> <li>コンクリート構造物の通りが良い</li> <li>天端仕上げ、端部仕上げ後</li> <li>クラックがない。</li> <li>漏水がない。</li> <li>材料の連結、かみ合わせがり</li> <li>全体的な美観が良い。</li> </ul>	しい。 が良い。	※ 該当6項目以上 a 該当5項目以上 b 該当4項目以上 c 該当3項目以下 d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	С	(快貨職員) d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美	- 観が良い。	・ 他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	ダム工事 [重力式コンクリートダム]	<ul><li>・ コンクリート構造物の肌が良い。</li><li>・ コンクリート構造物の通りが良い</li><li>・ 天端仕上げ、端部仕上げ後が」</li><li>・ クラックがない。</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>	n <sub>o</sub>	※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下。d	•
	トンネル工事 [ナトム工法]	<ul><li>・ ボルトが見えないように、コンク!</li><li>・ 天端仕上げ、端部仕上げ後が!</li><li>・ クラックがない。</li><li>・ 漏水がない。</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	グラウチング工事	<ul><li>グラウチングが万遍なく注入され</li><li>天端仕上げ、端部仕上げ後が</li><li>クラックがない。</li><li>漏水がない。</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下d	
	発泡ウレタン工事	・ 仕上げが良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 構造物へのすりつけ等が良い。 ・ 施工管理記録等から不可視部 ・ 漏水、雨水処理が良い。		※ 該当4項目以上 a 該当3項目以上 b 該当2項目以上 c 該当1項目以下 d	
	機械設備工事	・ 仕上がり状態が良く、全体的な ・ 主設備、関連設備、操作制御記 運転操作性が優れている。 ・ 異常な振動、騒音がなく、動き、 性能が優れている。 ・ 公共物としての安全、環境、維・ 溶接、塗装、組立て等細部に渡	受備が全体的に統制されており。 らスムーズで、総合的な機能、運転 時管理への配慮が良い。	※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下d	
	維持修繕工事(側溝修繕) [ネプラス工法]	<ul><li>・ 通りが良い。</li><li>・ ネプラスの高さがそろっている。</li><li>・ きめ細かな施工がなされている</li><li>・ 表面が均一に仕上げてある。</li><li>・ 全体的な美観が良い。</li></ul>		※ 該当4項目以上。a 該当3項目以上。b 該当2項目以上。c 該当1項目以下。d	

[記入方法]該当するチェック項目「・」に〇マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	С	(検査職員) d
3. 出来形 及び	Ⅲ. 出来ばえ	・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が	良い。	・ 他の事項に該当しない。	・ 仕上げが悪く全体的に美観が悪い。
出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	電線共同溝工事	<ul><li>端部処理が良い。</li><li>通りが良い。</li><li>仕上げが良い。</li><li>きめ細かな施工がなされている。</li><li>既設構造物へのすりつけ等が良い</li><li>全体的な美観が良い。</li></ul>	<b>)</b>	※ 該当5項目以上 a 該当4項目以上 b 該当3項目以上 c 該当2項目以下 d	
	ゴムチップ舗装工事	・ 舗装の平坦性が良い。 ・ 端部処理が良い。 ・ 雨水処理が良い。 ・ 構造物のすりつけ等が良い。 ・ 着色にむらがなく、均一に仕上げら ・ 全体的な美観が良い。	っれている。	※ 該当5項目以上。a 該当4項目以上。b 該当3項目以上。c 該当2項目以下。d	